

〇九營

順仕 號込 桶石 數 月 檢 査 年	もろみ検査			清酒検査			順仕 號込 桶石 數 日 檢 査 年
	酒			酒			
	仕込水	麴米	蒸米	仕込水	麴米	蒸米	仕込水
	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日

九營

合 計	何拾何⑩石	何拾何⑩石	明治何年 何月何日	何號又ハ 何號ヨリ マテ	何拾何⑩石	何拾何⑩石	明治何年 何月何日	何號又ハ 何號ヨリ マテ	何拾何⑩石	何拾何⑩石	明治何年 何月何日

營業

第十七號乙

檢査簿甲乙ト押切ルモノトス

明治何年度燒酎檢査簿

郡區役所押切印

何國何郡區何町何番地

氏名

用紙美濃紙

雛形中①②印等十一號雛形ニ同シ

營業免許鑑札番號

營業人居所

何國何郡區何町何番地

營業人氏名

氏名

本宅

別

酒造ニ屬セサル倉庫

酒造ニ屬セサル納屋

棟數

地名番地

地名番地

地名番地

棟數

地名番地

地名番地

地名番地

桶瓶數

酒造用諸器械

總數

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

何號

三九營

營業

元石數等

檢査月日

元石數等

檢査月日

元石數等

檢査月日

元石數等

檢査月日

元石數等

檢査月日

元石數等

檢査月日

元石數等

檢査月日

元石數等

檢査月日

四百九十

四百九十一

營業

四九營

何號	何貫	何目	何治	何年	何號	何石	何治	何年
何號	元清酒	何石	何月	何日	何年		何月	何日

〇甲六十三番
 六月九日附
 自家用料酒類製造人心得書別冊ノ通相定候條此旨布達候事
 但從前之製造人心得書ハ廢止ス
 (別冊)
 第一條 自家用料酒類製造人心得書
 酒造稅則附則ニ據リ自家用料酒類ヲ製造セシト欲スルモノハ第一號書式ニ倣ヒ
 所轄郡區役所へ願出免許鑑札ヲ受へシ

四百九十二

五九營

第二條 免許鑑札ハ其年一期 其年十月一日ヨリ有効ノモノトス故ニ引續製造スルモノハ 翌年九月三十日迄 第二號書式ノ願書へ最初授與シタル鑑札ヲ添へ指出シ其鑑札ニ免許ノ證印ヲ受クヘシ
 第三條 免許ヲ受ケタル者ハ製造スル種目數量及其造方法第三四號書式ニ據リ届出ヘシ
 但見込届高ヨリ増減及種目變換スルルハ其都度酒造検査員派出所へ届出ヘシ
 第四條 酒類釀成ノ節ハ其都度第五號書式ニ據リ酒造検査員派出所へ届出ヘシ
 第五條 前條釀成届指出シタル上ハ検査既済未済ニ拘ハラズ飲用スヘシ
 第六條 製造人ハ酒類製造帳ヲ製シ配麵并精買入先人名年月日其他酒類ノ原質トスヘキ
 品類及製成高飲用高等各種口分ケニ記入シ置キ主任官隨時検査ノ節檢閱ヲ受ヘシ
 第七條 釀成ノ摸樣ニ依リ壹石ヲ超ユルモノハ本則ニ據リ營業鑑札申受ヘシ
 第一號 自家用料酒類免許願

今般自家用料酒爲メ酒類製造仕度候ニ付鑑札御下渡被下度尤鑑札料上納ノ義ハ勿論御規
 則上堅ク相守可申候此段奉願候也

年月日
 何國何郡區何町村何番地
 戶長 氏名 印
 石川縣郡區長宛
 引續免許願

四百九十三

營業

四百九十四

六九營

一 自家用料酒類免許鑑札

壹葉

右者明治何年一期御免許相請候處今般引續製造仕度ニ付鑑札相添此段奉願候也

年月日

何國何郡區何町村何番地

戶長

氏名印

石川縣郡區長宛

氏名印

第三號

自家用料清酒一期釀造見込御届

一 清酒何程

白米何程

此 麴米何程

釀水何程

但何月釀造ノ見込

右明治何年一期清酒釀造見込書面ノ通候間此段御届申上候以上

年月日

何國何郡區何町村何番地

戶長

氏名印

氏名印

石川縣令宛

(味淋其他トモ本文ニ倣ヒ届出ヘシ且燒酎ハ其原質ヲ記スヘシ釀造期月ハ其釀造毎ノ月ヲ登記スヘシ)

第四號

自家用料清酒一期釀造法御届

一 酌

白米何程

此 麴米何程

釀水何程

一 掛添

白米何程

此 麴米何程

釀水何程

一 中掛添

白米何程

此 麴米何程

釀水何程

一 掛仕舞

白米何程

此 麴米何程

釀水何程

右清酒造方法御届申上候以上

年月日

何國何郡區何町村何番地

戶長

氏名印

氏名印

七九營

營業

四百九十五

石川縣令宛

氏名印

第五號 (味淋其他トモ本文ニ倣ヒ届出スヘシ且燒酎ハ其原質ヲ記スヘシ)

何酒釀成御届

一何酒何程 右者一期見込高ノ内書面ノ通釀成仕候間此段御届申上候也

何國何郡區何町村何番地

年月日

氏名印

酒造検査員宛

○甲六十四番 六月九日附

醫麴營業取締規則別冊之通相定候條此旨布達候事 但從前之醫麴營業人心得書ハ廢止ス

〔別冊〕

醫麴營業取締規則

第一條 醫麴營業稅則ヲ遵守シ該營業ヲ爲サントスル者ハ第一號書式ニ倣ヒ所轄郡區役所へ出願スヘシ

第二條 製造場ハ倉庫ノ棟數ニ拘ラス都テ其一區域ヲ以テ一箇所ト免許鑑札申請ヘシ

第三條 營業者ノ族籍住所ト製造場ト兩郡區ニ交渉スルモノハ製造場所在ノ郡區役所へ出願スヘシ

第四條 免許鑑札ハ其年二期 其年十月一日ヨリ 翌年九月三十日迄 有効ノモノトス故ニ引續キ免許ヲ請フ者

ハ第二號書式ノ願書へ最初授與シタル鑑札ヲ添へ九月三十日限出願シ其鑑札へ免許ノ証印ヲ受クヘシ

第五條 免許鑑札賣買讓與ノ爲メ書換ヲ請フハ第三號書式ニ倣ヒ出願スヘシ 但書換方甲乙兩郡區ニ交渉スルハ双方 本人並戸 連署ノ書面ニ免許鑑札ヲ添へ甲郡

區役所 賣買讓與人元製造 場所在ノ郡區役所 へ出願シ添翰ヲ受ケ乙郡區役所 買受讓受人製造場ト

ノ出シ鑑札書換ヲ請ヘシ

第六條 製造場轉換等ノ爲メ鑑札書換方兩郡區ニ交渉スルモノ並ニ他府縣ニ交渉スルモ

モ前條但書ニ準スヘシ

第七條 免許ヲ請タルモノハ該一期製造見込ノ石數第四號書式ニ倣ヒ遲クトモ三日以内

ニ届出ヘシ 但本文届出ノ后増減ハ其時々第五號書式ニ倣ヒ届出スヘシ

第八條 稅則第八條戸外ニ掲出スヘキ標札ハ第六號雛形ニ倣ヒ調製シ見易キケ所ニ掲置

第九條 廢業スル者ハ第七號書式ニ倣ヒ届書ニ鑑札相添還納スヘシ

第十條 營業ニ關スル願届進達方酒造検査員派出所へ差出ヘシ

第十一條 賣上帳其他ノ帳簿ヲ備へ置キ購求者居所姓名石數等遺漏ナク記載シ且賣上帳

ハ翌期十月検査ヲ受ケ營業中ノ保存スヘシ

第十二條 他ノ依託ヲ受ケ醫麴ヲ代造スル分ト雖モ石數届出ヘキハ勿論賣上帳へ其旨等

遺漏ナク書載スヘシ

第十三條 醫麴受賣者ハ製造人同様帳簿ヲ製シ其販賣石數及購求者氏名等ヲ詳記シ置キ

〇〇一營

檢査官隨時出張ノ節檢査ヲ受ヘシ
第十四條 第十二條ニ違犯シタルモノハ違警罪ノ處分ヲ請ヘシ
第一號 醫麴營業願

一醫麴免許鑑札 (製造場一區内ニ地番號ニケ所以
上アルキハ其番地ヲ記入スヘシ)

但製造場何國何郡區何町村何番地
右ハ今般醫麴營業仕度候ニ付鑑札御下渡被下度尤税金上納ノ義ハ勿論御規則上堅相守可
申候此段奉願候也

年月日

何國何郡區何町村何番地

第二號 石川縣郡區長宛

願人 氏名 印
戶長 氏名 印

引續營業願

一醫麴免許鑑札 壹葉
右ハ明治何年一期製造免許相請候處今般引續製造仕度ニ付鑑札相添此段奉願候也

年月日

何國何郡區何町村何番地

第三號 石川縣郡區長宛

戶長 氏名 印
氏名 印

醫麴免許鑑札 賣買ニ付書換願

何國何郡區何町村何番地

賣主 氏名

何國何郡區何町村何番地

買主 氏名

右者今般示談ノ上氏名ニ賣渡(或ハ讓與)致候間鑑札御書換被下度依之最前御下與之鑑札
相添連署ヲ以此段奉願候也

年月日

右

石川縣郡區長宛

氏名 印
氏名 印
氏名 印
戶長 氏名 印

第四號 明治何年醫麴製造見込御届

一醫麴何石 右者明治何年一期製造見込書面ノ通御座候此段御届申上候以上

年月日

何國何郡區何町村何番地

戶長 氏名 印
氏名 印

石川縣令宛

氏名 印

一〇一營

營業

第五號

醫麴製造見込増石(減石)御届

一醫麴何石

右ハ明治何年製造見込何程ト御届申上候處今般書面ノ通増石(減石)任度依テ此段御届申上候以上

年月日

何國何郡區何町村何番地

戸長

氏名

印

石川縣令宛

氏名

印

第六號

寸法巾豎曲尺三尺

横巾曲尺八寸

免許鑑札ノ番號

第何號

醫麴賣捌所

石川縣何郡區何町村何番地

氏名

第七號

醫麴營業廢止届

三〇一營

一醫麴免許鑑札

右營業罷在候處今般廢業候ニ付鑑札還納此段御届申上候也

年月日

何國何郡區何町村何番地

戸長

氏名

印

石川縣郡區長宛

○甲六十七番

六月十二日附

日本形船舶(漁船又ハ小回リ)出入港ノ節ハ別紙雛形ニ照準該船主船名及石數等ヲ詳記シ

其宿主ヨリ船頭連署ニテ(船宿ニ寄ラサル)所轄警察署分署又ハ交番所へ可届出其距離ニ

里以上ノ場所ハ浦役場へ届出ルモ妨ケナシ此旨布達候事

但出港ノ節ハ其前日入港ノ節ハ即日届出ヘシ

別紙雛形

(出入)港御届

一船主 何府縣何郡區何町村族籍

氏名

一船名 何々丸トカ

一船頭 何府縣何郡區何町村

氏名年齡

一石數 何石積

一繫場 何港又ハ何濱

一水夫 何府縣何郡區何町村氏名年齡

營業

右(何府縣何郡區何々港)ヲ年月日出帆本日入港
(何府縣何郡區何々港)ヘ向ケ何日出港
御届申上候也

年月日

何郡區何町村何番地族籍
船宿營業 氏 名 印
右船頭 氏 名 印

石川縣令姓名殿
積荷目録 何石
一何々 幾箇
一何々 何々
一何々 幾箇
一何々 何々
乗客人名 何々

何府縣何郡區何町村何番地族籍 氏 名
何 年 齡
船頭 氏 名 印

右之通候也
年月日

○甲七十番

六月廿日附

明治十六年七月甲六十七番ヲ以布達候煙草營業人心得書中左ノ通更正追加候條此旨布達候
事

第七條 稅則第六條ノ雇人ハ必ス其雇主ノ家ニアルモノニ限ルヘシ
第八條 第二條第三條第六條第七條ニ違背シタルモノハ違警罪ノ處分ヲ受ケヘシ

○甲七十一番

六月廿三日附

本年四月甲三十四番布達但書刪除候條此旨布達候事

○甲七十二番

六月二十五日附

牛肉販賣取締規則別紙ノ通相定候條此旨布達候事

但シ從前販賣者モ此際更ニ出願スヘシ
(別紙)

牛内販賣取締規則

- 第一條 牛肉ヲ販賣セントスルモノハ第一號書式ニ準シ戶長役場ヲ經由シ所轄警察署又ハ分署ヘ出願許可ヲ受ケヘシ
- 第二條 轉居改名又ハ廢業シタル者ハ前條ノ手續ニ依リ届出ツヘシ
- 第三條 牛肉販賣者ハ第二號雛形ノ看板ヲ製シ警察署又ハ分署ノ檢印ヲ受ケ店頭ニ掲クヘシ但シ廢業ノ節ハ消印ヲ請フヘシ
- 第四條 生肉ヲ卸賣スル者ハ其量目并年月日及ヒ卸受ケ人ノ姓名ヲ帳簿ニ記載スヘシ
- 第五條 生肉ヲ行商スルモノハ第一條ニ準シ出願取締鑑札ヲ受ケ之ヲ携帯スヘシ但シ廢業

六〇一營

業ノ節ハ還納スヘシ
 第六條 警察官吏ハ時々牛肉販賣ノ店舗等ニ就キ帳簿及ヒ生肉ヲ検査スルコトアルヘシ營業者ハ之レヲ拒ムコトヲ得ス
 第七條 前條検査ノ際腐敗ノ肉ト認ムルトキハ其場ニ於テ細截シ防臭藥石炭酸又ハ去瀝
 キ食料ニ販賣スルヲ許サス但シ費用ヲ要スル場合ハ賣主ノ自辨トス
 第八條 渾テ他獸ノ肉ヲ混同販賣スルヲ許サス
 第九條 馬肉ヲ販賣スルモ此規則ヲ遵守スヘシ
 第一號書式
 牛肉販賣仕度候間御許可被成下度此段奉願候也

明治何年 月 日

何郡何町何番地身分
願人 氏 名 印

第二號雛形

警察署又ハ分署檢印
 牛肉販賣
 姓 名
 豎三尺
 横五寸

七〇一營

〇甲七十三番

六月廿七日附

明治十四年四月甲五十三番小形旅客漁船取締規則第十八條中積荷并乘客届書左ノ通改正候條此旨布達候事

入港又ハ出港 何丸積荷并乘客届書

乗客人員	住所	族籍	姓名	年齢
上等何人	、	、	、	、
中等何人	、	、	、	、
下等何人	、	、	、	、
一積荷	、	、	、	、
右ノ通相違無之候也	、	、	、	、

年 月 日

何船何某印

石川縣

〇甲七十八番

六月三十日附

今般證券印稅規則改正相成本年七月一日ヨリ五圓印紙及界紙廢止セラレ候ニ付賣捌人へ

廿圓

八〇一營

拂下並需用者ニ於テ購求不用ノ分ハ此際一時買上候條右不用ノ印紙所持ノ者ハ來ル七月廿日限り現品相添買上方所轄郡區役所へ可致出願此旨布達候事

○乙壹番

一月八日附

明治十六年三月乙壹番布達漁業惣代撰定項目左ノ通追加候條此旨該營業者へ布達候事

第二へ左之但書ヲ加フ

但故障アルト見認ムルトキハ其理由ヲ詳悉具申スヘシ

第三既ニ認可シタル漁業惣代ト雖モ郡區長ハ時機ニヨリ改撰セシムルコトアルヘシ

○乙二番

二月一日附

今般古物商取締條例施行ニ付テハ二月一日以前ニ買取リ又ハ讓受ケタル商品現在高ナ左ノ書式ニ依リ登記本月十五日限り所轄警察署又ハ分署へ届出尙其扣帳ヲ備置クヘシ此旨古物商營業者へ布達候事

書式

本年二月一日以前買取商品現在高御届

一何色羽二重紋付小袖

一同前項ニ倣ヒ品類

一黒塗重箱

一同前項ニ倣ヒ品類

何 何 何 何
箇 箇 枚 枚

右商品現在高御届申上候也

何郡區何町村何番地

年月日

石川縣令姓名殿

何商 氏名 印

○乙三番

二月十二日附

本年甲十三番布達古物商取締細則第四條ニ依リ正副取締撰定マテハ古着及ヒ古道具商ニ限り從前ノ取締ニ於テ其事務ヲ取扱フヘシ且右營業者ハ從前ノ組合ニ据置クモ差支無之候條此旨古着及ヒ古道具商營業ノ者へ布達候事

但從前ノ組合ニ据置タル片ハ其旨所轄警察署又ハ分署へ届出ヘシ

○乙六番

五月十四日附

質屋取締條例本月十五日ヨリ實施相成候ニ付テハ從來ノ取締規則ニヨリ警察署ノ許可ヲ受ケタル營業者ニシテ尙引續キ該業ヲ營マントスルモノハ本年甲四十五番布達質屋取締細則第一條及第三條ノ手續ヲ爲スニ不及候條此旨該營業者へ布達候事

但從前ノ組合及取締モ其儘据置不苦候條据置ク片ハ其旨所轄警察署又ハ分署へ届出ヘシ

○乙七番

五月十四日附

本年甲四十五番布達質屋取締細則第四條ニ依リ正副取締撰定マテハ從前ノ取締ニ於テ其事務取扱フヘシ且ツ本月十五日以前買取ケタル質物現在高左ノ書式ニヨリ本月二十五日限り所轄警察署又ハ分署へ届出尙其扣帳ヲ保存致置クヘシ此旨該營業者へ布達候事

書式

九〇一營

〇一一營

明治十七年五月十五日以前質物現在高御届

- 一 何色羽三重紋付男小袖
- 但 紋何々裏何々
- 何色袖口何々
- 一 前項ニ做へ品類ナ
- 一同 詳記スヘシ
- 一金 御片硝子懷中時計
- 但 器械何々國製番號
- 何万何千附屬品何々
- 一 何々
- 但 何々

何 枚
何 枚
何 箇
何 々

何 郡區何町村何番地
質屋營業
何 某 印

右現在高御届申上候也

年 月 日
石川縣令謹殿

〇告六十三番

二月六日附

本年二月一日ヨリ古物商取締條例施行相成候ニ付二月一日以前該商業ノ許可ヲ得タルモノハ本縣本年甲十三番布達古物商取締細則第一條ニ依リ本月十五日限り更ニ出願免許鑑札ヲ受クヘシ此旨古物商營業者ヘ告示候事

〇告百二十番

三月十三日附

備車度量衡牛馬賣買免許鑑札及檢印檢査トシテ隨時掛官員派遣爲致候儀有之候條此旨告

示候事

但本文途中ニ於テ臨檢スルヲアルヘシ

〇告百廿二番

三月十三日附

今般質屋旅館屋人寄席各營業取締規則第一條改正候ニ付テハ從前營業者ニ於テモ更ニ出願許可ヲ受クヘシ此旨告示候事

但雇入受宿營業者モ同様心得ヘシ

〇告二百二番

五月一日附

酒類受賣人并製製造人トモ時機ニ依リ酒造等檢査員ニ於テ酒類ハ買入高麴ハ製造及販賣高等取調候儀モ可有之ニ付該營業人ニ於テハ帳簿ヲ製シ詳細ニ記載シ置調査ノ際檢閱ヲ受クヘシ此旨告示候事

〇告二百十三番

五月六日附

郡區長ヘ委任條中ヘ茶業組合證票檢印ノ事追加ノ件(雜部ヲ參觀スヘシ)

〇告二百廿七番

五月十四日附

明治十五年本縣告一番告示ニ據リ從來開業醫ノ子弟其家名相續ニ付醫業鑑札下付ノ者其相續權ヲ失フ時ハ鑑札返納之義同年報告乾第八拾四號ヲ以テ報告及置候處自今相續權ヲ失フ者ト雖モ鑑札返納ニ及ハス依然開業不苦候條此旨告示候事

〇告二百四十一番

五月廿三日附

郡區長委任條件第六十一項修正ノ件(雜部ヲ參觀スヘシ)

〇丙壹番

一月八日附

郡區役所、戶長役場

營業

五百九

一一一營

明治十六年三月十九番達漁業採藻取扱心得書中左之通増補候條此旨相達候事

漁業採藻取扱心得書

第一項中 採藻ノ下(遊漁)ノ二字及ヒ第三ノ下(第四)ノ二字ヲ挿入ス
第二項中 第四條ノ下(第五條)ノ三字及ヒ採藻ノ下(遊漁)ノ二字ヲ挿入ス
第四項中 第四條ノ下(第五條)ノ三字及ヒ採藻ノ下(遊漁)ノ三字ヲ挿入ス
△印ハ朱書

何郡何町何番地
區何何何

△裏面及寸法ハ第一離形ニ同シ

第四

遊漁鑑札 何ノ某

離形

但何々魚何漁器單獨漁

○丙六番

一月廿四日附

郡區役所、戸長役場

明治十六年五月丙四十七番ヲ以テ酒造等検査員出張ノ節提攜候印鑑裏面第二項中左之通更正候條此旨相達候事

更正

(營業)ノ二字ヲ刪除入ノ下(民)ノ一字ヲ填

○丙十七番

三月十四日附

郡區役所、戸長役場

娼妓營業ノ者蠱毒其他傳染病ニ罹リ治療中賦金免除計算法之義十五年十月丙五十九番達第一項但書左之通改正候條來ル四月一日ヨリ施行可致此旨相達候事

但シ計算法ハ該月税額ニ収税日數ヲ乘シ月ノ大小ニ拘ラス總テ三十日ヲ以テ除シ該月ノ税額トス以下倣之

○丙五十三番

六月十九日附

茨城縣河内郡下根本村大槻菊太郎外三十四名國税金不納ニ付再業出願ノ節ハ該金額徵收方ノ件(租税)部ヲ參觀ス(ハシ)

○ 雜之部

○ 甲七番

一月十四日附

明治十三年七月甲百六十四番ヲ以及布達候郡區長特委任條件中第六十二項中及ノ下採藻ノ上ニ遊漁ノノ二字挿入候條此旨布達候事

○ 甲八番

一月十七日附

本縣下鳳至珠洲郡役所ヨリ珠洲郡役所ヲ分離シ珠洲郡飯田村ニ珠洲郡役所ヲ設置候條此旨布達候事

○ 甲二十八番

三月廿二日附

但珠洲郡役所開廳之期日ハ追テ告示スヘシ
本年太政官第六號布達ノ民事訴訟用印紙見本ノ義ハ郡區役所へ下置候條出頭可致一覽此旨布達候事

○ 甲七十五番

六月三十日附

本縣戶長所轄區域別冊之通改定候條此旨布達候事

(別冊)

郡	戶長	所轄	町	村	名
區	場	位	置		
上	福	田			
右	奧	橋	三	上	萩
村	谷	村	ッ	福	生
岡	村	敷	村	田	村
敷	地	村		極	樂

雜

沼		江	
小鹽辻村	鹽濱村	山代村	南郷村
橋立村 片野村 黒崎村 深田村 宮村 小鹽村 田尻村 高尾村	切村 新保村 潮津村 宮地村 野田村 笹原村 笹原新村 伊	山代村 桂谷村 尾俣村 二ツ屋村 小坂村 横北村 水田丸村 黒瀬村 河南村 別所村 荒木村 保賀村	熊坂村 細坪村 菅生村 南郷村 日谷村 直下村 曾宇村 百々村 上河崎村 下河崎村 加茂村 中代村 盤屋村 瀬越村 上木村 吉崎村 永井村
		八軒道	大聖寺
			大聖寺荒町 大聖寺鉄砲町 大聖寺稗田町 大聖寺田原町 大聖寺 弓町 大聖寺木呂場 大聖寺金子 大聖寺市佐坊 大聖寺菅生町 大聖寺永町 大聖寺敷地町 大聖寺觀音町 大聖寺本町 大聖寺福田町 大聖寺角町 大聖寺京町 大聖寺十一町 大聖寺一本橋町 大聖寺 法華坊 大聖寺山田町 大聖寺寺町 大聖寺新屋敷 大聖寺五軒町 大聖寺鍛冶町 大聖寺東横町 大聖寺鷹匠町 大聖寺番場町 大聖寺 寺殿町 大聖寺新組町 大聖寺北片原町 大聖寺新町 大聖寺藤ノ木 根町 大聖寺相生町 大聖寺麻島 大聖寺大名町 大聖寺藤ノ木 大聖寺耳開山仲町 大聖寺龜町 大聖寺耳開山 大聖寺今出町 大聖寺關町 大聖寺越前町 大聖寺三ツ屋町 大聖寺五徳町 大聖寺 西田町 大聖寺東田町 大聖寺山ノ下 大聖寺庄兵衛谷 大聖寺下 屋敷 大聖寺大新道 大聖寺間新道 大聖寺中新道 大聖寺中 大聖寺馬場 大聖寺穴虫 大聖寺八間道 大聖寺仲町 大聖寺片原町 大聖寺地方 山田町地方

能		郡	
安宅村	高坂村	山代村	菅谷村
根上り村 安宅村 野村	福岡村 中ノ庄村 西二口村 野村 印内村 重任村 磯村 濁池 村下ノ江村 中ノ江村 高坂村 濱開發村 山口釜屋村	山代村 中田村 長谷田村 上原村 塚谷村	菅谷村 坂下村 小杉村 生水村 九谷村 眞砂村 我谷村 枯淵村 片谷村
湊村	寺井村	動橋村	勅使村
湊村 吉原村 吉居釜屋村 福島村 朝日村 橘新村	寺井村 東任田村 赤井村 五間堂村 小長野村 末信村 佐野村	高塚村 打越村 箱宮村 梶井村 桑原村 庄村 七日市村 西島村	山代村 二子塚村 森村 津波倉村 河原村 清水村 勅使村 松
栗生村	土室村	作見村	荒谷村
栗生村 上清水村 西任田村 吉光村 三道山村 河原新保村 秋常村 末寺	三反田村 土室村 橋村 舟場島村 下栗生村 出合島村 田子島 村與九郎島村 一ツ屋村 山田先出村 久五郎島村 宮竹新保村	片山津村 八日市村 弓波村 富塚村 作見村 小菅波村 大菅波村	柏野村 須谷村 塔尾村 四十九院村 龍村 中津原村 菅生谷村 荒谷村 今立村 大土村 上新保村 杉水村 西住村 市谷村
月津村	月津村	月津村	月津村
林村 湯上村 荒原村 矢田新村 月津新村 戸澤村 矢田村 下	栗津村 湯上村 荒原村 二梨村 額見村 月津村 柴山村	高塚村 打越村 箱宮村 梶井村 桑原村 庄村 七日市村 西島村	月津村 湯上村 荒原村 二梨村 額見村 月津村 柴山村

美	
今江村	須天村 今江村 矢崎村 符津村 島村 葦輪地方
串村	日末村 濱佐美村 串茶屋村 串村 佐美村 松崎村 村松村
栗津村	津波倉村 井口村 小山田村 白山田村 栗津村 西原村 牧口村 西荒谷村 日用村 馬場村 上江村 瀬領村 波佐谷村 長谷村 木塲村
赤瀬村	赤瀬村 打木村 大杉村
金平村	正蓮寺村 五國寺村 金平村 布橋村 江指村 大野村 花坂村 澤村 鹽原村 波佐羅村 松岡村 池城村 三ッ谷村 勘定村
尾小屋村	秋村 尾小屋村 丸山村 須納谷村 新保村 觀音下村 岩上村 西俣村
釜清水村	廣瀬村 瀬木野村 河合村 若原村 上野村 下野村 釜清水村 下吉谷村 上吉谷村 西佐良村 三ッ屋野村 河原山村 佛師久野村
別宮村	別宮出村 杉森村 神子清水村 渡津村 左礫村 三ッ瀬村 數瀬村 別宮村 阿手村 五十谷村 柳原村 野地村 相籠村 出合村 三坂村
女原村	女原村 東二口村 五味島村 釜谷村 深瀬村 瀬戸村 東荒谷村 尾添村 鴻ヶ谷村
白峯村	白峯村 桑島村 下田原村
三ッ口村	火釜村 丸丸村 岩内村 助生村 長瀧村 和佐谷村 大口村 宮竹村 三ッ口村 岩本村 灯臺笹村
下開發村	山田村 出口村 北市村 上開發村 下開發村 湯屋村 倉重村 三ッ屋村 辰口村 和田村 石子村 高座村 徳久村 徳山村 湯谷村

郡	
輕海村	佐々木村 荒木田村 輕海村 中村 岩淵村 桂谷村 原村 上麥口村 下麥口村 嵐村 中峠村 河田村 小野村 古府村
上八里村	上八里村 盲谷村 佛大寺村 鶴川村 立明寺村 遊泉寺村 下八里村 和氣村 寺島村 館村 鍋谷村 金剛寺村 坪野村 植田村
向本折村	三谷村 蓮代寺村 本江村 南淺井村 北淺井村 清六村 不動島村 向本折村 大領村 大領中村
打越村	園村 小寺村 白江村 漆村 八幡村 若杉村 打越村 吉竹村 千木野村 沖村
長野田村	高堂村 高堂新村 野田村 荒屋村 長野田村 千代村 金屋村 小杉村 牛島村 大長野村
島田村	大島村 松梨村 犬丸村 蛭川村 御館村 上牧村 島田村 柿村 能美村 下面村 一針村 上小松村
小松京町	小松龍助丁 小松八日市町 小松三日市町 小松東丁 八日市町地方 三日市町地方 小松本折町 小松上本折町 小松西丁 小松大字丁 小松寺町 小松本鍛冶町 小松塗師屋丁 小松本大工町 小松土居町 小松京町 小松地子町 小松新大工町 中町地方 松濱田町 濱田地方 向野地方 小松小馬出町 小松松任町 小松細工町 小松新町 小松茶屋町 小松泥町 小松中町 小松材木町 小松新鍛冶町
上安江村	下安江村 大友御供田村 近岡村 戸水村 南新保村 大友村 大河端村 三ッ屋村 割出村 諸江村 直江村 上安江村 大
栗ヶ崎村	西蚊爪村 須崎村 北間村 栗ヶ崎村 五郎島村
北村	北村 松村 無量寺村 若宮出村 二ッ屋村 藤江村 畠田村 北廣岡村 二口六丁 西念新保村

石川

二口村	高島村	八田村	宮永村	藤平田村	野々市村	押野村	地黃煎村	末村
寺中村 示野村 長田村 若宮村 南廣岡村 觀音堂村 善正寺村 神谷村	入江村 東力村 玉鉾村 糸田村 間明村 高島村 太郎田村 北笹村	下安原村 上安原村 野村 專光寺村 保古村 黒田村	宮永新田村 宮永市村 宮永村 倉部村 相木村 竹松村 福増村	中林村 藤平田村 栗田新保村 藤平田新保村 三納村 額乙丸村	野々市村 馬替村 太平寺村	八日市山出村 八日市新保村 徳經塚村 矢木荒屋村 野代村 押起村	泉野村 山科村 伏見新田村 圓光寺村 寺地村 泉野出村 地黃煎村	倉谷村 二又村 日尾村 見定村 熊走村 寺津村 島尾村 野杉村

笠舞村	白山村	吉野村	坂尻村	木津村	西米光村	下柏野村	成村	村井村	德丸村
笠舞村 土清水村 牛首村 浦波新田村 三口新田村 上野新田村 田井村	江津村 福岡村 奧池村 金山村 吹上村 板尾村 久保村 山口直	吉野村 佐良村 瀬波村 市原村 木滑村 木滑新田村 中宮村	月橋村 小柳村 日御子村 坂尻村 曾谷村 熱野村 道法寺村	菅波村 乙丸村 針道村 伊地村 珠蔭村 坊丸村 矢頃島村 吉	柴木村 行向島村 部入道村 安養寺村 藤木村 今西村 七原村 安吉	北島村 本吉新田村 平加村 蓮池村 西米光村 鹿島村 東米光村	下柏野村 水島村 番田村 源兵衛島村 源兵衛島村 上安田村 御影堂村 上柏	德丸村 村井新田村 北安田村 相川村 相川新田村 平木村 成村	堀内村 田尻村 蓮花寺村 柳町村 橋爪新田村 幸明村 倉光村 町

鶴來町

松任町

美川町

鶴來町

松任町

美川町

金石本町

金石庄町 金石上野町 金石蓮池町 金石坂本町 金石鍵町 金石
 茶釜町 金石船手町 金石龜齡町 金石稻荷町 金石湊川町 金石
 幸町 金石下本町 金石味噌屋町 金石横町 金石新町 金石長田
 寺町 金石重磨寺町 金石今町 金石冬瓜町 金石上本町 金石海禪
 金石濱町 金石達磨町 金石本町 金石澁町 金石松前町 金石古河町
 御船町 金石下寺町 金石新瀧町 金石御鹽藏町 金石上濱町 金石上寺
 石通町 金石相生町 金石上越前町 金石下越前町 金石鐵砲町 金石
 石通町

野町二丁目

野町一丁目 同二丁目 同三丁目 同四丁目 同五丁目 同六丁目
 泉町 泉新町 有松町 蘆中町 桃島町 石坂與力町 石坂角場一
 番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 同六番丁 同七
 番丁 同八番丁 同九番丁 同十番丁 同十一番丁 同十二番丁
 上小柳町 下小柳町 本馬町 助九郎町 石坂町 千日町 裏千日
 町 西側町 白菊町 五十人町 裏五十人町 南石坂町 北石坂町
 北石坂新町 石坂川岸町 石坂川岸一ノ小路 同二ノ小路 蛤坂町
 蛤坂新道 泉寺町 野田寺町 一丁目 同二丁目 同三丁目 同四丁目
 丁目 同五丁目 長良町 櫻島一丁目 同二丁目 同三丁目 同四丁目
 同五丁目 同六丁目 同七丁目 同八丁目 同九丁目 同十丁目 同十一丁目 同十二丁目

澤

金

堅

中石引町

三ノ小路 同四ノ小路 同五ノ小路 同六ノ小路 同七ノ小路 同八ノ小路 同九ノ小路 同十ノ小路 同十一ノ小路 同十二ノ小路
 堀込町 笹夕町一ノ小路 同二ノ小路 同三ノ小路 同四ノ小路 同五ノ小路 同六ノ小路 同七ノ小路 同八ノ小路 同九ノ小路 同十ノ小路
 同二丁目 同三丁目 三軒道 地黃煎町 沼田町 六斗林弓ノ町
 片町 廣坂通 河原町 大工町 十三間町 十三間町中丁 池田町
 一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 池田町立丁 上柿木島
 下柿木島 堅町 里見町 油車 新堅町三丁目 中川除町 枝町
 杉浦町 水溜町 鱗町 茨木町 山田屋小路一番丁 同二番丁 百
 姓町 早道町 新堅町一丁目 同二丁目 上川除町 川岸町 上主
 馬町 中主馬町 下主馬町 主馬町廣丁 松本町 菊川町 梅夕枝
 町 上本多町一番丁 同二番丁 上本多町川御亭 中本多町一番丁
 同二番丁 同三番丁 同四番丁 中本多町欠下町 中本多町短町
 下本多町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 同六
 番丁 上富山町 下富山町 川上新町一番丁 同二丁目 同三丁
 目 臺所町一番丁 同二番丁 向三番丁 同四番丁 同五番丁 同六
 番丁 同七番丁 長柄町 新長柄町 石浦新町 手木町 平野町
 角場川岸町 中野町一番丁 同二番丁 同三番丁 藤棚町
 上石引町 中石引町 下石引町 飛梅町 上鷹匠町 中鷹匠町 下
 鷹匠町 出羽一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 下
 大音町 上安藤町 中安藤町 下安藤町 二十八町 一番丁 同二
 番丁 同三番丁 同四番丁 一本松 上欠原町 中欠原町 下欠原
 町 揚地町 上笠舞町 下笠舞町 新坂町 山崎町 白山町 河内
 町 松下町 上野町 小立野新町 上鶴間町 下鶴間町 元鶴間町
 三所町 上弓ノ町 中弓ノ町 下弓ノ町 土取場城端町 同永町

同撞木町 與力町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 上百々 女木町 下百々女木町	味贈藏町下 中町	十間町 西町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 西町敷ノ内 通 上近江町 下近江町 博勞町 尾張町 上新町 下新町 殿町 上今町 下今町 中町 大手町 梅本町 同西横町 同東横町 上胡 桃町 下胡桃町 小尻谷町 尻垂坂通三丁目 同三丁目 同三丁目 賢坂辻通 小橋町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四丁目 同三丁目 六丁目 同七丁目 橋場町 北計町 小玉小路 並木町 並木下町 玄蕃町一番丁 同二番丁 同三番丁 同三巡り 味贈藏町上中町 同中町 同間ノ町 同裏町 同片原町 九人橋下通 備中町 又五郎町 越 中町 横山町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四丁目 同五丁目 材木 町一丁目 同二丁目 同三丁目 同四丁目 同五丁目 八坂 成瀬 町 丸枚町 森町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四丁目 同五丁目 天神町壹 町目 同二丁目 同三丁目 同四丁目 同五丁目 御小人町 裏御小人町 川町 板前町 三十八人町 吹屋町 田町新道 火除町 馬場 崎町 川端町 銀杏町 櫻町壹番丁 同貳番丁 同三番丁 同四番 丁 同五番丁 同六番丁 木曾町 石浦町 南町 仙石町 上松原町 下松原町 上堤町 下堤町 青 草町 袋町 石屋小路 桑町 松久枝町 高岡町 同上敷ノ内 同 同中敷ノ内 同下敷ノ内 長明川岸 宗叔町二番丁 同三番丁 同 四番丁 同五番丁 穴水町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 玉川町 長土堀通 長土堀四番丁 同五番丁 同六番丁 三掃 勝尾町 三社宮ノ前 同宮ノ後 同川岸 同山田町 同垣根 町 三社町 元菊町 古道 古道一丁目 同二番丁 木揚場 上傳
--	-------------	---

鍛冶片原町	馬町 下傳馬町 橫傳馬町 裏傳馬町 古寺町 裏古寺町 木倉町 北長門町 南長門町 犀川下川除町 大敷小路 長町一番丁 同二 番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 同六番丁 同七番丁 同八 番丁 鹽川町 長土堀一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五 番丁 同五十八人町 高嶺町 下高嶺町 谷町 寶船路町 古藤内町 茶木町 西 馬場町 新川除町 西御影町 富本町 俵田町 元車町 大豆田町 同新道 梅鉢清水 安江町 横安江町 裏安江町一番丁 同二番丁 桶町 母衣町 彦 三一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 同六番丁 同七番丁 同八番丁 五寶町 岩根町 盤屋町 下盤屋町 瓢箪町 巴町 笠市町 堀川間ノ町 古餅指町 東堀川町 中堀川町 西堀 川町 堀川角場町 淵上町 七之屋 白銀町 英町 六枚町 七寶 町 芳齊町 新道 弓ノ町 鍛冶片原町 鍛冶町 象眼町 田丸町 玉井町 荒町一丁目 同二丁目 同三丁目 此花町 木新保一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 同六番丁 同七番丁 島田町 柳町 折達町 中橋町 日吉町 醒夕井町 大隅町 深川 町 長田町 長田弓ノ町 一番丁 同二番丁 同三番丁 森下町 金屋町 裏金屋町 大衆免中通 同片原町 立川町 馬場 一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 同六番丁 東 馬場町 小橋町 水車町 淺野町 下淺野町 淺野新町 梅澤町 上中島町 下中島町 御仲間町 上牧町 中牧町 下牧町 平新町 大衆免井波町 同龜淵町 同七曲 同堅町 同横町 森山町一番 丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 同六番丁 觀音町三丁目 同六
-------	---

雜

河					
森下町	袋村	下田上村	小坂村	御所村	淺野村
丁目 同三丁目 木町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 上小川町 下小川町 愛宕一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 八幡町 木綿町 卯辰高町 同下町 御歩町一番丁 同二番丁 同三番丁 同四番丁 同五番丁 同五番丁 同五番丁 常盤町 東御影町 未廣町 子來町 鶯町 高道町 高道新町 山ノ上町 一丁目 同二丁目 同三丁目 同四丁目 同四丁目 山下町 春日町一丁目 同二丁目 同三丁目 同四丁目 同五丁目 上田町 同心町 談議所町 上大繩町 下大繩町	横谷村 石黒又村 板ヶ谷村 古郷寺村 楊尾村 町村 上山村 平下村 北袋村 東市瀬村 藤六村 朝ヶ屋村 下荒屋村 袋村 野村 上中村 銚子口村 炭釜村 木目谷村 谷口村 打尾谷村 平等村	小豆澤村 折谷村 小原村 魚蹄村 大菱池村 小菱池村 湯谷原村 戸室別所村 俵等村 戸室中山村 新保村 南原村 戸室清水村 角間村 若松村 鈴見村 下田上村 上田上村 田島村	談議所村 山上村 卯辰村 神宮寺村 三池村 宮保村 神谷内村 小坂村	二俣村 荒山村 市瀬村 小嶺村 北方村 納年村 直江野村 車村 牧山村 不室村 袖木村 釣部村 小二又村 牧村 傳燈寺村 夕日寺村 長屋村 御所村	大衆免村 淺野村 淺野中島村 沖村 磯部村 松寺村 寺町村 高柳村 乙丸村

雜

北							
藥師村	森下驛	今町村	太田村	津幡驛	竹橋村	倉見村	能瀬村
月浦村 涌波村 下涌波村 河原市村 藥師村 正部谷村 宮野村 古屋谷村 涌波村 高坂村 鳴瀬村 梨木村 不動寺村 堅田村 深谷村 四王寺村 福皇村 小池村 切山村 小野村 堀切村 曲子原村 土子原村 今泉村 竹又村 清水谷村 東原脇原村	大傷村 八田村 才田村 忠繩村 南森下村 北森下村	觀法寺村 今町村 梅田村 月影村 八幡村 淺野深谷村 榎尾村 淺谷村 利屋村 岸川村 二日市村 四坊村 四坊高坂村 地代村 千杉村 朝日村 朝日牧村 鞆筒村 向山村 俵原村 南千谷村 北千石村 中尾村 松根村 瀧下松根村 上平村 琴村 琴坂村	瀧端新村 太田村 南中條村 北中條村 淺田村 明神谷内村 野河内村 東荒屋村 中須加村 中橋村 川尻村 五反田村	津幡村 清水村 庄村 加賀爪村 横濱村 加茂村 舟橋村	竹橋村 俱利伽羅村 山森村 上藤又村 大窪村 北横根村 南横根村 相窪村 朝日畑村 常徳村 飯生村 大坪村 北横根村 又村 別所村 七野村 下中村 原村 富田村 丹安村 越中坂村 坂戸村 河内村 九折村 上野村	大畠村 籠月村 宮田村 岩崎村 田屋村 七黒村 吉倉村 鳥越村 市谷村 倉見村 杉瀬村 苗谷村 笠池ヶ原村 彦太郎島村	大熊村 小熊村 八ノ谷村 池ヶ原村 興津村 菩提寺村 中山村 上矢田村 下矢田村 御門村 谷内村 能瀬村 領家村 多田村 指江村

雜

郡		羽	
宇野氣新村	上山田村 下山田村 氣屋村 鉢伏村 森村 宇野氣新村 宇野氣村 七窪村 内日角村 大崎村 狩鹿野村	圓井村	東太田村 西太田村 千代町村 志々見村 尾長村 堀替新村 菱分村 本江村 下境村 圓井村 四町村 吉崎村 千田村 上江村 垣内田村 深江村 石野助村 三ツ屋村
横山村	横山村 内高松村 高松新村 若緑村 余地村 笠島村 上田名村 谷村	飯山村	杉野屋村 飯山村 福水村 上白瀬村 白瀬村 敷野村 中川村 神子原村 菅池村 千石村
木津村	木津村 松濱村 遠塚村 濱北村 秋濱村 外日角村 白尾村 向栗崎村	散田村	石坂村 走入村 清水原村 所司原村 向瀬村 見砂村 散田村 坂村 走入村 新宮村 原村 平床村 針山村 聖川村 海老
箕打村	室村 西荒屋村 黒津船地内 宮坂村 大根布村 向栗崎村 牛首村 瓜生村 上河合村 下河合村 大田村 黒川村 箕打村 元女村 八野村 瀬戸町村 夏栗村 野寺村	子浦村	秋嶋村 萩谷村 萩市村 子浦村 菅原村 二口村 立開村 土橋村 栗原村 吉野屋村
免田村	中沼村 二ツ屋村 森本村 免田村 北川尻村 大海川尻村 冬野村 紺屋町村 坪山村 東間村 東野村 正友村 中野村 三日町村 御館村	小川村	川村 南吉田村 門前村 上田出村 寶達村 山崎村 澤川村 小川村 河原村 米出村
宿村	麥生村 竹生野村 野波村 敷濱村 柳瀬村 柳瀬出村 宿村 今宿村 今宿新村	飯山	飯山
瀧谷村	瀧谷村 岩田村 狹谷村 坪野村 宿女村 上棚村 二所宮村	瀧谷村	瀧谷村 岩田村 狹谷村 坪野村 宿女村 上棚村 二所宮村
瀧野村	瀧野村 大島村 長澤村 木坂村 穴口村 米濱村 瀧井村 矢駄村 安津見村 安津見新村 倉垣村 西山村 館村	瀧野村	瀧野村 大島村 長澤村 木坂村 穴口村 米濱村 瀧井村 矢駄村 安津見村 安津見新村 倉垣村 西山村 館村
大念寺新村	大念寺新村 大念寺村 末吉村	大念寺新村	大念寺新村 大念寺村 末吉村
町村	町村 安部屋村 上野村 神代村 川尻村 百瀬村 小浦村 大津村 赤任村 江野村 松戸村 堀松村 清水今江村 矢藏谷村 梨谷小山村 北吉田村 火打谷村 代田村 矢田村 印内村 館開村 徳田村	町村	町村 安部屋村 上野村 神代村 川尻村 百瀬村 小浦村 大津村 赤任村 江野村 松戸村 堀松村 清水今江村 矢藏谷村 梨谷小山村 北吉田村 火打谷村 代田村 矢田村 印内村 館開村 徳田村
北吉田村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村	佛木村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村
佛木村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相神村 草江村 中濱村 酒見村 稻敷村 大福寺村 大鳥居村 相木村 飯室村	佛木村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村
相神村	相神村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村	相神村	相神村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村
西谷内村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村	西谷内村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村
赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村	赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村
赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村	赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村

雜

郡		昨	
赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村	赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村
相神村	相神村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村	相神村	相神村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村
西谷内村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村	西谷内村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村
佛木村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村	佛木村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村
北吉田村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村	北吉田村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村
町村	町村 安部屋村 上野村 神代村 川尻村 百瀬村 小浦村 大津村 赤任村 江野村 松戸村 堀松村 清水今江村 矢藏谷村 梨谷小山村 北吉田村 火打谷村 代田村 矢田村 印内村 館開村 徳田村	町村	町村 安部屋村 上野村 神代村 川尻村 百瀬村 小浦村 大津村 赤任村 江野村 松戸村 堀松村 清水今江村 矢藏谷村 梨谷小山村 北吉田村 火打谷村 代田村 矢田村 印内村 館開村 徳田村
北吉田村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村	北吉田村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村
佛木村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村	佛木村	佛木村 谷屋村 直海村 栗山村 釋迦堂村 小室村 松木村 佛木村 米町村 大笹村 長田村 市ノ谷村
西谷内村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村	西谷内村	鳥越村 西谷内村 古江村 河内村 藤瀬村 上畠村 北免田村 大平村 町屋村 入釜村 鶴野屋村 地保村 切留村 阿川村 和田村 東小室村 廣地村 江添村 大西村 田中村 今田村 和田村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村
相神村	相神村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村	相神村	相神村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 貝田村 里本江村 相坂村 給分村 中泉村 八幡坐主村 八幡村 相木村 飯室村
赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村	赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村
赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村	赤崎村	前深谷村 風無村 風戸村 千浦村 赤崎村 鹿頭村 小窪村 笹波村 深谷村

鹿		島	
七尾府中町	手町 七尾橋町 七尾作事町 七尾生駒町 七尾龜山町 七尾一本杉町 七尾松本町 七尾富岡町 七尾常盤町 七尾三島町	金丸村	金丸村 金丸出村 鹿島路村 瀧崎村 下曾稻村
小島村	小島村 津向村 直津村 赤浦村 赤浦新村 松百村 新保村 祖	能登部下村	能登部下村 能登部下村後山分 德丸村 上村 上村後山分 西馬
府中村	藤橋村 所口村 府中村 天神川原村 藤野村 後島村 竹町村	高島村	高島村 高島村原山分 福田村 藤井村 小田中村 小田中村原山
佐々波村	佐々波村 殿付 佐野村 大田新村 三室村 鵜浦村 上湯川村 澤野村	小竹村	小竹村 水白村 久江村 久江村原山分 尾崎村 東馬場村 最勝
八幡村	八幡村 千野村 國下村 多根村 八田村 中挾村 江曾村 飯川	二宮村	二宮村 石動山 磯ヶ原村 芹川村 芹川村原山分 武部村 淺井村 久乃木
佐々波村	佐々波村 須能村 麻生村 小栗村 清水平村 柑子山村 外林村 庵	八幡村	八幡村 若林村 下村 白馬村 細口村 國分村
佐味村	佐味村 殿付 佐野村 大田新村 三室村 鵜浦村 上湯川村 澤野村	能登部下村	能登部下村 能登部下村後山分 德丸村 上村 上村後山分 西馬
府中村	藤橋村 所口村 府中村 天神川原村 藤野村 後島村 竹町村	能登部下村	能登部下村 能登部下村後山分 德丸村 上村 上村後山分 西馬
小島村	小島村 津向村 直津村 赤浦村 赤浦新村 松百村 新保村 祖	能登部下村	能登部下村 能登部下村後山分 德丸村 上村 上村後山分 西馬
七尾府中町	手町 七尾橋町 七尾作事町 七尾生駒町 七尾龜山町 七尾一本杉町 七尾松本町 七尾富岡町 七尾常盤町 七尾三島町	能登部下村	能登部下村 能登部下村後山分 德丸村 上村 上村後山分 西馬

鹿		島	
南時國村	殿戸村 鈴屋村 牛尾村 寺山村 廣江村 寺地村 西時國村 南時國村	田鶴濱村	津原村 白濱村 奥原村 入會 高田村 杉森村 三引村 深見村 深見村平澤分 大
里	里村 東印内村 西院内村 東山村 濫田村 北河内村 西山村	河崎村	豐田村 笠師村 笠師新村 鹽津村 萩屋村 外原村 奥吉田村 奥吉田新村 笠染
石休場村	石休場村 山上村 市ヶ瀬村 東中尾村 北谷村 西脇村 打越村	中島村	中島村 長浦村 瀬風村 山田村 横見村 田岸村 外村 小牧村 深浦
輪島鳳至町	輪島河井町 輪島海士町 輪島輪島崎町 輪島鳳至町	向田村	向田村 祖母ヶ浦村 八ヶ崎村 須曾村 島別所村 半浦村 野崎村
輪島鳳至町	輪島河井町 輪島海士町 輪島輪島崎町 輪島鳳至町	向田村	向田村 祖母ヶ浦村 八ヶ崎村 須曾村 島別所村 半浦村 野崎村
石休場村	石休場村 山上村 市ヶ瀬村 東中尾村 北谷村 西脇村 打越村	向田村	向田村 祖母ヶ浦村 八ヶ崎村 須曾村 島別所村 半浦村 野崎村
里	里村 東印内村 西院内村 東山村 濫田村 北河内村 西山村	向田村	向田村 祖母ヶ浦村 八ヶ崎村 須曾村 島別所村 半浦村 野崎村
南時國村	殿戸村 鈴屋村 牛尾村 寺山村 廣江村 寺地村 西時國村 南時國村	向田村	向田村 祖母ヶ浦村 八ヶ崎村 須曾村 島別所村 半浦村 野崎村

雜

粟藏村	柳田村	藤ノ瀬村	宇出津村	瑞穂村	鶴川村	甲	中居村	宇留地村	川島村	劍地村	池田村
栗瀨村 大川村 伏戸村 東大野村 川西村 井面村 桶戸村 眞久村 佐野村 金藏村 徳成村 東村 葵生野村 徳成谷内村 柳田村 石井村 國光村 鴨川村 小間生村 鈴ヶ嶺村 長尾村 北圃山村 久田村 桐畑村 上町村 合鹿村 舞谷村 笹川村 五十里村 黒川村 大箱村 十郎原村 神和住村 中齊村 寺分村 五郎左工門分村 天坂村 藤ノ瀬村 宇加塚村 鶴町村 曾又村 宇出津村 宇出津新町 宇出津山分村 藤波村 波波村 羽倉村 柿生村 瑞穂村 日田村 宮地村 鮎尾村 才木村 菅目村 柏木村 大田原村 鶴川村 竹太村 古君村 宇加川村 明千寺村 山中村 矢波村 七見村 小垣村 甲 曾良村 鹿波村 川尻村 岩車村 東中谷村 曾山村 武連村 沖波村 前波村 中居村 菅谷村 榎谷村 波志俣村 藤巻村 月良村 伊久留村 木原村 菅野村 此木村 地蔵坊村 市ノ坂村 小又村 原村 荒屋村 長井坂村 貝吹村 定廣村 地原村 百成村 狹石村 大角村 間村 上中村 越渡村 桂谷村 汗谷村 鹿路村 河内村 宇留地村 川島村 大田村 北七海村 七市村 内浦村 鶴倉村 乙ヶ崎村 志ヶ浦村 新崎村 根木村 鹿島村 曾福村 馬塚村 籠ヶ村 瀧助村 大釜村 木原月村 神明原村 馬汲村 窠村 久川村 清澤村 西中谷村 切狭村 劍地村 大泊村 飯川村 渡瀬村 入山村 黒岩村 上代村 腰細村 赤神村 白糸村 江崎村 二又村 山是津村 藤波村 池田村 南村 千代村											

雜

珠	郡	門前村	浦上村	皆月村	小伊勢村	大谷村	寺家村	折戸村	嶋島村
北川村 是清村 中田村 鍛冶屋村 新町分村 推木村 小山村 大郎木村 深見村 鹿儀村 道下村 黒島村 門前村 鬼屋村 走山村 和田村 高根尾村 廣瀬村 日野尾村 館村 勝田村 小龍村 猿橋村 西中尾村 上河内村 小石村 廣岡村 傍木村 才市村 清水村 深田村 浦上村 内保村 中野屋村 安代原村 淺生田村 八幡村 山邊村 本内村 鏡川村 宮古場村 二又川村 平利 別所村 東大町村 堀越村 村 西田山 村 二又川村 平利 別所村 東大町村 堀越村 大澤村 上大澤村 西二又村 樽見村 皆月村 吉浦村 五十洲村 矢徳村 小杉村 中谷内村 大瀧村 鶴山村 餅田村 百成大角尚村 井守上坂村 野野村 暮坂村 上山村 赤崎村 伊勢村 中殿村 水守村 堀村 釜原谷村 光浦村 鶴入村 野村 房田村 長井村 下黒川村 上黒川村 山本村 別所谷村 籠又村 三俣村 細又村 空熊村 山岸村 宅田村 二ッ屋村 稲屋村 小池村 下山村 片岩村 仁石村 清水村 眞浦村 北山 大谷村 長橋村 馬縹村 二子村 上黒丸村 洲卷村 白瀧村 南山 村 吉夕池村 上山村 二子村 上黒丸村 洲卷村 白瀧村 南山 寺家村 栗津村 大屋村 森腰村 宇治村 引砂村 高波村 折戸村 狼煙村 狼煙新村 几浦村 唐笠村 東山中村 折戸村 笹波村 高屋村 嶋島村 雲津村 竹澤村 小泊新村 小泊村 細屋村 本村 杉山 村 川尻村 伏見村 竹澤村 小泊新村 小泊村 細屋村 本村 杉山									

○二雜

洲		郡	
正院村	小路村	白丸村	小木村
飯田村	飯田村	延武村	根村
飯田村	北方村	延武村	根村
南方村	寺社村	出田村	國重村
熊谷村	飯塚村	廣栗村	國重村
岡田村	岩坂村	火宮村	國重村
		古藏村	國重村
		經念村	國重村
		中田村	國重村
		向村	國重村
		延武村	國重村
		大坊村	國重村
		內山村	國重村
		中村	國重村
		鈴内村	國重村
		大町泥木村	國重村
		馬渡村	國重村
		南黒丸村	國重村
		鶴	國重村
		島村	國重村
		春日野村	國重村
		金峯寺村	國重村
		不動寺村	國重村
		駒渡村	國重村
		田代村	國重村
		上村	國重村
		戀路村	國重村
		瀧ノ	國重村
		坊村	國重村
		行延村	國重村
		時長村	國重村
		松波村	國重村
		官大村	國重村
		秋吉村	國重村
		清具村	國重村
		立壁村	國重村
		四方山村	國重村
		白丸村	國重村
		長尾村	國重村
		丸里川尻村	國重村
		布浦村	國重村
		新保村	國重村
		何ヶ谷村	國重村
		越坂村	國重村
		市ノ郷村	國重村
		眞脇村	國重村
		山中村	國重村
		大澤村	國重村
		小浦村	國重村
		羽	國重村

○甲七十四番

六月廿七日附

明治十五年甲百六十五番布達並ニ同年同甲百七十番布達及ヒ同年同甲百七十五番布達ハ本年六月三十日限り廢止候條此旨布達候事

○甲七十六番

六月三十日附

明治十二年甲百二十六番布達戸長撰擧法相廢シ今當廳ニ於テ撰任候條此旨布達候事但時宜ニ依リ公撰法ヲ用ユルコトアルニシ

○甲七十七番

六月三十日附

今般甲七十六番ヲ以テ戸長撰任方改正候就テハ新任戸長役場開設候迄ハ渾テ從來ノ戸長

○乙五番

四月廿八日附

神道諸宗教導職進退ノ節届出方ニ付テハ十二年七月甲百六番ヲ以及布達置候處近來等關ニ打過不届出向モ有之調理方不都合不少仍テ今般更ニ名簿別紙雛形之通リ調製來ル五月廿日限於郡區役所ニ可差出此旨教導職之輩ニ布達候事

職名

何郡何町某	社	何郡何町某	姓	名	印
何郡何町某	寺住職又ハ衆徒	何郡何町某	居住	又弟ハ何某(幾男)	
何郡何町某	住職又ハ衆徒	何郡何町某	同居	又弟ハ何某(書)	

○告二番

一月四日附

崎玉縣榛澤郡岡村熊本縣宇土郡栗崎村等十一ヶ村福島縣岩瀬郡西川村長野縣西筑前郡日義村同縣東筑前郡今村同郡入山邊村愛媛縣野間郡脇村群馬縣南勢多郡天川大島村地所建物并船舶賣讓渡書入算公証封印簿更正紛失又件ハ與書院田舎等夫々(公報第壹號)

○告三番

一月七日附

熊本縣下山本郡三木村等三ヶ村山梨縣下甲斐國北巨摩郡上手村同縣同郡大泉村地所

○二雜

二二雜

建物質入書入賣買讓渡公証割印簿燒失更正ノ件 (公報第貳號)

○告三番 一月七日附

福井縣下越前國吉田郡桐村土地建物賣買讓渡質入書入與書割印簿紛失ノ件 (公報第貳號)

○告四番 一月八日附

加賀國金澤區油車三十七番地宅地券狀書換ノ件 (公報第三號)

○告五番 一月十日附

福井縣ヨリ海中へ轉落行衛知ノサル者兵庫縣ヨリ漂流死体拾揚ケ照會ノ件 (公報第四號)

○告七番 一月十一日附

宮城縣陸前國桃生郡太田檜崎村地所建物紛失錯雜ノ件 (公報第五號)

○告八番 一月十二日附

岡山縣川上郡平川村崎玉縣入間郡宮寺村及鴻巣宿並ニ同郡南村等三ヶ村同縣榑羅郡上須

戶村福岡縣津郡垣末村等三ヶ村靜岡縣伊豆國君津郡大場村同縣遠江國周智郡久能村地

所建物船舩質入書入賣買公証割印簿更正紛失燒失ノ件 (公報第五號)

○告九番 一月十一日附

靜岡縣遠江國敷地郡舊濱松宿地方建物質入書入公証割印簿更正ノ件 (公報第五號)

○告十番 一月十一日附

福岡縣筑前國博多燈臺點燈位置ノ件 (公報第五號)

○告十二番 一月十二日附

縣下河北郡向粟崎村平民嶋田九郎右衛門外二名河北瀉ニ於テ溺死ノ儘所在不分明ノ件

○告十四番 一月十四日附

大分縣東國東郡鶴川村福岡縣御原郡今村外三ヶ村廣島縣神石郡坂瀬川村外一ヶ村新潟縣

北浦原郡向中條村外二ヶ村同縣中頸城郡山部村同縣南蒲原郡中曾根新田外二ヶ村地建物

船舩質入書入公証割印簿紛失錯雜更正ノ件 (公報第六號)

○告十五番 一月十四日附

鳥取縣河村郡福田村外十四ヶ村同縣八橋郡由良宿外一ヶ村同縣河村郡筒地村外十一ヶ村

宮城縣伊具郡伊手村同縣同郡高倉村地所建物船舩質入書入公証割印簿錯雜紛失更正ノ件

(公報第六號)

○告十六番 一月十六日附

本縣能登國鳳至郡輪崎町加治藤三郎外一名溺死ノ儘所在不分明ノ件 (公報第七號)

○告十七番 一月十六日附

鹿兒島縣薩摩國鹿兒嶋郡汐見町百二十二番戶平民池畑太平次所有ノ西洋形風帆船誠榮丸

及乘組人横村熊吉外七名出帆ノ儘行衛不知等ノ件 (公報第七號)

○告十九番 一月十六日附

青森縣陸奥國西津輕郡蓮華田村外三ヶ村地所建物質入書入公証割印簿更正日限延期ノ件

(公報第七號)

○告二十番 一月十六日附

青森縣陸奥國西津輕郡第一組地所建物書入質入公証割印簿岐阜縣美濃國池田郡願成寺村

大野郡瀨古村同郡宇津志村高尾村不破郡今須村地所建物賣買讓渡質入書入公証割印簿更

二二雜

四二雜

正少件... 一月十八日附

任石川縣珠洲郡長... 一月十八日附

任石川縣鳳至郡長... 一月十八日附

右之通任候條此旨告示候事... 一月十八日附

愛媛縣士族吉本義秋著東京府平民内藤清八出版ノ書名新珍自由美譚ナルモノ、本邦政界ニ關シテ都合之廉ヲ以テ發賣被差止候條此旨書籍營業者へ告示候事

○告廿八番... 一月廿四日附

岐阜縣美濃國大野郡大野村同郡櫻大門村同郡寺内村海西郡野寺村山縣郡梅原村飛彈國益田郡寶三鄉村福岡縣筑前國御笠郡下見村等五ヶ村地所建物業買讓渡質入書入公証割印簿更正紛失ノ件

○告廿九番... 一月廿四日附

明治十六年十一月廿四日附

○告三十番... 一月廿四日附

五二雜

明治十六年十一月廿四日附

○告三十一番... 一月廿四日附

本縣珠洲郡役所本年二月一日ヲ以開廳候條此旨告示候事

○告三十三番... 一月廿五日附

廣島縣甲奴郡稻草村地所建物業入書入公証割印簿錯雜紛亂更正ノ件

○告三十四番... 一月廿五日附

告八番公証割印簿更正方告示中正誤ノ件

○告三十五番... 一月廿五日附

加賀國金澤區田丸町六十九番地宅地券紛失ノ件

○告三十六番... 一月廿五日附

和歌山縣紀伊國伊都郡河村地所建物業入書入賣買讓渡與印番號帳等錯雜盜難ニ付更正ノ件

○告三十七番... 一月廿五日附

三重縣下奄藝郡三行村岐阜縣下美濃國不破郡今須村地所建物業入書入公証割印簿盜難及紛失ニ付更正ノ件

○告三十八番... 一月廿五日附

石川縣金澤區東馬場町等宅地田畑山林地券紛失ノ件

○告三十九番... 一月廿八日附

六二雜

損壞紙幣交換箇所之義自今左ノ通改正候條此旨告示候事

損壞紙幣交換取扱箇所

金澤國庫金取扱所	日本銀行代理店	金澤區博勞町
全上小松出張場	能美郡地子町	北陸銀行
七尾國庫金取扱所	鹿島郡府中町	支店
全上輪島出張場	全上	鳳至郡輪島河井町
全上羽咋假出張場	全上	全派 出店
全上松任仮出張場	全上	羽咋郡羽咋村
全上津幡假出張場	全上	石川郡松任町
		全派 出店
		河北郡津幡驛
		全派 出店

○告四十一番

一月廿九日附

縣下能登國羽咋郡宿村外十九ヶ村地所書入質入公證割印簿錯雜ニ付更正ノ件

(公報第拾四號)

○告四十二番

一月廿九日附

靜岡縣遠江國城東郡池新田村ニ漂着死体人相書ノ件

(公報第拾四號)

○告四十三番

一月廿九日附

新潟縣越後國北蒲原郡吉田村等七ヶ村同郡綱木村同郡關妻新村等五ヶ村同郡新發田町之内上町等五ヶ村同郡定役町等三ヶ村同郡下高田村等四ヶ村同郡清村等二ヶ村同郡中頸城郡直江津川端等四ヶ村同郡片原町等四ヶ村同郡西蒲原郡石瀨村同郡佐善村等三ヶ村同郡高山村等十ヶ村北蒲原郡三日市町等四ヶ村同郡丑首村等四ヶ村同郡西原郡西山村古志郡上鹽村同郡吉水村等八ヶ村同郡牛ヶ嶺村等五ヶ村同郡葎谷村等二ヶ村同郡二日町村等二ヶ村同郡小貫村等二ヶ村同郡樺澤村等二ヶ村同郡文納村等四ヶ村北蒲原郡金屋村等六ヶ村同郡荻荷谷村等七ヶ村同郡新發田町ノ内泉町等六ヶ村同郡菅谷村同郡押廻村等三ヶ村同郡上館村等六ヶ村同郡小友村等四ヶ村同郡浦新田等二ヶ村同郡繩之入村等二ヶ村同郡赤谷村同郡瀧谷村同郡上石川村等四ヶ村同郡下高關村等五ヶ村同郡下中澤新田等五ヶ村同郡板山村同郡北飯島村等二ヶ村同郡乙次村等八ヶ村地所建物船舶賣讓渡質入書入公證割印簿更正ノ件

○告四十六番

一月卅一日附

山形縣最上郡新町村外三ヶ村地所建物質入書入公證割印簿錯雜不明瞭ニ付更正ノ件

(公報第拾五號)

○告四十七番

一月卅一日附

廣島縣備後國甲奴郡木屋村外一ヶ村福岡縣筑後國宗像郡奴山村外一ヶ村鳥取縣伯耆國河村郡松崎宿中興寺村外十六ヶ村愛媛縣伊豫國下浮穴郡井門村外一ヶ村同縣讚岐國三木郡朝倉村新瀨縣佐渡國雜太郡小川村外一ヶ村同縣越後國北蒲原郡新發田町ノ内材木町紺屋町職人町地所建物及ヒ船舶質入書入賣讓渡公證割印簿錯雜不明瞭ニ付更正ノ件

(公報第拾五號)

○告四十八番

一月卅一日附

廣島縣備後國甲奴郡木屋村外一ヶ村福岡縣筑後國宗像郡奴山村外一ヶ村鳥取縣伯耆國河村郡松崎宿中興寺村外十六ヶ村愛媛縣伊豫國下浮穴郡井門村外一ヶ村同縣讚岐國三木郡朝倉村新瀨縣佐渡國雜太郡小川村外一ヶ村同縣越後國北蒲原郡新發田町ノ内材木町紺屋町職人町地所建物及ヒ船舶質入書入賣讓渡公證割印簿錯雜不明瞭ニ付更正ノ件

七二雜

大坂府住吉郡平野野堂村公證割印簿改製ノ件

(公報第拾五號)

○告四十九番 一月卅一日附

富山縣ヨリ上新川郡東岩瀬村鍋木與兵衛持舟并乘組人行衛知レサルニ付照會ノ件

(公報第拾五號)

○告五十二番 二月一日附

京都府平民服部清助編輯農家便覽等發賣差止ノ件

(公報第拾六號)

○告五十三番 二月四日附

非役正七位以下同勤七等以下及等外吏タルノ類ニテ正七位以下同勤七等以下并退職罷役正七位以下同勤七等以下ノ者來ル十一日午前第八時紀元節參賀トシテ禮服着用出廳可致此旨右之輩へ告示候事

但本廳遠隔ノ地ニ在住或ハ寄留ノ向ハ十一日付ヲ以賀表差出スヘシ

○告五十四番 二月四日附

青森縣陸奥國北津輕郡鶴田村地所建物書入質入公證割印簿錯雜ニ付更正ノ件

(公報第拾七號)

○告五十五番 二月四日附

和歌山縣西牟婁郡湊村地所及建物書入質入公證割印簿錯雜ニ付更正ノ件

(公報第拾七號)

○告五十六番 二月四日附

縣下江沼郡鹽屋村ニノ二番地乙地綱屋末吉海中へ沈没所在不分明ニ付入相書ノ件

(公報第拾七號)

○告五十八番 二月四日附

大坂府大島郡船堂村福岡縣御笠郡原田村外一ヶ村富山縣礪波郡高田島村外二ヶ村地所建物質入書入公證割印簿紛失ニ付更正ノ件

(公報第拾七號)

○告五十九番 二月六日附

福島縣田村郡芹澤村根木屋村地所建物質入書入賣買讓渡公證割印簿更正ノ件

(公報第拾八號)

○告六十番 二月六日附

島根縣隱岐國周吉郡西郷西町山崎惣八出漁ノ儘行衛不知愛媛縣讚岐國香川郡高松内町字魚屋川尻ニ於テ漂流ノ釣船並ニ附屬品拾揚ケノ件

(公報第拾八號)

○告六十二番 二月六日附

三重縣下朝明郡竹成村愛媛縣下伊豫國喜多郡植松村等三ヶ村地所建物質入書入公證割印簿更正ノ件

(公報第拾八號)

○告六十四番 二月十三日附

損傷紙幣交換箇所之義ニ付本年一月告三十九番告示ハ本年二月限り廢止シ三月一日ヨリ各地國庫金取扱所及大藏省爲替方へ直ニ交換方可申出此旨告示候事

(公報第貳拾號)

○告六十八番 二月十三日附

兵庫縣外一府二縣ヨリ行衛知レサル者并溺死ノ儘所在不分明ノ者等人相書照會ノ件

(公報第貳拾號)

○告六十九番 二月十五日附

加賀國金澤區新川除町宅地券狀書換入件

(公報第貳拾壹號)

○三雜

○告七十番

二月十五日附

岡山縣備中國哲多郡釜村等三ヶ村福井縣越前國吉田郡黒丸村地所建物賣買讓渡質入書入公證割印簿更正紛失ノ件 (公報第貳拾壹號)

○告七十一番

二月十五日附

石川縣河北郡倉見村字ア五番山林地券外ニ官印鳥獸獵職免狀巡查手帖田畑地券紛失等ノ件 (公報第貳拾壹號)

○告七十三番

二月十六日附

福岡縣下御笠郡永岡村等三ヶ村朽木縣下河内郡今泉村外六ヶ村同郡東刑部村外三ヶ村同郡大澤宿外五ヶ村同郡篠井村外二ヶ村同郡小林村外四ヶ村同郡德次郎宿外五ヶ村同郡小倉村外二ヶ村同郡上田原村外五ヶ村同郡若曾村外四ヶ村同郡石田村外三ヶ村同郡新里村外二ヶ村同郡福岡村外二ヶ村同郡免ノ内村外三ヶ村同縣河内郡新里村外二ヶ村同郡今泉村外六ヶ村同郡德次郎宿外四ヶ村同郡上田原村外五ヶ村地所建物質入書入公證割印簿錯誤ニ付更正ノ件 (公報第貳拾貳號)

○告七十四番

二月十六日附

青森縣西津輕郡兼館村外五ヶ村新瀉縣中頸城郡有間川村同郡古志郡明品村同郡平中野侯村外四ヶ村同國若船郡羽ヶ榎村外七ヶ村大坂府大和國葛下郡笛堂村同國式下郡八尾村岐阜縣不破郡赤坂村同郡赤曾根村愛知縣愛知郡日比津村地所建物船質入書入公證割印簿紛失又ハ錯雜ニ付更正ノ件 (公報第貳拾貳號)

二月十八日附

任石川縣二等屬
任石川縣金澤區長
右之通本日任候條此旨告示候事

石川縣金澤區長
富山縣上新川郡長

梅原可也
稻垣義方

○告七十七番

二月十八日附

宮城縣管下盤城國伊具郡小齋村地所建物質入書入賣買公證割印簿紛失ノ件 (公報第貳拾三號)

○告七十八番

二月十九日附

埼玉縣北埼玉郡藤井村上組地所建物賣買讓渡質入書入公證割印簿燒失ノ件 (公報第貳拾四號)

○告七十九番

二月十九日附

栃木縣下野國河内郡今泉村外六ヶ村同郡戸祭村外四ヶ村同郡上田原村外五ヶ村同郡免ノ内村外三ヶ村同郡野村外三ヶ村同上横田村外四ヶ村同郡猪倉村外二ヶ村同郡德次郎宿外四ヶ村同郡大澤宿外四ヶ村同郡宇都宮一條町外三十四ヶ町一ヶ村同郡宇都宮傳馬町外三十四ヶ町村地所建物賣買讓渡質入書公證割印簿燒失紛失更正ノ件 (公報第貳拾四號)

○告八十番

二月十九日附

石川縣石川郡押野村字ト百九拾三乙畑地券外印符手帖宅地地券狀紛失燒失ノ件 (公報第貳拾四號)

○告八十二番

二月十九日附

加賀國金澤區山ノ上町四丁目三拾四番地等宅地券紛失書換ノ件 (公報第貳拾四號)

○告八十四番

二月廿日附

一三雜

愛媛縣伊豫國西宇和郡川之石浦富士本太藏同國越智郡宮浦村池原万次外四名ノ人相書及
ヒ傳馬船等拾揚ケノ件 (公報第貳拾五號)

○告八十五番 二月廿日附
熊本縣肥後國葦北郡濱村外六ヶ村同郡陳内村外八ヶ村長野縣東筑摩郡神林村廣島縣安藝
國安藝郡船越村地所建物船船質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第貳拾五號)

○告八十六番 二月廿二日附
縣下金澤區上野町松下町小立野新町上鶴岡町戸長役場備置地所建物賣買讓渡質入書入公
証割印簿明治八年ヨリ同十三年迄ノ分錯雜ニ付更正ノ件 (公報第貳拾六號)

○告八十七番 二月廿二日附
愛知縣下中島郡平村京都府下船井郡南大谷村外五ヶ村大坂府下東成郡天王寺村地所建物
書入質入及賣買讓渡公證割印簿錯雜紛失ニ付更正ノ件 (公報第貳拾八號)

○告八十九番 二月廿五日附
山梨縣下東山梨郡鶴瀬初鹿町村地所建物質入書入賣買公證割印簿錯雜ニ付更正ノ件
(公報第貳拾七號)

○告九十三番 二月廿七日附
德島縣名西郡高原村同郡高川原同縣那賀郡内原地所建物船船質入書入公證割印簿燒失紛
失ニ付更正ノ件 (公報第貳拾八號)

○告九十四番 二月廿七日附
加賀國金澤區鐵冶片原町十二番地同區弓ノ町二十一番地宅地券所在不分明ノ件
(公報第貳拾八號)

○告九十五番 二月廿七日附
佐賀縣下肥前國東松浦郡相知村外十五ヶ村地所建物船船質入書入公證割印簿錯雜ニ付更
正ノ件 (公報第貳拾八號)

○告九十六番 二月廿七日附
新潟縣越後國南蒲原郡三條町同縣西蒲原郡明田村外一ヶ村地所建物質入書入公證割印簿
錯雜ニ付更正ノ件 (公報第貳拾八號)

○告九十八番 二月廿七日附
明治十三年七月甲百六十四番ヲ以布達置候郡區長特委任條件左之通追加候條此旨告示候事
第六十四 規則ニヨリ官沒シタル地ヲ官有地第三種ニ編入スル事

○告九十九番 二月廿九日附
岐阜縣美濃國池田郡八幡村同縣可兒郡東帷子村土地賣買讓渡地所船船質入書入公證割印
帳紛失錯雜ニ付更正ノ件 (公報第貳拾九號)

○告百番 二月廿九日附
加賀國金澤區觀音町二丁目四十番地同町三丁目九番地宅地券所在不分明ノ件
(公報第貳拾九號)

○告百一番 二月廿九日附
加賀國金澤區材木町七丁目四十七番地同區犀川下川除町二十番地宅地券所在不分明ノ件
(公報第貳拾九號)

○告百二番 二月廿九日附
石川郡松任町字坤三百十五番甲宅地券外八枚紛失并ニ驛遞局印鑑巡查手帖紛失ニ付新寫
(公報第貳拾九號)

縣ヨリ照會ノ件
 ○告白三番 三月三日附 (公報第貳拾九號)
 愛媛縣伊豫國東宇和郡野村地所建物賣買質入書入公證割印簿燒失ノ件(公報第三拾壹號)
 ○告白四番 三月三日附
 青森縣下上北郡三澤村地内六川目持主中村和太郎ノ漁船及ヒ乗組人佐藤芳之助外二人漂流行衛不分明石川縣石川郡金石冬瓜町若見助太郎外六名出帆后于今行衛不分明等ノ件 (公報第三拾壹號)
 ○告白七番 三月五日附
 當縣土族安田儀一、田中喜之所有ニテ會テ所在不分明ノ旨告示有之金祿公債證書發見ノ件 (公報第三拾貳號)
 ○告白八番 三月五日附
 廣島縣備後國御調郡和草村新瀧縣越後國北浦原郡内島見村同郡田貝村外三ヶ村同國西浦原郡佐善村外二ヶ村地所建物書入質入公證割印簿錯雜不明了ニ付更正ノ件 (公報第三拾貳號)
 ○告白十番 三月五日附
 青森縣陸奥國西津輕郡第拾組柴田村外四ヶ村愛知縣尾張國海東郡下田村地所建物船舶質入書入公證割印簿錯雜ニ付更正ノ件 (公報第三拾貳號)
 ○告白十一番 三月八日附
 本縣土族高村西正所有ノ金祿公債證書發見ノ件 (公報第三拾三號)
 ○告白十三番 三月十日附

鹿兒島縣薩摩國日置郡石谷村熊本縣上益城郡福原村平田村并ニ下益城郡小越村等十一ヶ村地所建物質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第三拾四號)
 ○告白十四番 三月十日附
 愛媛縣下伊豫國越智郡野々江村地所質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第三拾四號)
 ○告白十五番 三月十日附
 兵庫縣淡路國三原郡瑞井組地所建物船舶質入書入公證割印簿更正ノ件(公報第三拾四號)
 ○告白十六番 三月十日附
 島根縣石見國邇摩郡新屋村地所建物質入書入証書割印根帖燒失ノ件 (公報第三拾四號)
 ○告白十七番 三月十日附
 福井縣若狹國遠敷郡田島浦矢代新造外一名難船行衛不分明ノ件 (公報第三拾四號)
 ○告白十八番 三月十一日附
 明治十三年七月甲百六拾四番ヲ以布達置候郡區長委任條件左ノ通逕加候條此旨告示候事第六十五 公儲金及區町村會若シハ水利土功ノ集會ニ於テ評決シタル土木費ノ急納者ヲ處分スル事
 ○告白十九番 三月十三日附
 富山縣下上新川郡下荒又村外二ヶ村同郡江本村外九ヶ村地所建物賣買書入割印簿錯雜紛失ニ付更正ノ件 (公報第三拾七號)
 ○告白二十三番 三月十三日附
 新潟縣越後國西浦原郡小池村同國北浦原郡小戸村山口縣赤間關區地所建物船舶質入書入公證割印簿紛失錯雜ニ付更正ノ件 (公報第三拾七號)

○告白廿四番

三月十三日附

福島縣若代國信夫郡南矢野目外一ヶ村滋賀縣東淺井郡尊勝寺村地所建物書入質入公証割印簿紛亂錯雜ニ付更正ノ件 (公報第三拾七號)

○告白廿五番

三月十三日附

縣下河北郡沖村地内リノ三十七番外拾六ヶ所田宅地々券及ニ渡海船賣買證書、地所書入證書紛失并ニ富山外一縣ヨリ田宅地々券及巡查手帖紛失ニ付照會ノ件 (公報第三拾七號)

○告白廿六番

三月十七日附

新潟縣越後國岩船郡殿岡村板垣米藏三重縣紀伊國南牟婁郡賀田村榎本良太郎島根縣隱岐國周吉郡西郷西町中尾信造白濱政次郎谷口米三郎漂流溺死行衛不知ノ件 (公報第三拾八號)

○告白廿八番

三月十八日附

神奈川縣下西多摩郡今井村地所建物質入書入公証割印簿燒失ニ付更正ノ件 (公報第三拾九號)

○告白廿九番

三月十八日附

愛媛縣和氣郡與居島村廣島縣備後國世羅郡(東西)神崎村地所建物質入書入公証割印簿錯雜盜難ニ罹リシニ付更正ノ件 (公報第三拾九號)

○告白三十番

三月十八日附

燈明臺ノ義ハ航海者ニ於テ最大緊要ノモノニ候處我國在來ノ私築燈臺ハ器械ノ裝置燈籠ノ組立點火ノ方法等不完全ニテ其甚シキニ至テハ海霧ナル碇子張燈籠内ニ人家常用ノテ一箇若クハ數箇ヲ裝置スルモノ有之因テ烈風暴雨等ノ夜燈光必要ノ時ニ方リテ其光線達セス或ハ消滅シテ方向ヲ認ムルニ由ナリ又ハ點燈中看守セサルカ爲メ燈明ニ非常ノ障害起ルニ際シテモ急速之カ防禦ヲナス能ハサル等ノ不都合不少ニ付今後私築燈臺新設

及改築等處分方之義工部省ヨリ達有之候條爾來新設ノ向ハ左ノ手續ノ通可相心得尤在來私設之向モ漸次西洋式ニ可致改築此旨告示候事

一 今後私築燈臺ヲ願出ルモノハ西洋式ノ外一切許可不致候事

一 既設ノ燈臺ハ今後地方廳ハ適宜ヲ以漸次西洋式ニ改築セシムヘキ事

一 新設并改築セシムト欲スルモノハ其工事着手前燈臺局へ届出其構造及建築ノ仕様等一切該局ノ指揮ヲ受クヘキ事

一 新設并改築トモ其工事落成點火ノ節ハ當省ニ於テ内外國一般へ公告可致ニ付前以届出

但本文落成後點火及保護等法則ハ燈臺局示教書中之ニ關スル條項ヲ遵奉シ併テ該局ノ監督ヲ受クヘキ事

○告白三十二番

三月十九日附

愛知縣士族祖父江道雄出版地租減輕控之註釋發賣差止ノ件 (公報第四拾號)

○告白三十三番

三月十九日附

鹿兒島縣下熊毛郡野間村外六ヶ村大坂府下大和國平郡郡西畑村地所建物船賣買讓渡質入書入公証割印簿紛失更正ノ件 (公報第四拾號)

○告白三十七番

三月廿一日附

岐阜縣美濃國郡上郡市島村同縣安八郡横井村同縣池田郡中山村青森縣陸奥國西洋輕郡第拾五組岐阜縣美濃國池田郡六合村同國加茂郡越原村地所建物質入書入公証割印簿錯雜紛亂ニ付更正ノ件 (公報第四拾壹號)

○告白三十八番

三月廿一日附

縣下石川郡宮保村地内字ノ八十番外四ヶ所田宅地々券并ニ官印等紛失及富山縣ヨリ地券紛失ニ付照會ノ件 (公報第四拾壹號)

○告白三十九番 三月廿一日附

三重縣伊勢國一志郡小森上野村熊本縣肥後國飽田郡中無田村外二ヶ村地所建物質入書入公證割印簿籍雜不分明ニ付更正ノ件 (公報第四拾壹號)

○告白四十番 三月廿四日附

福岡縣下生葉郡古川村外三ヶ村地所建物質入書入公證割印簿籍雜ニ付更正ノ件 (公報第四拾三號)

○告白四十一番 三月廿四日附

兵庫外一縣ヨリ日本形船并乘組人所在不分明ニ付照會ノ件 (公報第四拾三號)

○告白四十二番 三月廿六日附

新潟縣越後國西蒲原郡小新村同國古志郡東中野侯村愛媛縣伊豫國喜多郡横山村外二ヶ村愛知縣尾張國東春日井郡關田村地所建物船質入書入公證割印簿籍雜ニ付更正ノ件 (公報第四拾四號)

○告白四十三番 三月廿六日附

京都府平民南村元秀出版ノ明治十七年中要日記及同府平民福井宗七出版ノ農日課一覽今般出版發賣被差止候條此旨告示候事

○告白四十五番 三月廿八日附

三重縣伊勢國飯高郡大黒田村同鎌田村外二ヶ村青森縣西津輕郡金ヶ澤村外六ヶ村地方建物質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第四拾五號)

○告白四十六番 三月廿八日附

富山縣射水郡新港放生津山王町三歩一長石工門外壹人愛媛縣伊豫國越智郡今治村大川伊勢治外一人並ニ漁船傳馬船等溺死轉落行儀不分明漂着等ノ件 (公報第四拾五號)

○告白四十七番 三月卅一日附

宮崎縣臼杵郡長井村地所建物質入書入公證割印簿籍雜ニ付更正ノ件 (公報第四拾六號)

○告白四十八番 三月卅一日附

本年告白十三番告示中脱字挿入及日限延期ノ件 (公報第四拾六號)

○告白四十九番 三月卅一日附

福井縣ヨリ海中ニ沈没行衛不知者人相遺照會ノ件 (公報第四拾六號)

○告白五十二番 三月卅一日附

福井縣丹生郡石生谷五拾五番地外數ヶ所ノ地券紛失ノ件 (公報第四拾六號)

○告白五十五番 四月五日附

高松備前六日出發能登國巡回候ニ付不在中少書記官徳久恒範代理候條此旨告示候事

○告白五十八番 四月五日附

愛媛縣越智郡魚島村地所建物船質入書入公證割印簿籍雜ニ付更正ノ件 (公報第四拾八號)

○告白五十九番 四月八日附

岡山縣備前國赤阪郡是里村外四ヶ村同縣美作國勝北郡豐久田村外四ヶ村同縣備前國赤阪郡福田村同縣備前國阿賀郡新見村外四ヶ村同縣美作國英田郡川崎村外五ヶ村和歌山縣紀伊國伊都郡丹生川村外一ヶ村福岡縣志摩郡御床村外三ヶ村地所建物船質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第四十九號)

○告白六十番 四月八日附

加賀國金澤區木町二番丁津田與吉等宅地券狀所在不分明ニ付書換ノ件(公報第四十九號)

○四雜

○告白六十一番 四月八日附

石川縣金澤區櫻田四番丁越久兵衛等宅地田畠山林地券狀並ニ印鑑手帖鳥獸獵免狀紛失
遺失ノ件 (公報第四拾九號)

○告白六十四番 四月十二日附

秋田縣羽後國由利郡金浦村字港島へ自費燈臺建築ニ付通燈費取立方許可ノ件
(公報第五拾貳號)

○告白六十五番 四月十二日附

愛媛縣下伊豫國北宇和郡北灘村地所建物質入書入公證割印簿更正ノ件(公報第五拾貳號)

○告白六十六番 四月十二日附

石見國安濃郡島井村船主橋田信三郎解漁船及乘組人等乘船覆沒行衛不知ノ件(公報第五拾貳號)

○告白六十八番 四月十二日附

縣下江沼郡鹽濱村土族宮田岩吉所有ノ金祿公債證書盜難ニ罹リシ件 (公報第五拾貳號)

○告白六十九番 四月十四日附

熊本縣下下益城郡遠野村外三ヶ村山口縣熊毛郡麻郷與村同郡小周防村外一ヶ村宮城縣磐
城國伊具郡尾山村枋木縣河内郡上欠下村組山口縣美禰郡綾木村同縣阿武郡萩橋本町外三
ヶ町二ヶ村青森縣陸奥國東津輕郡今津村外三ヶ町地所建物質入書入公證割印簿雜難紛亂
ニ付更正ノ件 (公報第五拾三號)

○告白七十番 四月十四日附

小祿カマ外壹名行衛不分明ノ義ニ付沖繩縣ヨリ照會ノ件 (公報第五拾三號)

○告白七十一番 四月十四日附

縣下鹿島郡別所村字廿部三番外十二ヶ所田地々券紛失并ニ高知縣外一縣ヨリ官印并ニ
巡查手帖等紛失ニ付照會ノ件 (公報第五十三號)

○告白七十二番 四月十四日附

縣下金澤區蘆中町三十二番地宅地券紛失ノ件 (公報第五十三號)

○告白七十三番 四月十六日附

山口縣豐浦郡上保木村外六ヶ村岡山縣美作國勝北郡瀧木村外三ヶ村地所建物質入書入賣
買讓渡公證割印簿更正ノ件 (公報第五拾五號)

○告白七十四番 四月十六日附

福井縣越前國坂井郡爲國村同縣今立郡岡野村同丹生郡内郡村同敦賀郡三島村野神村地所
建物質入書入賣買讓渡公證割印簿紛失ノ件 (公報第五拾五號)

○告白七十五番 四月十六日附

鹿兒島縣管下大隅國贈贈郡市成村外二ヶ村地所建物質買及質入書入公證割印簿更正ノ件
(公報第五拾五號)

○告白七十七番 四月十六日附

福井縣若狹國三方郡日向浦森下與三吉外九名乘船覆沒行衛不分明ノ件(公報第五拾五號)

○告白八十一番 四月十七日附

高知縣下吾川郡大崎村地所書入公證割印簿雜難ニ付更正及ヒ本年二月告八拾七番告示中
日延ノ件 (公報第五拾六號)

○告白八十二番 四月十七日附

雜

一四雜

三四雜

秋田縣下羽後國平鹿郡陸合村組合同郡谷地新田村地所建物質入書入公證割印簿紛失ニ付更正ノ件 (公報第五拾六號)

○告白八十三番 山口辰太郎等難船溺死所在不明ニ付鳥取縣照會ノ件 (公報第五拾六號)

○告白八十四番 縣下石川郡湯涌村守二ノ拾壹番地外五ヶ所田宅地々券並ニ郵便局集信人印鑑紛失及長野外二縣ヨリ戸長官印等紛失ニ付照會ノ件 (公報第五拾六號)

○告白八十五番 本縣能登國羽咋郡北吉田村外六ヶ村地所建物質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第五拾八號)

○告白八十六番 山口縣下長門國美祿郡嘉万下鄉村向縣下玖珂郡保津村外四ヶ村地所建船舶賣買讓渡質川村地所建船舶賣買讓渡質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第五拾八號)

○告白八十七番 栃木縣下河内郡雀宮宿外五ヶ村同郡寶木村駒生村秋田縣羽後國仙北郡大曲西根村維合野川村地所建船舶賣買讓渡質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第五拾八號)

○告白八十九番 福岡縣筑前國埴多港ノ人民自費ヲ以建築燈臺費消却方之義客年月十二告三百三十二番ヲ以及告亦置候處有取立金方法中本月十二日ヨリ左記ノ通改正ノ義許可候旨該縣ヨリ照會有之候條此旨告示候事

○告白九十一番 島根縣石見國美濃郡内田村外一ヶ村福島縣北會津郡高瀬村組地所建船舶質入書入公證割印簿紛亂ニ付更正ノ件 (公報第六拾號)

○告白九十五番 紙谷長次郎外壹名行衛不知ニ付福井縣照會ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十六番 西澤製紙株式會社下總國印旛郡岩高町三百九十一番地々券等紛失ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十七番 愛媛縣伊豫國桑村郡古田村等戸長役場備置ノ地所質入書入建物書入質公證割印簿紛亂更正ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十九番 加賀國金澤區七寶町外四ヶ町地所建物質賣買讓渡並ニ質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第六拾三號)

○告白二百番 沖繩縣本部間切邊名地村島袋儀助並ニ乘船壹艘行衛不知等ノ件 (公報第六拾三號)

○告白二百三番 福井縣越前國南條郡山中村同國今立郡入谷村地所建物質賣買質入書入公證割印簿紛失ノ件 (公報第六拾三號)

○告白九十五番 紙谷長次郎外壹名行衛不知ニ付福井縣照會ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十六番 西澤製紙株式會社下總國印旛郡岩高町三百九十一番地々券等紛失ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十七番 愛媛縣伊豫國桑村郡古田村等戸長役場備置ノ地所質入書入建物書入質公證割印簿紛亂更正ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十九番 加賀國金澤區七寶町外四ヶ町地所建物質賣買讓渡並ニ質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第六拾三號)

○告白二百番 沖繩縣本部間切邊名地村島袋儀助並ニ乘船壹艘行衛不知等ノ件 (公報第六拾三號)

○告白二百三番 福井縣越前國南條郡山中村同國今立郡入谷村地所建物質賣買質入書入公證割印簿紛失ノ件 (公報第六拾三號)

○告白九十五番 紙谷長次郎外壹名行衛不知ニ付福井縣照會ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十六番 西澤製紙株式會社下總國印旛郡岩高町三百九十一番地々券等紛失ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十七番 愛媛縣伊豫國桑村郡古田村等戸長役場備置ノ地所質入書入建物書入質公證割印簿紛亂更正ノ件 (公報第六拾貳號)

○告白九十九番 加賀國金澤區七寶町外四ヶ町地所建物質賣買讓渡並ニ質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第六拾三號)

○告白二百番 沖繩縣本部間切邊名地村島袋儀助並ニ乘船壹艘行衛不知等ノ件 (公報第六拾三號)

○告白二百三番 福井縣越前國南條郡山中村同國今立郡入谷村地所建物質賣買質入書入公證割印簿紛失ノ件 (公報第六拾三號)

三四雜

雜

五百五十五

○告貳百五番

五月一日附

舊別働第二旅團步兵隊陸軍兵卒岐阜縣平民
 舊別働第一旅團步兵隊陸軍兵卒茨城縣平民
 熊本鎮台步兵隊陸軍兵卒福岡縣平民
 舊軍團附陸軍兵卒栃木縣平民
 舊第四旅團步兵隊元陸軍兵卒岩手縣士族
 舊別働第一旅團步兵隊陸軍兵卒愛知縣平民
 舊別働第一旅團步兵隊陸軍兵卒山口縣平民
 熊本鎮台步兵隊陸軍兵卒熊本縣平民
 舊第四旅團步兵隊元陸軍兵卒神奈川縣平民
 舊別働第一旅團附元陸軍兵卒大坂府平民
 舊軍團附元陸軍會計看病卒和歌山縣平民
 舊第一旅團步兵隊陸軍兵卒岐阜縣平民
 舊第二旅團步兵隊陸軍兵卒埼玉縣平民
 舊第三旅團步兵隊陸軍兵卒岐阜縣平民
 舊別働第二旅團步兵隊陸軍兵卒東京府平民
 舊別働第二旅團步兵隊陸軍兵卒栃木縣平民
 舊第一旅團步兵隊陸軍兵卒新潟縣士族
 舊第三旅團步兵隊陸軍兵卒和歌山縣平民
 舊別働第三旅團步兵隊陸軍兵卒埼玉縣平民
 舊別働第三旅團步兵隊陸軍兵卒東京府平民

中島 筆次郎
 鴨志田 辰四郎
 永野 善平
 岡田 武七
 岩本 武昌
 早川 清吉
 弘中 村之進
 村上 常八
 黑沼 箕藏
 中島 仙二郎
 神前 謙助
 早川 七五郎
 渡邊 久次郎
 大野 鎌吉
 小林 察道
 尾島 半藏
 江川 貞亮
 大浦 寅吉
 田中 福太郎
 郡司 佐七

(公報第六拾五號)

右列記ノ者明治十年西南之役ニ從ヒ功勞アルヲ以テ賞金ヲ賜フヘキノ處踪跡不分明ニテ
 授與難相成ニ付本人ハ勿論若シ親戚朋友等ニ於テ其所在承知ノ者ハ直ニ賞勳局又ハ本管
 廳或ハ寄留地方廳ノ内ニ便宜届出ヘシ此旨告示候事

○告二百六番

五月二日附

京都府下綴喜郡立川村地所建物質入書入公證割印簿紛失ノ件

(公報第六拾六號)

○告二百七番

五月二日附

福井縣若狹國大飯郡和田村松井三次郎等石炭油拾揚ノ件

(公報第六拾六號)

○告二百九番

五月五日附

高俊儀能登國巡回候處一昨三日歸應候ニ付徳久少書記官代理之儀ハ差解候條此旨告示候事

○告二百十一番

五月五日附

神川縣相模國津久郡牧野村戸長役場備置ノ地所建物書入質入賣買讓渡公證割印簿不明瞭ニ付更正ノ件

(公報第六拾七號)

○告二百十二番

五月六日附

明治十三年七月甲百六拾四番ヲ以布達置候郡區長ニ委任條件中ニ左ノ通追加候條此旨告示候事

○告二百十三番

五月六日附

第六拾六 士族五十歳未満ノ者遷居ノ事
 明治十三年七月甲百六拾四番ヲ以布達置候郡區長ニ委任條件中ニ左ノ一項追加候條此旨告示

五百五十七

候事

第六十七 茶業組合證票檢印ノ事

○告二百十四番 五月六日附
岡山縣下備中國哲多郡井村外三ヶ村地所建物船舶買讓與質入書入公證割印簿更正ノ件
(公報第六拾八號)

○告二百十五番 五月六日附
千葉縣山邊郡作田村宮城縣登米郡森村地所建物賣買質入書入公証割印簿紛失更正ノ件
(公報第六拾八號)

○告二百十六番 五月六日附
埼玉縣北葛飾郡番匠免村山形縣最上郡清水町村等青森縣三戸郡第拾七組田子村外五ヶ村
新潟縣古志郡入鹽川村外一ヶ村同國南蒲原郡下條村同郡上谷地村外六ヶ村同國北蒲原郡
大友村同國中頸城郡小泉村外二ヶ村同國山縣吉野郡馬形村外三ヶ村宮崎縣日杵郡上野村外
一ヶ村熊本縣球磨郡若野村外一ヶ村德島縣那賀郡椿村同縣名西郡神領村滋賀縣蒲生郡與
ノ島村岐阜縣池田郡川合村外二ヶ村同國上石津郡下山村同郡上堂ノ上村同國可兒郡西帷
子村同郡錦織村同國羽栗郡川森村同郡市場村同郡南之川村同郡坂井村同郡西小熊村同郡
門間村同國安八郡瀧池新田同國加茂郡深田村同郡和泉村同國多藝郡江月村同國大野郡淺
木村地所建物船舶賣買讓渡質入書入公証割印簿紛失更正ノ件
(公報第六拾八號)

○告二百十七番 五月十日附
福岡縣管下豐前國田川郡市津村外二ヶ村同縣下筑前國志摩郡井田原村外一ヶ村同縣下豐
前國上毛郡梶屋村外五ヶ村岐阜縣下美濃國可兒郡管苅村同國惠那郡加子母村島根縣下岩
見國惠那郡上村外一ヶ村地所建物船舶買入書入公証割印簿紛失更正ノ件

○告二百十八番 五月十日附
青森縣下陸奧國北津輕郡山道村外五ヶ村同郡脇元村外一ヶ村山口縣長門國阿武郡大島外
五ヶ島周防國吉敷郡上金古會町外十八ヶ助德島縣下名西郡上浦村外四ヶ村地所建物船舶
書入質入公証割印簿更正ノ件
(公報第七拾壹號)

○告二百廿番 五月十日附
原籍不詳死體漂着人等ノ儀ニ付愛媛縣ヨリ照會ノ件
(公報第七拾壹號)

○告二百廿一番 五月十日附
地券等紛失ノ儀ニ付青森外四縣ヨリ照會并ニ本縣下ニ於テ地券及ヒ圖符等紛失ノ件
(公報第七拾壹號)

○告二百廿二番 五月十日附
長野縣土族根村熊五郎出版ノ人身造化論出版發賣差止ノ件
(公報第七拾壹號)

○告二百廿三番 五月十三日附
新潟縣越後國古志郡南河原村同國北蒲原郡上三光村外二ヶ村滋賀縣下神崎郡上中村地所
建物質入書入公証割印簿紛失錯雜ニ付更正ノ件
(公報第七拾貳號)

○告二百廿四番 五月十三日附
山口縣下赤間關區地所船舶質入書入公証臺帳更正ニ付届出方延期ノ件(公報第七拾貳號)

○告二百廿五番 五月十三日附
長野縣下北佐久郡芦田村同縣筑摩郡舊木祖村同縣西筑摩郡奈川村地所建物質入書入公證
割簿錯雜ニ付更正ノ件
(公報第七拾貳號)

○告二百廿六番 五月十三日附
山口縣下赤間關區地所船舶質入書入公証臺帳更正ニ付届出方延期ノ件(公報第七拾貳號)

○告二百卅番 五月十六日附

京都府下丹波國天田郡田野村地所建物質入書入及賣買公證割印簿更正ノ件 (公報第七拾五號)

○告二百卅一番 五月十六日附

富山縣下射水郡守山町地所質入書入公證割印簿紛失更正ノ件 (公報第七拾五號)

○告二百卅二番 五月十六日附

宮崎縣下那珂郡宮之浦村外二ヶ村地所建物質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第七拾五號)

○告二百卅三番 五月十九日附

能登國鳳至郡二又川村外四ヶ村地所書入質入公證割印簿不明ニ付更正ノ件 (公報第七拾六號)

○告二百卅四番 五月十九日附

兵庫縣下淡路國三原郡阿那賀浦元戶長役場備置ノ地所建物船舶質入書入公證割印簿並ニ三重縣下飯高郡乙粟子村外三ヶ村地所建物質入書入公證割印簿錯誤更正ノ件 (公報第七拾六號)

○告二百卅五番 五月十九日附

山口縣下周防國玖珂郡野谷村熊本縣下阿蘇郡長門村外二ヶ村同縣下玉名郡久重村外一ヶ村地所建物船舶質入書入公證割印簿錯誤ニ付更正ノ件 (公報第七拾六號)

○告二百卅六番 五月廿一日附

管下江沼郡今出村外五十七ヶ町ニ已來大聖寺ノ惣稱ヲ冠シ則チ左之如ク公稱係條此旨告前候事(町名略ス) (公報第七拾七號)

○告二百卅八番 五月廿一日附

島根縣下出雲國能義郡佐久保村外三ヶ村地所建物質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第七拾七號)

○告二百卅九番 五月廿一日附

舊新撰旅團步兵隊附元四 棒金重 同上宮城 佐藤總三郎 同上菅原四郎兵衛 同上同鈴

等巡查心得新寫縣平民 縣士族 同上宮城 小野寺專藏 同上同高

木善之助 同上島根 高嶋芳太郎 同上福島 橫手辰五郎 同上福島 新岡喜惣治 同上

橋三郎治 舊第三旅團步兵隊附 村上勘五郎 舊新撰旅團步兵隊附元二 榎野政夫 同上元

查心得 伊藤鹿十郎 同上同 川上勝之進 同上長野 荒井本生 同上福島 新岡喜惣治 同上

同縣 新井田善次郎 同上同 山内勝三郎 同上同 新島近保 同上元三等巡查 石川正一 同上

元四等巡查心得 菅野利助 同上元三等少警部 原元長 同上同 八木八郎 同上

得福島縣平民 菅野利助 心得石川縣士族 原元長 同上同 八木八郎 同上

右列記ノ者明治十年西南之役ニ從ヒ功勞アリテ以テ賞金ヲ賜フヘキノ處踪跡不明ニテ授

與難相成ニ付本人ハ勿論若シ親戚朋友等ニ於テ其所在承知ノ者ハ直ニ賞勳局又ハ本管廳

或ハ寄留地方廳ノ内ニ便宜届出ヘシ此旨告示候事

但親戚朋友等ニ於テ本人死亡ノ事承知シタルトキモ本文同様届出ヘシ

○告二百四十番 五月廿一日附

加賀國石川郡美川町小間井留吉行衛不類ノ件 (公報第七拾七號)

○告二百四十一番 五月廿三日附

明治十三年七月甲百六十四番ヲ以テ布達置候郡區長委任條件中第六十一項左ノ通修正候條
此旨告示候事

第六十一 印紙類賣捌規程ニ依リ賣捌願ハ件
○告二百四十三番 五月廿三日附

愛知縣尾張國海東郡北苑村同郡下田村秋田縣北秋田郡山田村鳥取縣伯耆國日野郡丸山村
外四ヶ村愛媛縣伊豫國和氣郡福角村同縣桑村郡橋村地所建物船舶質入書入公證割印簿錯
雜紛亂等ニ付更正ノ件
(公報第七拾八號)

○告二百四十五番 五月廿三日附

谷崎ノヲ行南不知ニ付富山縣ニ照會ノ件
(公報第七拾八號)
○告二百四十六番 五月廿三日附

石川郡竹松村字ノ百廿九番等地券紛失并ニ長野富山兩縣ヨリ地券等紛失ニ付照會ノ件
(公報第七拾八號)

○告二百四十七番 五月廿七日附

本縣士族廣瀨治三郎出板略曆發賣差止ノ件
(公報第八拾號)
○告二百四十九番 五月廿七日附

山口縣下熊毛郡三輪村外一ヶ村同國阿武郡宇田村外二ヶ村德島縣阿波郡上喜來大俣村地
所建物質買讓渡質入書入公證割印簿燒失更正等ノ件
(公報第八拾號)
○告二百五十番 五月廿七日附

愛知縣尾張國東春日井郡大草村同縣知多郡金澤村同郡大谷村青森縣下陸奧國中津輕郡第
拾五組田代村外一ヶ村同白澤村等七ヶ村愛媛縣下讚岐國大內郡馬宿村外一ヶ村地所建物
船舶質買讓渡質入書入公證割印簿燒失更正等ノ件
(公報第八拾號)

○告二百五十一番 五月廿八日附

青森縣下陸奧國中津輕郡第拾九組藥師堂村等六ヶ村地所建物質入書入公證割印簿更正ノ
件
(公報第八拾壹號)
○告二百五十三番 五月廿八日附

廣島縣安藝國高田郡橫田村宮崎縣南郡珂郡橋原村同郡板敷村外二ヶ町村地所建物質買讓
渡質入書入公證割印簿紛失更正ノ件
(公報第八拾壹號)
○告二百五十六番 五月卅一日附

明治十三年七月甲百六十四番ヲ以テ布達置候郡區長委任條件中左ノ通修正追加候條此旨告示
候事

第六十五 評決シタルノ下ニ區町村費及ヒ「」六字ヲ挿入ス
第六十八 婦女子相續ノ事

○告二百五十七番 五月卅一日附
千葉縣下總國香取郡内山村外一ヶ村愛知縣下三河國室飯郡行明村地所建物質買讓渡質
入書入公證割印簿紛失更正ノ件
(公報第八拾四號)
○告二百五十八番 五月卅二日附

一明治十七年甲申一覽表 舊曆比較 二枚 岡山縣士族 井上利里
一明治十七年略曆 閏年三百一枚摺 舊曆比較 一枚 德島縣士族 吉本正當
一明治十七年略曆 六十六日一枚摺 反刻 舊曆比較 一枚 新瀉縣士族 江上直方

一明治十七年略曆 舊曆比較 一枚 愛知縣平民 二村猪三郎
 一明治十七年略曆 舊曆比較 一枚 長野縣平民 北澤米吉
 一明治十七年甲申年略曆 舊曆比較 一枚 東京府平民 齊藤榮作
 一明治十七年略曆 舊曆比較 一枚 東京府平民 村上奉一
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 京都府平民 鳥居兵吉
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 京都府平民 南村元秀
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 京都府平民 森川龜次郎
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 京都府平民 後藤重助
 一明治十七年大小扇 舊曆比較 一枚 京都府平民 山口市太郎
 一明治十七年略曆扇 舊曆比較 一枚 京都府平民 山田幾次郎
 一明治十七年甲申略曆 舊曆比較 一枚 大坂府平民 飯田喜兵衛
 一明治十七年略曆 舊曆比較 一枚 大坂府平民 加藤富三郎
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 大坂府平民 野口清兵衛
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 大坂府平民 木村清太郎
 一明治十七年甲申略曆 閏年三百六十六日 一枚 東京府平民 增田利助
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 愛知縣平民 橫井新七
 一明治十七年略曆 舊曆比較 一枚 愛知縣平民 八岩田三左門
 一明治十七年甲申略曆 舊曆比較 一枚 愛知縣平民 村田仲吉
 一明治十七年甲申略曆 舊曆比較 一枚 愛知縣平民 若山文次郎
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 和歌山縣平民 村直吉

雜

一明治十七年略曆 舊曆比較 一枚 德島縣平民 桑原才吉
 一明治十七年略曆 舊曆比較 一枚 長野縣平民 河西方利
 一明治十七年略曆 閏年三百六十六日 一枚 三重縣平民 加藤長平
 一明治十七年略曆 舊曆比較 一枚 富山縣平民 車平八
 一明治十七年略曆 一枚 京都府平民 井上由太郎
 一佛曆一册 一週年間ノ日數ヲ具載ス 大坂府平民 炭野福太郎
 一明治十七年略曆一枚 一週年間ノ日數ヲ具載ス 三重縣士族 松本芳三郎
 一明治十七年甲申略曆一枚 一週年間ノ日數ヲ具載ス 愛知縣士族 伊藤兼道
 一明治十七年甲申略曆一枚 一週年間ノ日數ヲ具載ス 三重縣平民 一海貞次郎
 一明治十七年甲申略曆一枚 一週年間ノ日數ヲ具載ス 愛知縣平民 失田金之助
 右ハ今般出板發賣被差止候條此旨告示候事

○告二百六十番 六月三日附
 本年三月甲三十番布達ハ告二百五十九番告示ト改正候條此旨更ニ告示候事

○告二百六十一番 六月三日附
 新瀧縣下西蒲原郡並木村榎岡村新田同郡關崎村古志郡一ノ貝村三島郡與板町岐阜縣下美濃國厚見郡今嶺村同郡宇佐村同國武儀郡棒村地所建物賣買讓渡質入書入公證割印簿更正ノ件 (公報第八拾五號)

○告二百六十二番 六月三日附
 山口縣周防國大島郡沖家室島西村鹿次郎行徳不知ノ件 (公報第八拾五號)

雜

○告二百六十三番 六月五日附

鳥取縣伯耆國會見郡第七聯合高松村外四ヶ村同國日野郡第五聯合江尾宿宮市村外拾四ヶ村福岡縣後園生葉郡山北村地所建物船舶賣買讓渡質入書入公証割印簿更正ノ件 (公報第八拾六號)

○告二百六十六番 六月七日附

山口縣下都濃郡湯野村地所建物船舶質入書入公証割印簿更正ノ件 (公報第八拾七號)

○告二百六十九番 六月十一日附

石川縣收稅屬梅原可也

任石川縣收稅長

右之通本月五日 宣下相成候條此旨告示候事

○告二百七十番 六月十二日附

舊軍團病院附元陸軍會計二等看病人

舊第一旅團步兵隊陸軍兵卒

舊別働第一旅團步兵隊陸軍兵卒

同第三旅團步兵隊附元四等巡查

同第三旅團步兵隊附元四等巡查心得

同

同

舊警視隊附元一等巡查心得

舊新撰旅團步兵隊附元四等巡查心得

千葉縣士族 市原義利
埼玉縣平民 成田久藏
鳥根縣平民 宗行 岩右工門
山口縣士族 藤井 生
千葉縣平民 井深 國松
宮城縣士族 木友權十郎
福島縣平民 日下部松石工門
同縣士族 佐藤 忠明
石川縣士族 武田 虎信
石川縣平民 坂本 與三郎

舊警視隊附元四等巡查心得

同

同

同

同

同

舊別働第三旅團步兵隊附元四等巡查心得

同

同

同

福島縣平民 稻葉市松
今川常五郎
折笠 爲藏
福島縣士族 山田 一
同縣平民 廣瀬子三郎
東京府士族 鈴木 原信
群馬縣平民 小池 祐太
宮城縣士族 今野林之助
宮城縣士族 高橋庄之助
宮城縣士族 齊藤 草平

右列記ノ者明治十年西南ノ役ニ功勞アルヲ以賞金ヲ賜フヘキ處踪跡不明ニテ授與難相成ニ付本人ハ勿論若シ親戚朋友等ニ於テ其所在承知ノ者ハ直ニ賞勳局又ハ本管廳或ハ寄留地方廳ノ内へ便宜可届出此旨告示候事

但親戚朋友等ニ於テ本人死亡ノ事承知シタルモ本文同様届出ヘシ

○告二百七十二番 六月十四日附

山梨縣平民大森孝出版略曆發賣差止ノ件

(公報第九拾三號)

○告二百七十三番 六月十四日附

廣島縣加茂郡西條東村岡山縣備前國赤坂郡太田村外三ヶ村地所建物船舶賣買讓渡質入書入公証割印簿更正ノ件 (公報第九拾三號)

○告二百七十四番 六月十四日附

青森縣陸奥國西津輕郡第二組赤石村外四ヶ村山口縣厚狹郡吉田村同玖珂郡須川村同豐浦

郡日上村等地所建物船舶質入書入公証割印簿更正ノ件
 ○告二百七十六番 六月十四日附
 和歌山縣西牟婁郡田邊江川町濱口五郎平拾得野船ノ件並ニ福井縣越前國坂井郡正蓮華村
 西川九平同々足羽郡主計中村添崎彌右工門同々丹生郡下野田村丹尾桂同々吉田郡舟橋新
 村深川松右工門同々南條郡藤本村成就寺同郡清水村本高寺同々坂井郡波寄村青森縣鯉ヶ
 澤警察署在勤巡查白銀時之助手帖山形縣監獄本署詰看守久永增平ノ下付ノ看守服務心得
 看獄則三重縣多氣郡山大淀村板倉文六拾揚ノ鑄臺挺同縣同郡出間村淺田用次郎拾揚ノ野
 漁船並ニ付屬品同縣南牟婁郡古泊浦間部愛助拾揚ノ押送船並ニ付屬品等越後國蒲原郡新
 瀛町久木榮藏福井縣越前國敦賀郡堂村宮本孫次郎同縣坂井郡南本堂村原田五右衛門同縣
 丹生郡杉本村竹内助左衛門同縣今立郡板垣村橋本嘉三右衛門越後國西蒲原郡水澤新田廣
 木儀八靜岡縣駿河國益津郡鰯ヶ嶋村沼野傳七所有船乘組人沼野傳之助等熊本縣天草郡上
 村木下三勝外二名難船行衛不知地券紛失等ノ件
 (公報第九拾三號ヨリ第九拾六號ニ至ル)

○告二百七十七番 六月十八日附
 新潟縣越後國東頸城郡飯室村外九ヶ村福岡縣志摩郡津和崎村外二ヶ村島根縣出雲國能美
 郡田賴村地所建物船舶質入書入公証割印簿錯誤更正ノ件
 (公報第九拾五號)

○告二百七十八番 六月十八日附
 舊別働第三旅團步兵隊附元四等巡查心得宮城縣士族
 鈴木和傳次
 尾形正義
 大竹善三郎
 可沼甚吉

全上 宮城縣士族
 全上 福島縣士族
 全上 尾形正義
 全上 大竹善三郎
 全上 可沼甚吉

全上 舊別働第二旅團步兵隊陸軍兵卒

全上 福島縣平民
 茨城縣平民
 長野縣平民
 全上 石川縣平民

全上 四電忠平
 五十嵐常吉
 柴田熊吉
 柳澤周三郎
 北澤春吉
 川端長七

舊別働第一旅團步兵隊陸軍兵卒
 右列記ノ者明治十年西南ノ役ニ從ヒ功勞アルヲ以賞金ヲ賜フヘキノ處踪跡不明ニテ授與
 難相成ニ付本人ハ勿論若シ親戚朋友等ニ於テ其所在承知ノ者ハ直ニ賞勳局又ハ本管廳或
 ハ寄留地方廳ノ内ニ便宜届出ヘシ此旨告示候事
 但親戚朋友等ニ於テ本人死亡ノ事承知シタルモ本文同様届出ヘシ

○告二百八十番 六月十八日附
 愛媛縣伊豫國新居郡立川山村島根縣石見國那賀郡元今福丸原入野村土地建物賣讓渡公
 証割印簿更正ノ件
 (公報第九拾五號)

○告二百八十一番 六月十八日附
 富山縣下新川郡下村外一ヶ村地所建物質入書入公証割印簿更正ノ件
 (公報第九拾五號)

○告二百八十二番 六月十八日附
 三重縣桑名郡東汰上村外二ヶ村山口縣佐波郡各町村地所建物船舶質入書入公証割印簿更
 正ノ件
 (公報第九拾五號)

○告二百八十五番 六月二十日附
 京都府丹波國天田郡加用村千葉縣匝屋郡平木村富山縣上新川郡赤田村外十四ヶ村島根縣
 石見國瀨摩郡宅野村地所建物船舶山林賣讓渡質入書入公証割印簿燒失更正等ノ件

○告二百八十六番 六月廿日附

(公報第九拾六號)

山口縣周防國玖珂郡野谷村公証割印簿更正期限改メノ件

(公報第九拾六號)

○告二百八十九番 六月二十日附

(公報第九拾七號)

本縣ニ於テ河北郡二日市村字ル貳拾貳番等地券紛失並ニ高知縣ヨリ官印紛失ニ付照會ノ件

○告二百九十一番 六月廿五日附

(公報第九拾八號)

岐阜縣美濃國池田郡三倉村同國羽栗郡東小熊村同國可兒郡長洞村栃木縣河内郡白澤宿外五ヶ村地所賣入書入公証割印簿紛失錯誤ニ付更正ノ件

○告二百九十二番 六月廿五日附

(公報第九拾八號)

岐阜縣下美濃國安八郡馬之瀬村同郡下宮村同郡南寺内村同郡中村靜岡縣敷知郡坊瀬村岡山縣淺口郡里見村山口縣美稱郡青景村地所建物船舶賣入書入公証割印簿更正ノ件

○告二百九十七番 六月二十七日附

(公報第九拾八號)

愛媛縣讚岐國鶴足郡東二村外一ヶ村福岡縣豐前國田川郡下香春村外一ヶ町長野縣南佐久郡平賀村同國北佐久郡發地村同國東筑摩郡松岡村同國水内郡御山里村地所建物賣買讓渡質入書入公証割印簿更正ノ件

○番外

兵庫縣神戸監獄本署及姫路明石篠山ノ三分署囚徒内ニ一種傳染性ノ熱病發生シ漸次蔓延其勢頗ル猖獗ニシテ終ニ市街ヘモ波及シ患者殆ソト二千八人ニ立至リタルヲ以テ頃日該病

旋チ審查セシニ全リ眞性發疹症扶斯ナル事ヲ認定シ尙市街ヘ傳播ノ誘因ヲ原スルニ一ハ該患ニ罹ル囚徒ニシテ滿期放免歸郷ノ上直ニ該毒ヲ親族其他ヘ媒傳シ一ハ右等ノ者病毒潛伏期中歸郷日ヲ經テ發シ爲メニ傳染スルニ外ナラサル趣同縣ヨリ通知越候就テハ本縣下ノ如キ路程接近スト云フニ非ラサルモ日々人民ノ交通最夥多ノ地ニ之ヲアルヲ以テ自然該地方ヨリ歸郷スル者ヨリ傳染蔓延ニ至ラシモ知ル可カラズ且氣候漸々温暖ニ趣キ尋テ諸般ノ病症發生ノ期節ニ向ヘルカ故ニ各自此際豫防ニ一層注意スヘシ

右告諭候事

○番外諭達

一月七日附

朝鮮國蔚陵島 我稱 松嶋ヘ渡航上陸不相成趣客年四月十二日諭達置候處即今ニ到リ私ニ再航致候者有之由自然右等ノ所業有之候テハ甚々不相濟義ニ付尙心得違無之權可致此旨重テ諭達候事

○丙七番

一月廿九日附

函館縣檜山郡江差中歌町客歲十二月廿五日失火ノ際同町檜山爾志郡役所公文燒失候モノ有之他府縣下郡役所戶長役場ヨリ照會書ハ大半燒失候ニ付右失火以前該郡役所ヘ照會回答未了ノ事件有之候ハ、更ニ申候候様示達方同縣ヨリ照會有之候條此旨相達候事

○丙八番

二月二日附

本縣珠洲郡役所ノ義同郡飯田村大運寺ニ假設候旨該郡長ヨリ届出候條爲心得此旨相達候事

○丙四十九番

六月十日附

郡區役所、戶長役場

○六雜

滋賀縣下滋賀郡坂本村延曆寺保存ノ爲メ全國勸進之儀内務省ヨリ允許相成候就テハ這回別紙人名ノ者共ヲ以管内篤志者募集委員トシ派遣候旨該寺ヨリ願出聞置候間該人共ヨリ時宜ニヨリ其役所役場へ就キ可及依頼義モ可有之候條此旨爲心得相達候事

(別紙)

崇敎會勸進募集委員

加賀國河北郡金澤上小川町
同 石川郡金澤野田寺町
同 河北郡金澤上小川町
同 石川郡金澤蛤坂町
同 河北郡金澤上小川町
能登國珠洲郡寺家村

西養寺中講義 佐々木 慈舜
安住寺權訓導 今村 寛康
最勝寺試補 三浦 慈浚
藥王寺試補 長谷 孝徹
西養寺徒弟 稻元 慈讓
翠雲寺權訓導 三津 善源

○伺指令

○太政官指令

○官吏恩給令並月俸規則追加御達ニ付疑義ノ廉大藏省伺

十七年一月十七日

本年第一號官吏恩給令並第五號月俸規則第二十二條追加御達ニ付差向疑義ノ廉有之左ニ相伺候

爰ニ明治初年ヨリ奉職シ今日ニ至リ滿十五年數ケ月勤續ノ者病死セシアリ之ヲ第一號御達官吏恩給令ニ當フトスルニハ年數未タ滿十五年ニ至ラス固ヨリ恩給ヲ受クヘキノ限ニ無之然ラハ第五號御達中第二項ニ依リ四箇月分ノ月俸金額ヲ一時支給スヘキ歟右第五號御達中ノ年數ハ無論第一號御達同様明治四年八月ヨリ起算ノ事ト相心得候然ルルハ前文死者ノ年數ハ明治初年ヨリ起算シテ滿十五年數ケ月トナル其内明治四年八月以來ノ年數ヲ以テ第五號御達第二項ノ例ニ充テ右明治四年七月以前ノ年數ハ第一號御達第七條中第二項ニ依リ一時ノ賜金支給方取計可然儀ト存候得共御達文中別ニ明文無之儀ニ付聊疑惑ヲ生シ候仍テ此段相伺候何分ノ御指揮有之度候也

○指令 十七年一月廿九日

同ノ趣明治四年八月以前ニ係ル分ハ官吏恩給令第七條第二項ニ據リ其以後ハ月俸規則第二十二條ニ據リ支給スヘキ儀ト心得ヘキ事

○大藏省ヨリ中山道鐵道公債証書募集結果ノ義ニ付太政官へ上申

十七年三月十四日

伺指令

太政官

五百七十三

同指令

大政官

五百七十四

中山道鐵道公債證書條例ニ據リ公債證書ノ内額而五百万圓發行ノ儀本年一月當省第七號ヲ以テ告示候處同二月二十日迄ニ日本銀行へ價格以上ニテ引受方申込ミタル金額貳拾壹万三百圓 但シ九拾圓壹錢ヨリ九拾圓九拾圓ニテ申込ミタル金額八百拾六万六千圓ニシテ其總計八百三拾七万六千四百圓ニ至ル發行額五百万圓ト差引三百三拾七万六千四百圓超過セリ而シテ告示第六條ノ通り各申込人へ渡スヘキ證書ノ高ヲ定メ本月三十日迄ニ日本銀行ヨリ通知セシメ且該超過額ハ條例第五條ニ據リ價格九拾圓ヲ以テ引受申込人ノ分減少割戻方日本銀行へ令達致シ候依之別紙計算書相添此段上申候也

○指令 十七年三月十五日
上申ノ趣聞啓候事

(別紙)

中山道鐵道公債募集高調

- 一 額面五百貳拾九萬貳千三百圓
- 一 額面百拾貳萬四千五百圓
- 一 額面百九拾五萬九千六百圓

總計

額面八百三拾七萬六千四百圓

内

額面貳拾壹萬三百圓

- 日本銀行本店募集高
- 同大坂支店募集高
- 各地代理店三十八ヶ所募集高
- 銀行會社 百五拾三口
- 一個人 五百貳拾四口
- 米國入一口
- 但橫濱九十番エフ、ア、ベツク
- 價格九拾圓以上ノ分

差引

額面八百拾六萬六千百圓

内

額面三百三拾七萬六千四百圓

差引

額面四百七拾八萬九千七百圓

以上

一 額面貳拾壹萬三百圓

一 同 四百七拾八萬九千七百圓

總計額面五百萬圓

右ノ通ニ候也

價格九拾圓ノ分

減却高

割付額面高

價格九拾圓以上ノ分額面高

價格九拾圓ノ分額面高

○月俸規則第二十二條及第二十三條勤續年數計算ノ義ニ付大藏省同
十七年四月十四日

月俸規則第二十二條ニ明示有之官吏一時賜金給與方ノ儀ハ今日現ニ判任官以上奉職ノ者ニシテ判任以上ノ官ヲ奉スルコト滿五年以上ニ及フモノニ限リ其第二十三條モ亦同様ノ順序ト相考候果シテ然ラハ本人素ト該兩條改正前等外吏巡查等ヨリ判任官へ轉任セシモノニ係ルトキハ最前ノ等外吏若シハ巡查奉職年數滿五年ハ既任ノ轉任ニ屬スルヲ以テ全ク計算外ニ付シ支給スヘカラサル總相見ヘ候得トモ斯テハ該兩條改正後等外吏巡查滿五年等ヨリ判任官へ轉任ノ際打切支給スルモノニ對シ彼是權衡ヲ得サル付該賜金ノ儀ハ

同指令

大政官

五百七十五

伺指令

太政官

五百七十六

假令該條例改正前判任官へ轉任ノモノト雖トモ其轉任前ノ奉職年數五年ハ打切計算スヘキ義ト相心得等外吏ハ同則第二十三條ニ據リ巡查ハ過般内務省上申濟ノ例ニ據リ巡查給助例實施ノ期迄ハ從前巡查滿年賜金給與法ニ照シ支給候テ可然哉

○指令 十七年六月二日
伺ノ趣判任へ轉任スル等外吏ハ月俸規則第二十三條ニ依ルノ限ニアラス但巡查滿年賜金ハ伺ノ通

○月俸規則第二十二條追加ノ儀ニ付大藏省伺 十七年五月卅一日

本年第五號月俸規則第二十二條追加御達ノ儀ハ第三十六號御達ヲ以テ廢止セラレ候ヘキ右廢止前ニ係ル退官者へ賜金給與方ノ儀ニ付疑義ノ處左ニ相伺候

一 官吏恩給令第六條中自己ノ便宜ヲ以テ退官ヲ乞フ者へハ恩給ヲ支給セスト在リ然ラハ本條ニ於テモ同様退官ヲ乞フ者へハ賜金給與セサル義ト相心得可然哉

一 本條奉職年數中等外吏奉職ノ年間ハ算入セサル儀ニ候哉
一 本條奉職年數中非職年間モ算入スヘキ儀ト心得可然哉
一 判任官以上並等外吏トモ二十歳未滿ノ奉職年數ハ總テ算入不致儀ニ候哉

○指令 十七年六月十七日
伺之通

○官吏恩給令第二十九條疑義ノ儀ニ付文部省伺

十七年五月廿日

本年四月第三十五號ヲ以テ御達相成候官吏恩給令追加第二十九條中疑義ニ涉リ候左ノ件々相伺候也

伺指令

太政官

五百七十七

一 官吏滿五年以上云々

右官吏トハ御用掛モ含有候儀ト心得可然哉

但等外吏ハ勿論月俸規則第二十三條ニ據ルヘキ儀ト存候事

一 自己ノ便宜ニ依テ退官ヲ請フ者

右ハ依病辭職ヲ請フ者ノ如キハ本文ノ限リニ在ラサル儀ト心得可然哉

一 服務紀律ニ違ヒ候ル者ノ諭旨退官

右ハ省務ノ都合ニ依リ諭旨退官セシムル者或ハ本官ヨリ更ニ御用掛ヲ命ズル際ニ退官セシムル者ノ如キハ勿論本條ニ照シ給與候方可然哉

○指令 十七年六月二日
第一項 御用掛含有也ス
但書伺ノ通

第二項 不治ノ病ニ罹リ其職ニ堪ヘサル確證アル者ニ限リ本條ニ依リ支給スル儀ニ候事

第三項 前段伺ノ通後段ハ本官ヨリ更ニ御用掛ヲ命ズル際ニ退官セシムル者ハ其御用掛ヲ免スルトキニ於テ前本官ニ對スル一時賜金ヲ給シ其本官ニ再任スルモノハ前後通算スル

○官吏恩給令ノ儀ニ付内務省伺 十七年六月六日
官吏恩給ノ儀ニ付先般伺ノ未去ル九日付ヲ以テ御指揮ノ趣モ有之候處尙疑義ノ處々左ニ相伺候也

第一條 今般第三拾五號御達ヲ以テ官吏恩給令中第二十九條第三十條追加相成候處則チ

第二十九條ニ官吏滿五年以上奉職ノ者十一年未滿ニシテ退官セシ時ハ現俸給三ヶ月分ヲ給シ其滿十一年以上十五年未滿ニシテ同上ノ者ニハ現俸給四ヶ月分ヲ給ス

以下 同三略

伺指令

太政官

五百七十八

十條ニ官吏在官中死去ノ者ハ現俸給三ヶ月分ヲ給ストアリ右二十九條ハ月俸規則第二十二條舊滿年賜金ノ性質ニ依リ賜與相成候モノト存候ニ付右年數ニ相當ノ者死去スルトキハ第二十九條第三十條ノ賜金ヲ併セテ給與候儀ニ候哉否サレハ滿十一年以上十五
 年未滿ニシテ退官スルモノハ四ヶ月分ノ賜金ヲ給與スヘキ年數ナルニ其死スルカ爲ニ
 三ヶ月分ノ賜金ト相成候ハ惘然ノ儀ノミナラス頗ル穩當ナラサル様考ヘラレ候間前願
 ノ通相心得可然哉

第二條 本年一月第五號御達ヲ以テ月俸規則第二十二條御改正尋テ第三拾六號ヲ以テ右二
 十二條ヲ廢シ更ニ恩給令中第二十九條追加相成候ニ付郡區書記退官賜金ノ儀モ右ニ準
 據スルハ勿論ノ儀ト存候就テハ是迄經濟ノ異ナル向ヘ轉スル節ハ一旦打切滿年賜金ヲ
 給スルノ制規ナルモ自今彼此勤年數通算不致候テハ五年未滿ニシテ交互轉任ノ者ハ終
 始賜金ノ恩典ニ相洩レ頗ル穩當ナラサル儀ニ付總テ通算致シ可然哉果シテ通算候儀ニ
 候ハ本條及第三十條賜金支出方ノ儀モ去二月二十一日御達ノ趣ニ準據シ悉皆國庫ヨ
 リ支辨可相成哉又ハ其退官ノ當日ニ依リ國庫若シハ地方費ヨリ支辨可相成哉
 第三條 本令ハ判任官以上ニ限ルヲ以テ暫テ等外吏奉職ノ年月ハ算入スルヲ得サル儀ト
 存候就テハ滿五年以上等外吏奉職ノモノ判任官ニ昇級スルトキハ月俸規則第二十三條
 一ニ依リ別ニ一時賜金トシテ給與スルヲ得ル儀ニ候哉
 第四條 本令第二十九條中自己ノ便宜ニ依リ退官ヲ請フ者又ハ服務紀律ニ違ヒタル者ノ
 諭旨退官及ヒ懲戒處分若シハ刑事裁判ニ依リ免官セシ者ニハ總テ之ヲ給セスト有之候
 處第七條第二項明治四年八月以前ノ賜金モ同様ノ儀ト心得可然哉
 ○指令 十七年六月十八日
 伺ノ趣左ノ通可相心得事

伺指令

太政官

五百七十九

第一條 第二十九條ノ賜金ハ死亡者ニ併セ給スルヲ得ス
 第二條 前段勤年數通算ハ伺ノ通後段賜金ハ國庫ヨリ支出ス
 第三條 判任官ニ昇級スル等外吏ハ月俸規則第二十三條ニ依ルノ限リニアラス
 第四條 伺ノ通

○內務省指令

○醫術試驗規則ノ儀ニ付東京府伺

十六年十二月十七日

本年太政官第三拾四號布達醫術開業試驗規則第九條ニ據レハ後期試驗ヲ受ケントスル者ハ前書ニ履歷書及前期試驗及第ノ證書ヲ副ヘ云々ト有之候處改正前ノ試驗規則ニ據リ外科眼科產科等各專門ヲ試驗及第シ既ニ右ノ免許狀ヲ所持シ後期試驗志願ノ者ハ再ヒ前期試驗ヲ要セス直チニ後期試驗御許可相成候事トハ存候得共爲念此段相伺候也

○指令 十六年十二月廿四日 伺之通

十六年九月廿五日

○監視之儀ニ付滋賀縣伺

通常監視ニ付セラレタル者ニシテ他管下へ旅行且ツ滞在スル節取締方ノ儀ハ刑法附則第二章中ニ明文モアリ且本縣ヨリ同定置候次第モ有之候得共住居地管内旅行ニ就テハ別ニ取締方法無之然ルニ力役等ヲ以テ糊口ヲ爲スモノト如キハ其業休ノ都合ニ依リ住居地町村最寄ニ於テ其職業ニ従事スルコトヲ得ス數里外ナリ他ノ警察署下へ數十日出稼スルモノアリ右等ノ者ニ至テハ毎月兩度居住地ノ所轄警察署へ謹慎ヲ表スル爲メ出稼スルハ時日ヲ費シ糊口上ニ困難スル趣ヲ以テ出稼地ノ所轄警察署又ハ分署へ出頭謹慎ヲ表シ度旨出願スルモノアリ右ハ事實憫然ノ至リニ付之ヲ許可シ其旨出稼先キノ所轄警察署又ハ分署へ通謀監視致シ候モ御差支之筋無之候哉相伺候也

○指令 十七年一月九日

同之趣事情無據者ニ限り許可シ不苦儀ト可心得事

○開墾地許可以前着手候者處分方之儀ニ付滋賀縣伺

十六年三月十六日

一内

伺指令

內務省

五百八十二

伺指令

内務省

五百八十二

二内

民有地ヲ開墾セントスルハ明治七年第百貳拾號布告ニ據リ出願許可ヲ請フヘキ筈ノ處
往々無願ニテ着手スルモノ有之夫レヲ問フヘキ法律アラサルカ爲メ取締難相立ヲ以テ右
等ノモノハ本縣限リ左ノ通取扱度候

一無願ニテ開墾着手セシモノハ其地ノ熟否ニ不拘直ニ其開墾地目畑田ニ改メ近傍同地目比
準ノ地價ニ修正シ一切銀下年期ヲ與ヘサルモノトス

一無願ニテ開墾シ後發覺シタルモノハ其開墾着手セシ年ニ遡リ修正地價ニ據リ地租追徴
スルモノトス

右之通相定メ管下ヘ布達致度御差支無之候ハ、御允可被下度此段相伺候也

○指令(大藏省)十七年一月廿三日
伺之趣無願開墾スルモノハ九年第六拾七號公布第一條ニ據リ十四年第七拾貳號公布第四
條ヲ以テ處分スヘキ儀ニ付別段取締向管内布達ニ不及儀ト可心得事

但處分濟之上第一項二項共現地目ニ據リ着手之年ニ遡リ相當之地價ヲ査定シ徵稅スル
儀ト心得ヘシ

○醫籍編製之儀ニ付山形縣伺
十七年一月十日
客年十二月廿八日付御省乙第五拾號ヲ以テ醫籍編製ノ儀御達相成候處左ノ件々疑義ヲ生
シ候條相伺候

第一 現在醫師ノ氏名トハ本管及寄留ヲ問ハス都テ一月一日管内ニ住居開業スル者ヲ
指シタル儀ニ可有之哉又ハ本管ニ有籍ノ者ニ限り候哉

第二 果シテ第一項前半ノ如キモノトスルハ他管寄留ノ者ヲ編製スルニ書式中住所
ノ欄内ニ開業スル所ノ町村名ヲ記入シ本籍ノ欄内ニ本籍ノ町村名ヲ記入スルハ勿論
ノ事ト相考候得共若シ本管ノ者ヲ編製スルニ當リ本籍及開業地ヲ同フスルハ住所

第三 書式中奉職履歷ニ依ル者トハ全ク十年八月御省乙第七拾六號達ニ準スルモノヲ
指シタル儀ニ候哉

○指令 十七年一月廿八日
第一第二前段伺之通
第三伺之通

○勳章年金褫奪及停止取扱手續ニ付福井縣伺 十六年十一月十五日
本年九月太政官第三拾九號達勳章金褫奪及停止取扱手續第一條第二項ニ所屬懲戒例トハ
汎ク指稱セシモノニシテ單ニ官吏懲戒例ニ限ラス明治九年八月御省達乙第九拾貳號巡查
懲罰例ノ如キモ無論該項ニ包含シタルモノニ有之候哉聊カ疑義ヲ生シ候ニ付爲念相伺候
也

○指令 十七年二月四日
伺之通

○警保報告表ノ儀ニ付滋賀縣伺
十七年一月十七日
第一條 四期報第一表中距里ノ欄合計ヲ掲クルニハ假令ハ甲分署ヨリ警察署ヘ一里アリ
乙分署ヨリハ二里アルハ合計ヘ三里ト掲ケ可然哉且廣袤ノ欄合計ヲ掲クルニハ警察
署直轄及七分署等ノ分ヲ合計スルハ實地ニ於テ大ニ差異ヲ生スルヲ以テ警察署全所
轄ノ廣袤ヲ掲ル儀ニ候哉

第二條 同第十六表ノ家畜ニ(牛馬)(犬)何々トアルヲ以テ見レハ牛馬ニ限リ合記シ其他
ノ家畜ニ至テハ各別ニ記スル儀ニ候哉

第三條 同第十七表ヨリ十九表ニ至ル三表ハ盜難ノ戸數人員船數ノ事故ヲ掲クル表ナリ

三内

伺指令

内務省

五百八十三

伺指令

内務省

五百八十四

然ルニ此内ニ田野山林等ニ差置ク衣類物品等ノ人ノ看守セサルモノヲ竊取セラレタル事故ヲ記入スヘキ項目無之若シ右ノ事故アルハ第二十表中ニノミ掲ケ置義ニ候哉且湖川等ニ擊キ置ク船体ヲ盗マレシ如キモ二十表ニノミ掲ケ置キ十九表ハ掲ケルニ不
及儀ニ候哉

第四條 同第廿五表ハ現行犯ニ限リ警吏人民協力等ノ種別ヲナシ準現行非現行ニハ其種別ヲナサシル様相見ヘ然ルニ準現行ニ至テハ治罪法ニモ明文存之ニ付人民又ハ吏民協力捕獲スルヲ往々有之是等ノ者アルモ種別スルニ及ハス候哉

第五條 同第廿六表ノ告訴告發ノ項ヘハ賭博犯及ヒ密賣淫犯ノ如キ行政處分ニ付スル者ハ此内ニ掲ケルニ及ハサル儀ニ候哉

第六條 同第廿九表中未婚者ニシテ養子養女及ヒ私生ノ子アルモ掲ケルニ及ハサル哉且既婚者ハ養子女及ヒ私生ノ子モ掲ケル儀ニ候哉

第七條 年報第七表ノ營業者一人ニシテ數箇ノ營業ヲ兼テ又第八表ノ貸座敷業ヲ兼業スル者ノ如キハ人員ノ數ヨリ見ルルハ重複ニ涉ルト雖モ各其業ノ目ハ分記スル儀ニ候哉

第八條 明治十六年御省乙第四拾九號達但書ニ十七年一月分ニ限リトアルハ昨十六年十一月十二日三ヶ月分ヲ合スル表ニアラスシテ十七年一月分中ノ分取調進達スル儀ト存候果シテ然ラハ本年第一期即一二三月份ヲ合シ四月ニ進達スルニハ彙ニ進達濟ノ一月分ヲ除キ二月三月四月ニ進達スル儀ト心得可然哉

右ハ昨十六年十二月廿七日御省乙第四拾九號御達警察四期報及ヒ年報様式中疑義ヲ生シ候ニ付相伺候也

○指令 十七年二月十二日

第一條 位置距里廣袤ノ欄合計ハ計算ノ限リニ非ス

第二條 伺之通

伺指令

内務省

五百八十五

第三條 若シ前後兩段ノ如キ事故アルハ該種目ヲ第十八表ヘ増記スヘシ

第四條 官報第百五拾八號正誤欄内掲載ノ通

第五條 伺之通

第六條 前段未婚者ニシテ子アルモノハ適宜別記スヘシ後段伺之通

第七條 第八條 伺之通

○監獄經理半年報第拾六號之儀ニ付福岡縣伺

十七年二月四日

客年十二月御省乙第四拾八號ヲ以テ御達相成候監獄經理半年報中第拾六號ニ自活スルニ足ル以上ノ工技アルモノト有之右ハ監内外ヲ問ハス普通自活スルニ足ル以上ノ工技即チ大工桶工等ノ如キ諸職工ニシテ在監中衣食費ヲ償フモノヲ指シタルモノニシテ職夫土方米搗等ノ如キ諸勞作ニ至ツテハ假令在監中衣食費ヲ償フモノト雖モ自活工技ノ部分ニハ組込難キ儀ニ候哉果シテ然ラハ右等ノ諸勞作ハ總テ無工技トシ取調可然哉

○指令 十七年二月廿二日

伺之趣諸勞作ト雖モ衣食費ヲ償フニ足ルモノハ自活スルニ足ル以上ノ工技アルモノノ界區ニ併記スル儀ト可心得事

○醫師開業免許規則之儀ニ付秋田縣伺

十六年十一月廿七日

今般太政官第三拾五號ヲ以テ醫師開業免許規則公布相成候ニ付左ノ件々相伺候

第一條 規則第一條但書此規則施行以前ニ於テ受ケタル醫術開業ノ証ハ仍ホ其効アリトスト有之然ルニ從來開業醫ニシテ是マテ廢業シ鑑札付與セサルモノ更ニ復業願出其証確實ナルモノハ今后ト雖モ本縣限リ開業差許不苦儀ト心得可然哉

第二條 規則第五條醫師ニ乏シキ地云々ハ一府縣管内ヲ指示セラレ候儀ニ可有之哉或ハ

伺指令

內務省

五百八十六

六内

一 管内例之ハ甲地方ニ醫師アルモ乙地方ハ山間遠隔ニ僻在シ醫師ニ乏シク患者醫療ヲ得ルニ苦ム等ノ實況アルモノハ是又本條ニ據リ具狀スルヲ得ル儀ト心得可然哉

第三條 死亡又ハ廢業者開業免狀ノ儀昨十五年三月廿五日伺全四月廿六日御指令ニ依リ該免狀ハ本廳ニ返納セシメ候上裏面ニ死亡或ハ廢業ノ旨ヲ明記シ廳印ヲ捺シ下付致置候處規則第十條ノ趣モ有之候得共當縣地ノ如キハ儘ニ具狀ノ通り醫師缺乏專ラ其子弟ヲ勸勵スルノ一端ニ相成候儀ニ付自今ト雖モ前御指令ニ據リ取計度候條如何相心得可然哉

第四條 規則第十二條醫業停止ノ處分ニ係ルモノハ幾年月間停止シタル旨ヲ開業免狀ニ裏書云々ト有之右ハ左ノ書式ヲ以テ裏書取計可然哉

免狀裏書樣式

明治何年月ヨリ全何年月
(或ハ同) 迄幾年幾月間醫業ヲ停止ス

應印

○指令 十七年二月廿五日

第一條 十六年第三拾四號布達ニ依リ更ニ試驗ヲ受ムヘシ

第二條 後段之場合ニ限ルベシ

第三條 難開屆

第四條 伺之通

○從來開業醫免許方ノ儀ニ付石川縣伺 十七年二月五日

七内

伺指令

內務省

五百八十七

從來開業醫免許ノ儀ハ明治十二年三月ヲ期シ履歷調査ノ上鑑札ヲ付與致シ爾來十五年御省乙拾四號御達ニ據リ開業醫ノ子弟及同年ニ於テ山間等醫師不在ノ個所ニ限リ醫業差許十四年十一月伺同 之外何等申出ルモ一切採用不致候處十二年履歷調査ノ際他出或ハ病葺ニ臥スル等事故ニヨリ不計モ履歷屆後ノ者有之右ハ一時機期ニ外レシヨリ遂ニ從來ノ醫業相登ム能ハザル場合ニ立至リ目下容易ニ轉業ノ目途モ相立テ難キ族ニ有之事實尤憫然ノ次第ニ就テハ右等ノ向ニシテ開業醫二名以上ノ保證ヲ爲シ履歷判明ノモノハ詳細取調ノ上確乎相違ナキト認ムル上ハ今度限リ醫業差免申度御差支之儀モ無之哉此段相伺候也

○指令 十七年二月廿五日

伺之趣難開屆候事

○醫師免許規則之儀ニ付群馬縣伺 十六年十二月十八日

第一條 今般第三拾五號布告醫師免許規則中第五條ニ依リ醫術假開業免狀ヲ得シ者アリシ地方ニ他ヨリ醫師轉任スト雖モ三四名ノ多キニ達セサル以上ハ縱令同村內ナリトモ假免狀所有ノ醫師其儘開業罷在不苦儀ニ候哉

第二條 管内醫師ニ乏シキ地方區域制限ハ豫テ本縣限相定メ置別段御省ニ伺又ハ御届ニハ不及儀ニ候哉

○指令 十七年二月廿六日

第一條 第二條トモ其都度伺出ツヘシ

○醫術免狀下附願ノ儀ニ付岩手縣伺 十七年二月七日

客年十月御省乙第四拾貳號御達ニヨリ免狀下附之儀願出之者有之目今調査中ニ候處本年一月御省乙第四號御達ニヨルモ右第四拾貳號ハ消滅セシモノノ如ク被考候然レ共御下附

伺指令

内務省

百五十八

八内

可相成免狀ニ区分モ可有之哉不然ハ右願人等ハ何レモ醫籍簿進達及候得ハ免狀御下附可相成者共ニ付疑義ヲ生シ相伺候也

○指令 十七年三月三日

伺之趣客年當省乙第四拾貳號達ト本年乙第四號達トハ全ク別段之儀ト可心得事

○醫術開業免狀御下付ノ儀静岡縣伺

十七年一月廿五日

今般御省乙第四號ヲ以テ從前府縣廳ニ於テ下附シタル醫術開業許可ノ証ヲ所持スル者ハ更ニ御省ニ於テ免狀御授與可相成旨御達相成候ニ付疑團之慮左ニ相伺候也

第一 醫術開業免狀ヲ請求スルニハ本人ヨリ履歷書等相添出願可爲致儀ニ候哉將本廳ニ於テ氏名族籍科目等取調上申可致儀ニ候哉

第二 客年御省乙第四拾貳號及四拾七號達ニ依リ免狀出願之者ハ別段上申不致可然哉

第三 明治十五年御省乙第四拾四號達ニ依リ免狀下付セシ者ニモ今回御下付相成儀ニ候哉

○指令 十七年三月七日

第一條 客年當省乙第五拾號達ニ依リ醫師氏名簿進達ノ上當省ヨリ下付スル儀ト心得

第二條 上申スヘシ

第三條 伺之通

○町村衛生委員提灯印並印章之儀ニ付新潟縣伺

十七年二月廿二日

第一條 町村衛生委員ノ提灯ハ從前徽章無之候得共傳染病流行ノ際ハ勿論平時ニアリテモ職務上夜行ノ節目標ナキハ差支ノ次第モ有之候間官吏ニ類セサル徽號ヲ當縣限り自費ヲ以テ適宜調製セシムルモ不苦候哉

第二條 前委員職務上ニ用ユル印章ハ實印ヲ相用來候得共便宜ニ依リ左ノ印影調製ヲ押用スルモ差支無之候哉

何町村始
何ケ村受
持衛生委
員何某印
木材適宜

方五分

○指令 十七年三月七日

伺之通

○諸裁判所内ニ設ケアル留置場營繕費用之儀ニ付警視廳伺

十七年一月廿五日

諸裁判所内ニ設ケアル留置場之儀監獄則第一條第一項ニ裁判所ニ屬スルモノト有之候ニ付該場ニ屬スル營繕費用ハ司法省經費内ヨリ支出相成可然哉旨同省ニ照會候處該省ニ於テ支辨スヘキ筋ニ無之趣回答有之就テハ當廳ニ於テ地方税中ヨリ支辨スヘキ儀ト相心得可然哉果シテ然レバ其敷地ニ係ル地方税ヘ引續可相成儀ニ有之候哉又司法省ヨリ借受候儀ト相心得可然哉此段相伺候也

○指令 十七年三月十八日

伺之趣留置場營繕費ハ地方税ヲ以テ支辨スヘシ敷地ノ儀ハ未段伺ノ通

○醫師免許規則之儀ニ付佐賀縣伺

十六年十二月十一日

第三拾四號布告醫師免許規則中疑團之慮左ニ相伺候也

第三條 規則第五條ニ醫師ニ乏シキ地ニ於テハ府知事縣令ノ具狀ニ依リ醫術開業試驗ヲ

九内

伺指令

内務省

五百八十九

伺指令

內務省

五百九十一

○一内

經ナル者ト雖其履歷ニヨリ假開業免狀ヲ授與スルコトアルヘシト有之其履歷トハ三ヶ
 年以上醫學ヲ修業シタル實蹟ヲ有シ其師若クハ他ノ開業醫師ル從來開業醫師モ準之
 二名以上ノ保證アルモノ等凡程度モ有之モノニ候哉
 第三條 規則第八條ニ開業免狀ヲ毀損亡失シ又ハ氏名本籍ノ變換ニ由リ免狀ノ書替ヲ願
 フモノ云々トアリ該免狀ハ本籍縣内ニ限リ他縣轉籍等ノ者ハ必ス書換ヲ要セシムヘシ
 儀ニ有之候哉

第三條 規則第六條第九條ノ手数料ハ其時々或ハ一ヶ月取廻メ御省ヘ送納スヘキ哉

○指令 十七年三月廿五日

第二條 修學年限及保證ノ制限ナシ

第三條 他府縣轉籍者ハ書換セシムヘシ

第三條 本年當省乙第拾七號達ノ通心得ヘシ

○賣藥營業者ノ儀ニ付岡山縣伺

十七年二月廿五日

爰ニ賣藥營業及ヒ請賣者支店ヲ開設シ販賣セント欲スル者ハ十年御省乙第六拾五號御達
 ニ別戶支店等ニ於テハ其居住人ニ於テ鑑札ヲ所持スルニ非レハ云々ト有之然ル上ハ鑑札
 記載方ニ於テハ本主營業人ノ名前ニ尙別戶支店ヲ擔當スル者ノ姓名ヲモ記載可下渡儀ニ
 可有之哉果シテ然ラハ税金ハ本店而已ニテ可然哉

○指令 十七年四月九日

伺ノ趣鑑札面ニハ何誰支店代理人何誰ト記シ營業稅及鑑札料共箇所毎ニ徵收スル儀ト可
 心得事

○藥舖醫師兼業之儀ニ付福井縣伺

十六年五月十一日

會テ御省免許所持又ハ照限許可シタル藥舖ニシテ醫學修業ノ上成規ニ據リ醫術開業出願
 候節試驗問題請求致候ハ御交附可相成ハ勿論ト信認仕候而シテ試驗成績合格者ハ開業
 免狀交附セラレシ上ハ右醫師從前藥舖業相兼業スルモ固ヨリ醫師試驗規則其他ニ嫌疑之
 明文無之限リハ別ニ妨ケ無之儀ト相心得可然哉

○指令 十七年四月十一日

伺之通

○賣藥鑑札ノ儀ニ付山形縣伺

十七年四月十六日

賣藥營業者滿期繼願シタルモ其請賣行商者鑑札ハ規則第八條ノ年限迄書換ヘス可然哉

○指令 十七年四月廿二日

伺之通

○賞與取調書ノ儀ニ付鳥取縣伺

十七年三月十四日

本年第貳拾貳號公達ヲ以テ客年第拾七號公達第二條中壹圓未滿ノ者ハ褒詞ヲ以テ褒狀ニ
 換フルコト有ル可シト但書追加相成候處右ニ據リ褒詞セシ者ハ本年御省乙第壹號達賞
 與取調書式中揮テ褒狀ヲ與フル者ノ次ニ掲記可致義ニ候哉又ハ不及記載筋ニ候哉爲念相
 伺候也

○指令(農商務) 十七年四月四日

前段伺之通

但人員及金員ノ合計ノミヲ記載スルモ不苦

○監視ニ付セラレタル者旅費欠乏ノ爲メ救護ニ係ル諸費支辨方新瀉

縣伺 十七年二月一日

監視ニ付セラレタル者刑法附則第二十五條ノ場合ニ於テ途中發病等ノ爲メ滯留中旅費欠
 乏シ其地ノ警察署ニ救護ヲ乞フ者ハ刑法附則第三十二條ニ準據シ滯在地監獄署ノ別房ニ

伺指令

內務省

五百九十二

一内

二一内

留置スヘキ旨愛媛縣ヨリ司法卿ヘ伺出タル指令ニ 十六年官報 第四百四號 有之候處監獄署ニ遠隔ノ警 察署ヘ右等ノ救護ヲ乞フ時ニ當リ監獄署ヘ押送ニ關スル費用ハ本籍ヨリ追償致サベキ者 ト存候得共赤貧ニシテ償還スルノ道無之節ハ何レノ費目ヨリ可致支辨候哉

○指令 十七年四月九日 伺之趣自家親戚引取人等總テ代償スル資力無之節ハ犯人本籍ノ地方稅教育費中ヨリ辨償 セシムヘシ

○出産外五表記載洩之分裂表方ノ儀ニ付島根縣伺

十七年三月十三日

出産結婚死亡ニ關スル月表調製進達濟之後ニ至リ他出中死亡等ニテ數月ヲ經過シ原籍ヘ 届出又ハ出生ノ兒數月數年ノ后ニ於テ届出處分濟ノ上編輯シ或ハ町村ニ於テ調製ノ際記 載洩等ノ譯ヲ以テ往々引直方申出候ニ付既ニ客月七日附乾第壹三壹號并本月十二日附乾 第三貳〇號ヲ以テ開申致置候然ルニ數月前ニ溯リ引直候テハ實ニ製表上際限無之儀ニ付 自今右等ノ類ハ其發覺ノ月表ニ編入シ其旨欄外ヘ記載進達可然哉

○指令 十七年三月二十九日

伺之通

十七年三月廿八日

○官吏漁業之儀ニ付福井縣伺

海面區畫借用ノ上捕魚採藻營業ヲナスハ官吏ト雖モ不苦旨十三年六月申石川縣ヨリノ 伺御指令之趣モ候處河海ノ區域ヲ限ラス漁業ヲナスモ亦不苦候哉

○指令 十七年四月十七日 但明治廿三年六月中石川縣ヘ指令ハ取消候事

三一内

○養子戸主携子離縁ノ儀ニ付茨城縣伺

十六年十二月廿日

養子離縁ノ際嫡子連飯候儀ハ養實兩家ノ協議ニ任セ不苦モ養子戸主タル上ハ不相成儀ニ 可有之而シテ嫡子トハ嫡長男又ハ庶長男ニ限リ候儀ニテ女子ハ假令獨子ト雖モ養實協議 ノ上引連離縁致シ不苦哉云々明治十三年三月二日本縣伺ニ同月廿三日付テ以テ書而之趣 嫡男ノ例ニ準シ取扱候儀ト可心得尤一男女子トモ不得止事情有之願出候節ハ開届不苦事 ト御指令有之然ルニ年月日不詳(明治十四年官令新誌第貳號)第一條茲ニ甲家乙家ヨリ養 子致居候處該養子一男ヲ舉クル后故アリテ離縁セントスルニ方リ甲家ニテ舉ケシ一男ヲ 乙家ヘ携帶候儀ハ双方熟議ニ任セ不苦哉福岡縣伺ニ第一條離縁ノ養子戸主ニアラサルモ ノ伺之通ト御指令有之由是觀之ハ離縁ノ養子戸主タル上ハ不相成儀ニ有之モ不得止事情 有之ハ開届不苦儀ニ候哉此段相伺候也

○指令 十七年三月廿五日

伺之通

十七年四月十九日

○醫師兼業之儀ニ付埼玉縣伺

醫師ニシテ藥舖兼業不相成儀ハ各縣伺指令等ニモ相見候就テハ藥種商ト雖モ同様兼業不 相成儀ニ候哉

○指令 十七年四月三十日

伺之趣藥種商兼業不苦義ト可心得事

○醫術開業免狀授與之儀ニ付宮城縣伺

十六年十二月廿四日

御省乙第四拾七號ヲ以テ明治十年御省乙第七拾六號達以後奉職ノ者ト雖モ該達ニ比準ス へキモノハ志願ニ依リ直ニ醫術開業免狀御授與可相成旨御達相成候付テハ縣立避病院擔 當醫員ノ如キハ勿論該達ニ比準スルヲ得へキ儀ト存候處縣立病院附屬醫院擔當醫員及

四一内

郡區醫ノ如キモ縣令ノ命スル處ニシテ地方稅賦金等ヨリ俸給々與致置候儀ニモ有之且地方衛生會員中醫業ヲ以テ撰拔セラレタルモノハ俸給ハ給與不致ト雖ヒ同縣令ヨリ命シ置候ニ就テハ是亦該達ニ比準スルヲ得候儀ト相心得可然哉

○指令 十七年五月二十日

醫術開業免狀授與ノ儀伺書ニ掲載スル種類ノモノハ總テ許可ノ限リニアラス

○賣藥營業之儀ニ付埼玉縣伺

十七年四月九日

賣藥營業者ニシテ甲地ニ住居シ乙地ニ一定之床見世ヲ設ケ日々出張製劑ヲ販賣スルモノ有之右之如キハ行商鑑札ヲ付與シ可然哉又ハ請賣鑑札ヲ付與可致哉

○指令 十七年五月九日

前段伺之通

○賣藥規則中疑義之件栃木縣伺

十七年四月十八日

賣藥規則第十三條ニ據リ免許鑑札ヲ他人ニ讓渡サントスル者及ヒ第十四條ニ據リ免許期限中其相續人ニ於テ之ヲ相續スル時又水火盜難其他紛失等ニ付免許鑑札書換出願中鑑札所持不致ト雖ヒ期限中故營業不苦儀ト相心得可然哉

○指令 十七年五月十六日

伺之通

○戸籍取扱上之儀ニ付山梨縣伺

十七年三月八日

爰ニ三歳未滿ノ幼戶主家事擔保難相成事故等ヲ以テ壯年ノ者ヲ養子ニ貫受家督讓與致度旨申出ツル者アリ然ルニ年長ノ者ヲ養子シテ之ヲ子ト呼ビ又年少ノ者ヲ指シテ父ト稱スルカ如キハ實際上甚不穩當ノ様被存候得共何等據ルヘキノ法規モ無之取扱上差支候ニ付相伺候也

○指令 十七年五月八日

伺之通難開屆儀ト心得ヘシ

但幼戶主疾病其他不得已事情ニ依リ他人ヲ以テ相續セシメサルハ一家ノ浮沈ニ關スル等ノ類ハ親族ノ熟識ヲ以テ先代ノ養子トナシ相當ノ者ヲ貫受幼戶主ノ相續人トシテ家名ヲ繼承セシムル義ハ苦シカラズ

○身代限財產付立并地所建物業賣買等與書之儀ニ付大坂府伺

十六年十二月廿六日

第一條 負債主身代限ニ際シ他人ノ田地ヲ小作スルモノアリ元來小作米ハ其土地作徳ノ幾分ヲ以テ地主ニ納ムルノ習慣ニシテ尋常貸借トハ自カラ性質ヲ異ニスルニヨリ右身代限ノ節其地ノ立毛ハ先一番ニ地主ニ納ムヘキ小作米金ヲ見積ヲ以テ引去リ然ル后其餘分ヲ身代限財產點數ニ付立可然哉
第二條 前條財產付立前之ヲ引去ルヘカラサルモノトスルモ負債主財產公賣金ノ内右立毛ニ對シテハ地主ニ於テ特ニ先取ノ權ヲ有シ候哉
第三條 借地ニ建テアル建物ヲ他ヘ書入質又ハ賣渡ヲ爲サントスルニ地主ニ於テ借地料延滞ヲ名トシ之カ貸地タルヲ證スルノ與書ヲ拒ムヲ得ヘキ哉
第四條 甲ヨリ乙ヘ建物ヲ書入質トシ定約期限中右地所ヲ丙ヘ賣渡スルハ囊ニ甲ヨリ乙ヘ差入タル證書ヘ新タニ丙ノ與書ヲ爲サシメ而シテ戶長役場ノ書入質記載帳ニ割印ヲ爲スヘキヤ又ハ仮分丙ニ於テ新タニ與書ヲ爲サシムルモ最前甲ヨリ乙ヘ差入タル證書ハ丙ノ與書ナシタルト同一ノ効力ヲ有スヘキ儀ニ候哉
第五條 前條若シ丙ニ於テ新タニ與印スヘキモノナル時ハ已ニ建物書入質約定期限經過スルモ尙與書スヘキ儀ニ候哉
○指令 十七年五月十日

書面伺之趣左ノ通可心得事

内務省

五百九十五

五一内

同指令

內務省

五百九十六

六一内

レハ差押フ可カラス又地主へ納ムヘキ小作米金ヲ見積チ以テ引去ルヘキモノニアラス
第二條 地主ハ作物ニ對シ先取權チ有スルモノトス
第三條 以下事實ニ就キ伺出ヘシ

○開業醫取扱方之儀ニ付福岡縣伺

十七年二月十九日

本年御省乙第四號ヲ以テ從前府縣廳ニ於テ下附タル醫術開業證ヲ所持ノ者ハ今般御省
免證授與相成旨被相達候ニ付テハ追テ右免證下附ノ上ハ縣設醫師規則等改正ノ都合モ有
之處左記ノ件々疑團チ生候條條々相伺候

第一項 縣限リ開業證ヲ下附シタル從來醫師他縣へ轉籍寄留ノ際ハ明治十二年內務省乙
第拾壹號達ニ基キ添書證明致來ル處本年同省乙第四號ニ基キ追テ開業證下與ノ上ハ他
府縣轉籍寄留共甲乙府縣へ届出ルノミニテ別段添書ニ不及即十二年同省乙第拾壹號達
ハ此時ニ於テ消滅候儀ト心得可然哉

第二項 明治十五年內務省乙第拾四號達ニ基キ縣限リ醫術開業證ヲ下附シタル醫師ハ追
テ開業證下與ノ後ト雖ヒ轉籍寄留ノ際ハ府縣互ニ該達ニ基キ開業ナシタル者ナル事チ
通報スルニ非ラサレハ相續權チ失ヒ又ハ養子ニシテ離縁ノ節其開業チ差止タルノ制規
チ履行スルニ障礙アルチ以テ今後尙添書ヲ要スル儀ト心得可然哉

第三項 種痘術ノ儀ハ明治九年內務省甲第八號布達第一條第二條ノ明文有之ヲ以テ縣限
リノ醫術開業證ヲ所持スル者ニシテ該術ヲ爲サント欲スル者ハ總テ別ニ免許證ヲ下附
シ來ル處本年內務省乙第四號ニ基キ追テ開業免證下與ノ上ハ該布達 明治九年內務 第一
條但書ニ明文モ有之別ニ種痘術免許證下付無之則該術チ施行セント欲スル者ハ其旨地
方廳へ届出候儀ト心得可然哉

第四項 諸官廳 陸軍又ハ集治 監或ハ鑛山局へ奉職ノ者ニシテ履歷ニ據リ醫術開業免許證ヲ得タル者ハ

七一内

同指令

內務省

百五九十七

其身ノ職務ニ在ルニ拘ハラヌ開業證ニ對シテハ一般醫師ト同視スヘキ者ニ付地方廳ノ
醫師名簿ニ登記シ其出入ニ際シ之ヲ加除スルハ當然ノ事ト推思候處職務上甲ヨリ乙ニ
轉スル等實ニ頻數ニシテ多シハ其届出チ爲サス名簿錯雜明瞭ナラス右等ハ其身分ニ於
テハ地方廳ノ管スル所ニ無之モ醫術開業證ニ對シテハ其去來等地方廳ノ制規チ遵守セ
シムル義ニ候哉 將々別ニ其心得チ示達セラル、義ニ候哉

第五項 本年內務省乙第四號達ニ基キ追テ開業免證下與ノ上ハ醫師タル者ハ總テ同省ノ
免證ヲ所持セシニ其種類各異ナリ則定期ノ試験ヲ經ルモノアリ履歷ニ據ル者アリ從來
ノモノアリ明治十五年同省乙第拾四號達ニ基ク者アリ然ルニ今般同種ノ免證チ下附ア
ルモノトセハ定期試験ヲ經タル者ト否ラサル者等他日錯雜混同シ醫師チ採撰スル等ノ
事アルニ臨ミ識別ニ苦ミ或ハ障礙可有之依テハ追テ下付ノ免證ハ其分別明記相成儀ニ
候哉

○指令 十七年五月廿九日

第一項 第三項 第五項 伺之通
第二項 今年乾衛第貳〇四號訓示ニ依リ別段添書ヲ要スルニ及ハス
第四項 一般人民チ治療スル者ハ前段伺之通

○賭博犯者報告表記載方ニ付廣島縣伺

十七年五月五日

茲ニ賭博犯處分未濟前月ノ殘件五件人員二十五人アリ其四件二十八人ハ處斷シテ其一
件人員五人ハ逃走セシニ之ヲ製表スルニ方リ其逃走五人ハ第三十四表賭博犯件數及ヒ人
員ノ未決欄内へ件數人員チ記入スルモノナリヤ果シテ然リトセハ内一件ト人員五名ハ云
々ト附記スヘキ儀ニ候哉

○指令 十七年六月五日

書面伺之通

縣内へ將遊人買入者ハ其ノ果モマモ...

○大藏省指令

○船稅賦課ノ儀ニ付滋賀縣伺

十六年八月七日

本縣下琵琶湖ハ其周圍五十九里南北十五里二十七町東西平均五里強ニシテ該湖ニ用ル船ハ湖上ノ外他ニ通スルヲ得ス畢竟海灣内ノ小廻ニ均シキモラナレハ總テ該湖ニ用ル日本形船ハ小廻船トシテ課稅然ルヘキヤ固ヨリ海灣ノ灣内ニ使用スルモノト回漕トノ區分ノ如ク判然タル區別不相立モノニ有之候條右邊御洞察至急御指令被下度又右ノ如キ湖上一途ノ使用船ニテモ回漕ト小廻トノ區分ヲ要スル御旨趣ニ候ハ其區分方詳細御指前被下度此段相伺候也

○指令(電報) 十六年十二月十三日
琵琶湖内ノ日本形回漕船ハ都テ小廻船トシテ課稅スヘシ

○車稅ノ儀ニ付靜岡縣伺
十六年十二月十三日
消防器械ヲ運搬スルニ車ヲ用フルトキハ瞬間ニシテ相違シ頗ル便益ヲ與フル具ニ付平素準備非常ノ時ニ限リ使用致度旨願出ルトキハ稅則中據ルヘキナシト雖モ特ニ免稅致シ然ルヘキヤ此段相伺候也

○指令 十六年十二月廿四日
但免稅ノ檢印ヲ押捺スヘシ

○煙草稅則取扱方ニ付長野縣伺
十六年十二月十八日
第一條ニ煙草製造人ニシテ仲買又ハ小賣人ノ賣子トナルヲ得ヘキ哉果シテ然ラハ自己ノ販賣品ト賣親ハ小賣人ヨリ附托セラレタル販賣品トシ併帶出賣スルモ苦シカラズヤ

大藏省 五百九十九

二大

第二條 前條ノ雇人タルノ資格ト自己本分ノ職業トヲ混スルモノナレハ差許サ、ル可
キヤ若シ差許サ、ルモノトスルモ一家族中甲乙貳人ノモノ製造ト小賣ト一業ツ、鑑
札申受ケ甲乙ノ賣子トナリ乙ハ甲ノ賣子トナラシコト出願スルモ許可スヘカラサル
ヤ

○指令 十七年一月十五日

第一條 出賣ハ自己又ハ家族雇人ニ限ル儀ニ付製造人ニシテ仲買小賣人ノ爲メニ出賣ス
ルハ相成ラス

第二條 一家族中甲乙ノ者各一業ツ、願受ルニ於テハ互ニ其賣子トナルモ苦シカラス

○官沒器械運搬費等支出ノ儀ニ付熊本縣伺 十六年十二月十二日

租税不納者處分ノ未官沒ニ歸シタル財産ノ内酒造器械ノ如キ巨大ノモノハ縣廳ニ於テ之
ヲ藏置スヘキ適用ノ倉庫無之ヲ以不納者本人ノ倉庫又ハ近傍明藏等ヲ借請取圍置時宜見
計入札拂致來候處右運搬費及藏置費人給料等ハ本廳經費ヨリ支消スヘキ哉又ハ國稅徵
收費額ノ内ヲ以支辨スヘキ哉決兼候條何分ノ御指令相成度候也

○指令 十六年十二月廿五日

伺ノ趣前段ノ通り可相心得事

○自家用料酒廢棄ノ儀ニ付山形縣伺 十六年十二月十八日

自家用料酒類非常(風水火震)ノ災害或ハ腐敗ニ罹リタル石數其期中代料トシテ再ヒ製造
スルヲ得ヘキヤ將タ過誤ニ出ル流失業損ニ屬スル分ハ前文ニ據ラサルヤ右ハ目下調査上
疑似ニ涉リ候條至急御指揮相成度候也

○指令 十七年一月九日

但非常災害ノ實況及ヒ腐敗酒トモ検査ヲ受ケシムヘシ

三大

○證券印稅規則中帳簿ノ儀ニ付静岡縣伺 十七年一月廿八日

金高記載アル封金ノ儘受取タルモノハ第一類金錢判取帳ニ記載セシムヘキヤ検査ノ際貼
用印紙ヘ他ノ印章ヲ以テ調印シアルモハ後來ヲ戒メ更ニ實印ヲ押サシムヘキヤ

○指令 十七年一月廿九日

前段金高記載アル封金ノ儘受取ルモノハ物品請取證ト承認メ荷物判取帳ニ記載セシムヘ
シ後段申出ノ通

○酢造業者ノ儀ニ付京都府伺 十七年一月廿九日

第一條 酢造業者酢元ニ供スル爲メ酒類製造スル者ハ酒造場一ヶ所毎ニ免許鑑札ヲ下
付スヘキ儀ニ有之哉果シテ然ラハ該鑑札ハ府廳ニ於テ國稅徵收費ノ内ヲ以テ調製シ下
付シ可然哉

第二條 前條酒類造石税ハ第一類相當課税シ可然哉

第三條 酢元ニ供スル酒類製造スル者酢製成ノ上届出シハ聞置候迄ニテ其石數ノ検査
ヲ要スルニ不及儀ト相心得可然哉

第四條 酒造業人ヨリ検査濟腐敗酒 造石税 買入酢元酒類ニ活用スル場合ニ於テハ其石
數ヲ査定シ課税致シ可然哉

○指令 十七年二月十三日

第一條 前段申出ノ通後段鑑札ノ義ハ酒造免許鑑札ニ酢元用ノ三字ヲ冠ラセ下付スヘシ

第二條 酒造稅則第二條中各類別ニ據リ課税スヘシ

第三條 申出ノ通

第四條 課税ノ限ニアラス
但其腐敗酒ヲ燒酎等ニ變製シ酢造元ニ供スルモノハ此限ニアラス

四大

○漂流ノ訴訟文通用罽紙拾揚ノ儀ニ付和歌山縣伺

十六年十一月八日

第一條 訴訟用罽紙ト雖モ其拾揚人ハ内國難破船及漂流物取扱規則ニ依リ相當保安料給與スヘキ儀ニ候得共該罽紙ハ普通ノ物品ト異ニシテ規則ニ依リ賣下爲取扱候儀ニ付猥リニ八民ニ於テ取扱フヘキモノニ無之且本紙ハ已ニ潮入ト相成廢物ニ屬セシ者ニ有之候就テハ其見積代價ハ如何相立可然哉

第二條 前條用紙ハ仮令漏滯黃龍丸ノ積載品ト推測スルモ現場難破船物ノ保安ニアラスシテ難破ノ當日ヨリ五日ヲ經過シ數里隔絶セル場所ニ於テ拾揚候儀ニ付規則第八條ニ據ラス全ク第三十一條ヲ適用シ可然哉

第三條 前條用紙積載ノ廳又ハ到達スヘキ廳等進テ判然候モ到底正當ノ賣下用ニ不相成モノニ付其廳ニ送達ヲ要セス明治九年四月大藏省乙第三拾六號達ニ準據シ當廳ニ於テ燒却取計可然哉

○指令 十七年二月十四日

伺ノ内國難破船及漂流物取扱規則ニ依ルノ限ニ無之拾揚者ハ其費用ヲ可下渡候條金員取調更ニ可申出事

但第三條現品處分方ノ儀ハ申出ノ通

○證券印稅規則ノ儀ニ付愛媛縣伺

十七年二月卅一日

諸公債證券類ヲ貸借シ期限返却ノ節其借主ヨリ幾許ノ謝金ヲ與フヘキ旨記載アル證文ハ證券印稅規則第二則第一條二類中ノ金錢約定證又トシテ其謝金ノ額ニ應ジ界紙又ハ印紙ヲ用ヒ無謝儀貸借ノ分ハ其證文ニ證書面ノ金額ヲ記入スルモ個ハ證書面ノ金額ヲ轉記シタルマテニテ實際取液ヲ爲スヘキ金額ニアラサルヲ以テ金高記載無之約定證文トシ總テ

○指令 十七年二月廿二日

界紙ヲ用ヒ可然哉但公債證券預リ證文ノ儀モ本文ニ準シ可然哉

○證印稅徵收ノ儀ニ付山形縣伺

十七年三月七日

地所賣買讓與等ニテ地券ハ名面記入ノ儀出願ノ節破損或ハ虫喰等ニテ記入スヘキ様無之場合ニ於テハ直ニ讓受人名面ニ書換相渡賣買ニ係ル證印稅ノ徵收スヘキ哉又ハ目下所有者名面ニ書換ノ儀出願爲致更ニ賣買手續ヲナシ證印稅ハ書換并賣買ニ係ル兩稅ヲ徵收スヘキ儀ニ有之候哉判然タル明文無之依テ聊疑義ヲ生シ候ニ付相伺候也

○指令 十七年三月十八日

○諸稅則違犯者處刑表編纂方ノ儀ニ付靜岡縣伺

十七年二月廿二日

諸稅則違犯者處刑ノ顛末報告ノ儀ニ付本年御省第拾壹號ヲ以テ御達ノ處右ハ租稅主任者ヨリ告發ニ係ルモノハ内本縣内ノ管轄裁判所ニ屬スルモノヲ編纂スヘキ儀ニ候乎又ハ告發者ノ誰ナルヲ問ハス縣内裁判所ニ於テ處分相成候モノハ總テ可及報告儀ニ候哉若シ果シテ然ラハ他ノ告發ニ係ル者ニシテ處刑濟該裁判所ヨリ本縣ニ通牒ノ儀ハ其筋ヨリ各裁判所ニ御達可相成儀ニ候哉又ハ本縣ヨリ豫テ可及照會儀ニ候哉此段併テ相伺候也

○指令 十七年二月廿九日

○堰使用船ノ儀ニ付兵庫縣伺

十七年二月十八日

同ノ趣他ノ告發ニ係ル者ト雖モ總テ報告候儀ト相心得各裁判所ヘハ其縣ヨリ照會可致候事

五大

六天

耕地養水ノ爲メ年々堰キチナスニ深淵ニシテ徒渉スル能ハス止ムヲ得ス船力ヲ藉リ土木ノ運搬ハ素ヨリ船中ニテ其堰キ方チナス船ハ一切他ノ用ニ供セサルモ免稅ノ限ニアラヌ

○指令 十七年二月廿九日

伺之通

○起業公債證書取扱方ノ儀ニ付大坂府伺

十七年三月五日

無記名起業公債證書盜難流焼失ニ係リ所在不明ナル旨管下人民ヨリ届出候節、同條例第五條第二節ニ依リ御省へ御届致來候處中ニハ借金ノ抵當トシテ他人へ相預ケ期限ニ至リ返還セサルヲ以テ返戻方出訴ニ及ヒタル處預リ主失踪所在不明ナル旨ヲ以テ更ニ該證書盜難届出チナス者往々有之仰モ起業公債證書條例第五條第二節盜難云々其未段全消滅云々ト有之ハ其犯人ノ誰タルヲ知ラス且ツ全ク證書顯出セサル場合ニシテ前述預リ主失踪シテ所在不明ナルカ如キハ已ニ所業人ノ誰タルヲ證明シ得ヘキヲ以テ法術ノ處分ヲ仰シヘキモノニシテ御省へ御届出スヘキ限リニ無之儀ト推考致候得共爲念相伺候

○指令 十七年三月廿七日

伺之通

○諸公債證書利賦金下付方ニ付和歌山縣伺

十六年十二月廿五日

一茲ニ瘋癲人アリ所有ノ公債證書利賦金受取方チナサハルヨリ親戚ノ者該病者へ其請求方チ懇示スト雖モ之ヲ肯セズ實印ヲ固有スルヨリ不得止親戚ノ者連署ノ上情實申立請取方申出ルルキハ該金下渡可然哉
一又失踪者アリ踪跡搜索 所有ノ公債證書利金其家族ヨリ家事窮迫ノ事情ヲ申立該金請取方申出ル者ハ事實取糾下付取計可然哉

七大

○指令 十七年三月廿一日

伺之趣兩條共其財產保管者タル家族又ハ親族二人以上連署之ニ戸長ノ與印ヲ爲サシメテ利賦金又ハ元金交付取計フヘキ事

○公債證書ノ利金遞送費其他ノ儀ニ付鳥根縣伺

十七年三月廿四日

一諸公債證書寄留地へ携帶スルモ其携帶届出以前ニ於テ當籤ニ相成タル片寄留地官廳ニテ元利金受取度旨願出ル節ハ願意開届本籍官廳ヨリ元利金寄留地官廳へ回送シ其遞送費ハ官費ヲ以テ支拂可然哉
一諸公債證書賣買讓與ノ節其證券裏面記名調印ノ上届書ト共ニ郵便ニ托シ差出候節其印影ヲ官廳へ取置タル印鑑ト對照スルニ於テハ敢テ不都合モ無之儀被相考候ニ付檢印取計可然哉果シテ然リトセハ其檢印濟ノ證券本人へ下渡スルノ郵便稅ハ官費ヲ以テ支拂可然哉

○指令 十七年四月十四日

伺之趣左之通可相心得事

第一條ハ明治十一年當省乙第五拾七號達ニ準シ官費支辨之儀ト心得ヘシ

第二條 伺之通

○酒造稅則取扱心得書第四十一項ノ儀ニ付福岡縣伺

十七年四月二日

家督相續及ヒ戸主タル者家族ニ酒類免許鑑札讓渡ストキハ稅則取扱心得書第四十一項(造石稅納期以前免許鑑札ヲ賣與讓與シ又ハ廢業スル者ノ檢査濟酒類ニ係リ造石稅ハ其節之ヲ完納セシムヘシ)ノ限外ナルヤ

同指令

大藏省

六百六

○指令 十七年四月九日

代換リニ依リ酒造免許鑑札ヲ書換タルトキハ稅則取扱心得書第四十一項ニ據ルニ及ハス
ト雖モ代換リニアラスシテ家族ニ鑑札讓渡ストキハ四十一項ニ據ルニ依リ心得ヘシ

○稅金不納者取扱方ノ儀ニ付愛媛縣伺 十七年二月一日

第一條 租稅不納者財產公賣處分ノ儀ハ納期翌日ヨリ三十日以内ニ完了スヘキ筈ニ付既
ニ公賣處分決行シタル後稅金完納スルモ公賣處分取消ノ限リニ無之ハ勿論ニ候得共公
賣金ニテ稅額ニ不足ナシタルモノ右期日以内ニ於テ其不足金ヲ完納スルトキハ最前
引揚タル鑑札ヲ返付シ營業繼續爲致可然哉

第二條 同上無財產ノモノハ鑑札引揚ケ營業ヲ停止シ稅金官損拂ノ儀ヲ申稟スル迄ニテ
不納者ニ對シ別段處分ノ手數ハ無之候得共納期翌日ヨリ三十日迄ハ處分中ノモノト見
做シ右期日中ニ於テ稅金完納スルトキハ前條ト同シノ營業繼續爲致可然哉

○指令 十七年三月十四日
第一條 公賣處分決行後ハ仮令處分期限内其欠額ヲ追納スルト雖モ營業繼續セシムル限
リニアラス

第二條 前條ニテ了解スヘシ

○缺下年季及ヒ荒地免租季明之儀ニ付新潟縣伺 十七年三月廿七日

地租條例第十五條ニ開墾地ハ缺下年季明荒地ハ免租年季明ノ翌年分ヨリ更定地價ニ因リ
地租徵收ストアリ仮令ハ十二年ヨリ十六年マテ五ヶ年季ノ缺下地又ハ荒地即チ十七年季
明實地檢分スルニ開墾濟又ハ原地目ニ起返シ得ヘキモノニシテ相當ノ權利アルモ季明翌
年即チ十八年ヨリ徵收スル旨趣ナラヤ又ハ其年季末年ヲ指シタルモノニシテ十七年ヨリ
徵收スル儀ナラヤ

同指令

大藏省

六百七

○指令 十七年四月九日

○郡區役所書記ニ於テ稅則違犯者取調處分ノ儀ニ付京都府伺 十七年四月十一日

明治十六年十二月第四拾三號布告酒造稅則營業稅則賣藥煙草稅則等ニ關シ租稅官吏
ニ於テ犯則アリト認知シ若シハ思料スルトキハ其場所ニ立入り犯則ノ證據取調ノ處分
ヲナスコトヲ得但共官吏ハ主任タルノ證據ヲ攜帶スヘシトアリ右ハ郡區役所租稅取扱主
任ノ書記ニ於テモ同様處分スルヲ得ヘキ儀ニ候哉果シテ然ラハ證據ハ其郡區役所ニテ適
宜調製致サセ該費用ハ國稅徵收費ノ内ヨリ支出致シ然ルヘキ哉

○指令 十七年四月十九日
伺ノ趣郡區書記ヲテ國稅檢査ニ係ル事務爲取扱候儀ハ不相成儀ト可心得事

○紛失公債證書發見ニ付處分大坂府伺 十七年四月九日

紛失無記名起業公債證書百圓券第五號六三八九番壹枚發見セシ趣第一國立銀行大坂支店
ヨリ届出候ニ付取調候處右ハ根元滋賀縣土族松本泰順ノ所有ニ係ル同縣平民村井甚三同
甚一ノ兩名ニ預ケ中甚一ハ去ル十五年八月死亡致シ甚三ハ他出ノ末昨十六年十月中復
歸シタルニ依リ右證書ノ所在相尋候得共不明瞭ナルヨリ遂ニ告示方松本泰順ヨリ同縣ニ
届出則チ客年御省告第百五號ヲ以テ告示相成リタル者ニ有之候然ルニ御省ニ於テ公債證
書ノ取引ヲ停止セラルハ純然タル盜火難流失等ニ罹リ紛失シタル者ノミニテ右等他人
ニ預ケ中預主ノ死亡或ハ失踪ニ依リ證書ノ所在不相分者ノ如キハ人民互相ノ取引ニ任セ
御省ニ於テハ關係無之者ト相見込候得共本件ノ如キハ己ニ御省ニ於テモ告示濟ノ者ニ付
發見ノ上ハ前陳告第百五號及ヒ十四年乙第五拾號達ニヨリ處分スヘキ筈ニハ候得共退テ

○一六
 熟考スルニ該證書ハ松本泰順ヨリ村井甚三全甚一ノ兩名ハ預ケ中去ル十二年十二月同縣平民山村市右衛門ナル者右兩名ノ内(其頃甚三甚一)ノ兩名ハ共同ノ質商ニテ證)ヨリ正當ニ買得シ爾後轉賣シテ目下當府平民高井喜次郎所有致居ル者ニ付之ヲ乙第五拾號達ニ依リ直チニ原所有者者松本泰順ニ交付スルハ甚三甚一穩當ナラサルヤニ推考致疑義ヲ生シ候條何分ノ御指令有之度此段相伺候也
 ○指令 十七年四月三十日 (參考書略ス)

伺之趣其府下平民高井喜次郎所有ノ手續ヲ滋賀縣ニ通知スル迄ニ止メ十四年十一月當省乙第五拾號達ニ據リ復手スヘキ限リニ無之儀ト可相心得因テ參考書類下戻候事
 但證書發見ノ儀ハ告第五三號ヲ以テ告示ニ及候條此旨相心得ヘシ

○一七 正立ノ馬車ニ正立ニ兼用ノモノ課稅ノ儀ニ付東京府伺

十七年四月廿三日

一正立自用馬車壹輛ヲ所有スル者更ニ二正立ノ楫棒ヲ調製檢印ヲ受ケ置キ時宜ニ依リ一正立或ハ二正立ノ用途ニ兼用出願スル者アリ右ハ稅額ノ重キニ就キ壹輛分課稅シ可然哉
 ○指令 十七年四月廿九日

○一八 赴任旅費支給方之儀ニ付宮崎縣伺

十七年三月十二日

鹿兒島縣大島郡書記ヲ本縣屬官ニ採用候ニ付テハ該縣郡書記赴任旅費ハ日當金貳圓ニ有之候ニ付即其日當額ヲ以テ旅費支給スヘキノ處右大島郡ハ遠隔之孤島ニシテ舟楫不便實費内地ニ異ナルノ故ヲ以テ鹿兒島マテ海路往復ニ限リ別紙伺定及明治十一年內務省乙第七拾三號御達ニ依リ管内旅行ト雖トモ管外旅費ヲ以テ支給致シ來候趣然シテ其管外日當ハ金貳圓貳拾五錢ニシテ赴任旅費ニ比シ若干多額ニ有之候ニ付テハ前斷赴任旅費ノ支

給候時ハ鹿兒島往復管内旅行ノ旅費額ヨリ却テ減少致シ事實適當セサル儀ニ付大島郡ヨリ本縣迄右赴任旅費ヲ支給シ尙該郡ヨリ鹿兒島マテ(鹿兒島ハ順路ナリ)其差額ヲ追給シ可然哉
 ○指令 十七年五月三日

○一九 地租條例中疑義ノ儀ニ付埼玉縣伺

十七年三月廿九日

第一條 本年第七號布告地租條例第三條中第二類地(池沼山林原野雜種地)ニ勞費ヲ加ヘ山林原野宅地トナシ斂下年期ヲ要セサルモノハ地目變換ト同視シテ取扱然ルヘキヤ

第二條 同上第十三條ニ有租地ヲ公立學校地鄉村地墳墓地トナストキ其地租ハ許可ヲ得シ月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免ストアリ右ハ民有地ノ變換ヲ指シタルモノニテ民有地

ヲ官へ買上ケ又ハ官有地ヲ拂下ケタル收稅除稅區分ノ儀ハ十年第拾八號布告第一條(民有地ヲ買上ル時其年分ノ稅ハ買上タル前月分迄月割ヲ以テ收入スヘシ)

第二條 (官有地ヲ拂下ル時其年分ノ稅ハ拂下タル翌月分ヨリ月割ヲ以テ收入スヘシ)ニ準據取扱然ルヘキヤ

第三條 同第二十一條ニ免租年期明ニ至リ其地ノ現況原地價ニ復シ難キモノハ十年以内七割以下ノ低稅年期ヲ定メ云々トアリ例ハ原收稅壹石ノモノ七斗ノ收稅ニ起返ルト

キハ之ヲ七割低價トシ壹斗ニ起返ルトキハ一割ト稱スヘキヤ

第四條 同第二十二條ニ低價年期明ニ至リ尙原地價ニ復シ難キモノ及免租年期明ニ至リ原地目ニ復セス他ノ地目ニ變スルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價ヲ定ムトアリ然ルニ免

租年期中持主ノ便宜ニ因リ宅地トナスモノハ十年地租改正事務局御省連署乙第六號達第四條(荒地免稅年季中宅地トナスモノハ宅地トナリタル翌年ヨリ該宅地相當ノ地價

同指令

大藏省

六百十

○ 指定ノ課税スヘシ但池沼成沼成等ノ荒地ヲ埋堆シ宅地トナスカ如キ非常ノ勞費アルモノハ同ヲ經テ其年季中免稅ニ據置ヘキモノトスニ照準取扱然ルヘキヤ

○ 指令 十七年五月五日
第一條 鐵下年期ヲ要セサル者ト雖モ開墾トス地租ハ其翌年分ヨリ更定地價ニ據リ徵收スヘシ

第二條 申出之通
第三條 七割以下ノ低價年期ヲ定ムトハ原地價ヨリ七割以內ヲ減シタル低價年期ヲ定ムヘキ者トス

第四條 免租年期中持主ノ便宜ニ因リ宅地トナス者ト雖モ條例第二十二條ニ據リ處分スヘシ

但十年地租改正事務局連署當省乙第六號達ハ消滅ス

○ 証印稅徵收方ノ儀ニ付兵庫縣伺 十七年四月廿三日

日主死亡跡甲家督相續シ地券書換ノ後乙其相續ヲ不當ナリトシ出訴裁判ノ末乙相續人ニ確定シ地券書換出願セハ普通代替讓與ノ例ニ據リ印稅徵收シ然ルヘキヤ又ハ甲相續ノ際相當ノ手續ヲ經テ書換タル地券ナルニ其後彼我ノ争ヒヨリ得タルヲ以テ親族讓與ノ例ニ據リ印稅徵收シ然ルヘキヤ

○ 指令 十七年五月五日
前段申出ノ通

○ 新造ノ免稅船証票ノ儀ニ付山口縣伺 十七年四月廿一日

他管下ノ者本縣下ニ於テ免稅船ヲ新造シ其定額場迄歸港ノ節ハ假艦札下付スヘキ限ニ非スヤ然ルハ証票ナリ管理上不都合ニ付假艦札付與セサル旨ノ證書ヲ下渡シ然ルヘキヤ

○ 指令 十七年五月六日

同ノ通

○ 訴訟用野紙代金徵收期限ノ儀ニ付愛媛縣伺 十七年四月廿五日

受恩典者ニテ既ニ賣捌キタル訴訟用野紙代金ハ手續第四條(印紙類代金ハ其下渡ヲ乞フ時三分ノ一ヲ納メ其餘ハ左ノ期限ニ從ヒ納ムヘシ第一期三月廿八日限第二期五月三十一日限第三期八月三十一日限第四期十一月三十日限ノ期限ニ隨ヒ徵收シ然ルヘキヤ

○ 指令 十七年五月七日
伺ノ通但納期七月已降ニ涉ルモノハ十一年當省乙第五拾九號達ニ據リ舊稅追納ノ名義ヲ以テ上納スヘシ

○ 地目變換地及ヒ開墾地取扱方ノ儀ニ付岐阜縣伺

十七年三月廿四日

本年三月第七號布告地租條例第三條第一類地(田畑郡村宅地市街宅地田礦泉地)ヲ第二類地(池沼山林原野雜種地)ニ第二類地ヲ第一類地ニ爲スモ鐵下年季ヲ請ハサルモノハ同第十條ニ準シ爲届出可然哉

○ 指令 十七年五月十三日
第一類地ヲ第二類地ト爲スハ相成ラス第二類地ヲ開墾セントスルモノハ潭テ地租條例第十六條前段(開墾ヲ爲サントスルモノハ地方廳ノ許可ヲ受クヘシ)ニ據ルヘシ鐵下年季ヲ要セサルモノハ開墾ノ翌年ヨリ地價修正スヘシ

○ 印紙賣捌許否區分ノ儀ニ付靜岡縣伺

十七年六月三日

印紙賣捌規程第三條(第一條ノ資格ヲ有スル出願者第二條ノ定員ニ滿タサルハ一般陸軍恩給令海軍恩給令巡查看守給助例ニ依リ恩典ヲ受クル者ヲ以テ之ニ充ツヘシ)ハ現ニ恩典ヲ受ケ居ル者ニ限ルヤ又ハ既ニ一時ノ恩典ヲ受ケタル者モ包含スルヤ

同指令

大藏省

六百十一

四一大

○指令 十七年六月十日
現ニ恩典ヲ受ケ居ルモノニ限ルヘシ

○米穀借用證文ニ印紙貼用ノ儀ニ付島根縣伺 十七年六月六日
米穀借用證文ハ證券印稅規則第一類相當印紙ヲ貼用スヘキ哉

○指令 十七年六月十七日
新稅則實施後ハ金高記載ナクシテ第一類記載アレハ第二類相當ノ印紙ヲ貼用スヘキ儀ト心得ヘシ

○府縣委託勸業資本精算之儀ニ付福島縣伺 十七年三月卅一日
本月一日付大藏省第拾六號ヲ以テ府縣委託勸業資本精算申報可致旨御達書雜形中判明難致疑義ノ際左ニ相伺候

第一條 勸業委託金ハ其種實數口アリト雖モ該雜形中元高ニ金種區分無之ニ付テハ常ニ其取扱ハ混一ニシ收支致候テ差支無之候哉

第二條 元高此譯第五項ニ舊公債證書額面ニ屬スル賦金有之候ニ付テハ最初ノ買入代價重復候様被存候ニ付右原價即チ買入元金ハ仕拂高ノ内ニ於テ舊公債證書賦金ニ對スル原價ヲ拂ニ相立計算候儀ト相心得可然哉

第三條 資本總額翌年度ニ越高ノ項内金公債證書トアリテ朱書内譯ニ其種實ヲ類別列記スヘシトアルハ公債證書ニ對スル原價ノ内譯ト相心得可然哉

第四條 前條ニ反シ内譯朱書ハ資本總額之内譯ニモ候ハ、各金實ニヨリ收支取扱候ハ勿論利子等ノ收入モ總テ其種類ニヨリ區分シ置キ該内譯ニ積算シテ報告可致儀ニ可有之哉

○指令 十七年六月十一日
伺之趣左ノ通可相心得事

五一大

第一條 伺之通尤帳簿ニハ金種類區分シ置ヘシ

第二條 元高此譯第五項ハ賦金ニ該當スル元價ヲ現金ニ組入候儀ニ付全ク差増金而已チ記載シ其額面ノ増減ハ雜形ニ據ルヘシ但現金ノ項ヘモ右ニ準シ其増減ヲ記駐スヘシ

第三條 資本總額ノ内譯ト心得ヘシ

第四條 前條々ノ指令ニ依リ了解スヘシ

但利子ハ種類ニ據リ算出區分スヘシ

○荒地年季中宅地成ノ儀ニ付三重縣伺 十七年六月十二日
荒地年季中宅地トナリタルモノハ翌年ヨリ收稅ノ儀ト心得可然哉

○指令 十七年三月十九日
地租條例第二十二條ニ據リ年期中ハ地價修正ニ及ハス

○海員雇入止手數料及費用之儀ニ付島根縣伺 十六年十二月廿八日
本月太政官達第六拾三號ヲ以テ海員雇入止手數料及其費用之儀御達相成候處右ハ收支共其都度可取計候哉又ハ三ヶ月給ニシテ不苦候哉

○指令 十七年六月十七日
伺之趣海員雇入止手數料ノ義ハ其都度上納可取計同費用之義ハ其都度當省ニ可申出儀ト可相心得候事

但支拂科目ノ義ハ其縣經費雜件中「海員雇入檢査費」ノ細科目ヲ設ケ勘定整理可致收入科目ハ本年當省第拾貳號達ノ通り心得ヘシ

○愛媛縣ヨリ訴訟用野紙代金徵收期限ノ伺ニ付去月七日指令（官報第貳百五拾九號伺指令欄内掲載）ニ對シ「從前許可ノ賣捌人ハ總ヘテ五月三十一日ヲ限リ本年當省第貳拾九號

六一大

達第十項ニ據リ處分シ同年度既納金ハ其ノ應ニ於テ下戻シ未納金ハ一時徴收スヘキ旨ヲ去ル六日更ニ該縣ニ達シタリ

(參照)訴訟用野紙代金徴收期限ノ儀ニ付伺

十七年四月廿五日

受恩典者ニテ既ニ賣却キタル訴訟用野紙代金ハ手續第四條(印紙類代金ハ其下渡ヲ乞フ時三分ノ一ヲ納メ其餘ハ左ノ期限ニ從ヒ納ムヘシ第一期二月廿八日限第二期五月三十一日限第三期八月三十一日限第四期十一月三十日限)ノ期限ニ隨ヒ徴收シ然ルヘキ

○指令 十七年五月七日

伺ノ通但納期七月已降ニ涉ルモノハ十二年當省乙第五拾九號達ニ據リ舊稅追納ノ名義ヲ以テ上納スヘシ

○陸軍省指令

十六年十二月廿五日

○福島縣ヨリ伺(電報)

徴兵志願ノ者檢査場ニ往復旅費日當給與致シ可然哉御指揮ヲ仰シ

○指令(電報) 十七年一月十日

徴兵志願ノ者檢査場往復旅費日當檢査合格者ニ限リ支給スヘシ

○改正徴兵令第二十二條第七項ニ付千葉縣伺 十七年一月十一日

改正徴兵令第二十二條第七項ハ改正前後ノ區別ナキヤ若區別ナシトセハ十二年十月廿七日以前ニ溯ルヤ

○指令 十七年一月十五日

本月十一日電報改正徴兵令第二十二條七項ハ改正前後ノ區別ナキヤ云々伺ノ儀伺之通十七年一月以後二十歳トナル者總テ新令ニ據リ處分スル儀ト心得ヘシ

○徴兵免役料ノ儀ニ付埼玉縣伺 十七年一月十二日

徴兵令改正ニ付客年十二月御省達甲第四拾四號御達之趣モ有之候處昨十六年適齡則チ本年

ニ於テ徴集スヘキ者シ中家事ノ都合ニ依リ免役料上納國民軍ノ外免役出願致度旨申出候者有之右ハ新令御發令後ニ罹ルト雖モ舊令ニ依リ徴集セラルヘキ者ナレハ舊令第六十五條ノ手續ヲ以テ出願致候ハ御採用可相成哉至急何分ノ御指揮相仰候也

○指令 十七年一月十九日

伺之通

○十七年徴集適齡者取扱方ノ儀ニ付栃木縣伺 十七年一月十四日

昨十六年太政官第四拾六號改正徴兵令御布告相成候處同年御省甲第四拾四號ヲ以テ十七

年徵集ス可キ者ハ舊令ニ依リ徵集致シ新令第十條其他各條ニ當ル事項ハ十八年徵集ス可キ者ヨリ實施致候儀云々御達相成候ニ付テハ本年即チ十七年徵集適齡者除役免役及猶豫等ハ勿論諸名簿整理後檢査時限中ニ係ル徵員身上異同ノ處分並ニ免役料上納願等ニ至ル迄總テ舊令ニ依リ取扱候儀ト相心得可然哉

○指令 十七年一月廿二日

○徵兵令改正ニ付猶豫徵集ノ區分ノ儀ニ付大坂府伺

十七年一月廿一日

今般徵兵令改正ニ付猶豫徵集ノ區分ハ發令ノ日ヲ以テ分界トシ舊令ハ新舊令ヲ對照シ舊令ニテ免役ニ相當スル戸主新令ニテ徵集部分ニ入ルモ廿八日以前ニ係ル者ハ新令第十七條第五項ニ依リ猶豫ニ屬スヘキヤ無論ト存候得共爲念相伺候ニ付至急電報ニテ御指令アリ

○指令 十七年一月廿四日

去ル廿一日電報徵兵令改正ニ付猶豫徵集ノ區分伺右ハ十七年一月以後滿二十歳トナル者ヨリ新令ヲ適用スルヲ以テ假令舊令ニテ免役ニ相當スル戸主ト雖モ新令ニテ徵集部分ニ入ル者ハ發令ノ前後ヲ論セズ徵集スヘキ儀ト心得ヘシ

○徵兵檢査時限ノ儀ニ付岡山縣伺

十七年一月十六日

今般御省達甲第壹號ヲ以テ徵兵使巡行期限之儀御達相成候ニ付テハ舊徵兵令第三十二條第三十四條ニ揭示有之檢査時限ハ六月十日ヲ以テ區分相立候儀ト相心得可然哉

○指令 十七年一月廿六日

○徵發物件表中人口ノ儀ニ付大坂府伺

十七年一月十四日

徵發物件表中ノ人口ハ本籍人ノミナ記載スヘキ哉又ハ他府縣ヨリ寄留ノ者ヲ加ヘ他府縣へ寄留ノ者ハ除クヘキ哉

○指令 十七年一月十六日

徵發物件表中人口伺ノ件ハ本籍寄留ヲ問ハス其町村内ニ現在スル者ノ數ヲ記載スヘシ

○常備兵家事故障ニ由リ歸休免役等出願ノ者取扱之件ニ付德島縣伺

十七年一月廿八日

常備在營中家計ニ止ムヲ得サル事故ヲ生シ歸休又ハ免役ヲ出願ノ者取扱方徵兵令改正後モ舊徵兵事務條例第百二十一條ノ手續ニ準シ取扱可然哉電信ヲ以テ御指揮ヲ乞フ

○指令(電報) 十七年二月四日

去月二十八日電報常備兵在營中家事故障ニ由リ歸休又ハ免役出願ノ者取扱伺之儀伺之通

○徵兵令ノ儀ニ付岡山縣伺(電報)

十七年一月廿八日

改正徵兵令第十七條第三項ニ養子養孫ハ含蓄セサルヤ若含蓄セサルハ相續人ハ如何心得ヘキヤ且同令改正前戸主トナル者ハ父六十歳未滿ナルモ猶豫ニ屬スルヤ併セテ御指揮アリ

○指令(電報) 十七年二月六日

去月廿八日電報伺前段改正徵兵令十七條三項ハ養嗣子養承祖ノ孫モ含蓄ス中段相續人ハ猶豫ニ屬セス後段十七年一月以後滿二十歳トナル者ハ戸主トナルノ日改正前後ヲ問ハス總テ新令ニ據リ處分スル儀ト心得ヘシ

○陸軍結婚條例ノ儀ニ付東京府伺

十七年三月十九日

陸軍々人結婚之儀ハ該條例ニ據リ許可ヲ不得ハ舉行難相成等ノ處茲ニ尋常結婚ノ例ニ依

同指令

陸軍省

六百十八

リ妻ノ送籍ヲナスモノアリ各區役所戸長役場ニ於テハ其配偶者ノ軍人タルト否トヲ知ルニ由ナク既ニ送籍ヲナシ後軍人タルヲ以テ該條例ニ依リ身元證書ヲ請フ者有之然ルニ軍人ハ將官及同等官ニ在テハ勅許ヲ仰キ准士官以上ニ在テハ陸軍卿ノ許可ヲ請ケ下士以下ニ在テハ所管長官ノ許可ヲ請ケサレハ結婚不相成儀ニ付當初軍人タルヲ告ケス夫妻ノ送入籍ヲ申出タルハ素ヨリ順序ニ違フタル者ニ付其結婚送入籍ハ無効ノモノトシ更ニ允許ヲ乞ハシメ可然哉

○指令 十七年四月十日

同之趣陸軍々人タルモノ武官結婚條例ニ依ラスシテ結婚スヘキ筈無之萬一有之ニ於テハ其結婚無効ニ屬スルハ勿論之儀ト可相心得候事

但本文ノ如キ者有之候ヘハ官姓名取調可申出候事

○岩手縣伺(電報)

十七年四月廿三日

先入兵相當ノ者檢査ニ先タチ札幌縣下ヘ轉籍スルルキハ舊住地ニ呼ヒ戻シ檢査スヘキヤ將

タ免役ニ屬スルヤ宜ク御指揮ヲ乞フ

○指令(電報) 十七年五月十六日

客月廿三日電報同先入兵ニテ札幌縣下ヘ轉籍ノ者ハ最寄徵兵施行ノ府縣ニ於テ徵集スヘキ儀ト心得ヘシ

○海軍省指令

○徵發ノ儀ニ付新瀉縣伺

十六年九月八日

茲ニ甲乙間ヲ往復スル漁船アリ本社ヲ甲地ニ置キ乗客取扱所ヲ乙地ニ置ク若平時乙地ニ於テ之ヲ徵發セントスルルキハ徵發事務條例第八條ニ據リ取扱所ヘ課セラレ候儀ニ候哉

○指令 十七年一月廿二日

同之通

○徵發令第十二條六項船舶ノ儀ニ付新瀉縣伺 十七年一月九日

徵發令第十二條第六項ノ船舶並同事務條例附錄第五號ノ貳日本形船舶表ニハ農家ニ於テ耕作一途ニ用フル船舶モ含有候哉

○指令 十七年一月廿二日

同ノ趣徵發令第十二條第六項並同事務條例附錄第五號ノ貳ノ船舶表ニハ含有不致事

○徵發事務條例第二十五條ニ依リ船舶取調ノ儀ニ付靜岡縣伺

十六年九月十一日

徵發事務條例第廿五條ニ依リ戸長ニ於テ取調ヲ要スル船舶ノ儀ハ其所有者甲村ニアリト雖モ乙村ヲ定繫場ト定ムルモノ有之依テ所有者アル甲村ニ於テ取調フルルキハ船舶ノ現在ニ非スシテ所有者ノ現在ニ似タリ實際ノ便ヲ得ルヲ能ハス徵發令第五條ニ徵發スヘキモノハ徵發區内ニ現在スルモノニ限ルトアリ依之考フレハ該取調ノ儀ハ船舶ノ現在定繫場ノ町村ニ於テ取調候義ト相心得可然哉

○指令 十七年一月廿二日

同之通

○船舶ノ儀ニ付廣島縣伺

十六年十二月廿八日

同指令

海軍省

六百十九

同指令

海軍省

六百二十一

今般海軍省乙第拾三號ヲ以テ曾テ海軍服役ノ者ニシテ現今各管下人民所有之船舶ニ乘組居ル者取調方御達相成候處右船舶ニ乘組居ル者トハ何船又ハ磯石積以上ノ區別有之儀ニ候哉又ハ何船ヲ論セヌ一時乘組者ト雖モ悉皆取調ヲ要スル儀ニ候哉將々但書自今乘組者三ヶ月經テ取調ナル儀ニ候得ハ届出後廢業スル者モ爲届出候儀ト相心得可然哉

○指令 十七年一月廿四日

書面乘組者取調ノ儀ハ何船タルヲ論セサル儀ト相心得其廢業者届出ノ儀ハ伺之通

○海軍下士兵卒等旅行中死亡之節取扱方ノ儀ニ付滋賀縣伺

十六年十一月廿二日

第一條 明治十五年第四拾九號公布ヲ以テ旅行旅人死亡取扱規則被定候處海軍下士兵卒等ニテ單身旅行中死亡スルモノ有之キハ總テ該規則ニ準シ可取扱ハ勿論ノ義ト相考候得共其死体引渡方及入費償却方ノ儀ハ滿後歸郷等ノモノニ在テハ右規則第二條ニ依リ本籍戸長へ照會セシメ其他ノ者ハ東海鎮守府へ照會シ可然哉

第二條 前條果シテ然ラハ埋葬其他ノ費用 食料、藥價、醫助診斷ハ東海鎮守府ヨリ悉皆償却相成ル義手或ハ其幾分ヲ償却相成ル儀ニ候哉果シテ然ルハ其不足分ハ家元ヨリ償却爲致可然哉

第三條 本年三月二日付ヲ以テ内務卿ヨリ行旅人ニシテ重症飢餓等ニ迫マリ目下難擱モノハ適宜救護ヲ加ヘ右ニ屬スル費用ハ自辨タルヘシ若シ本人又家元赤貧ニシテ辨償スル能ハサルハ地方稅教育費 無籍者ハ救護地有テ以テ支拂ヘキ旨達有之候ニ付テハ下士兵卒等ニシテ萬一右等ノ場合ニ於テハ一時救護ヲ加ヘ其費用償却ノ義ハ滿後歸郷等ノモノヲ除キ其他ノ者ハ東海鎮守府へ照會セハ該費悉皆償却相成候儀ニ候哉又ハ本人資力限リ追徴シ尙不足スルハ其家元ヨリ辨償爲致候義ニ有之候哉

第四條

下士兵卒等單身旅行中盜難ニ罹リ亦ハ旅費金遺失等ニテ歸途 滿後歸郷等ノ差關ル旨ヲ以テ救護方申出候モノ有之キハ事實取調相違無之ニ於テハ衣服ナキモノハ衣服購求費宿泊ヲ要スルモノハ其宿泊料繰替貸與シ可然哉

○指令 十七年一月廿四日

伺之趣左ノ通可相心得事

第一條 在職ノ下士卒旅行中死亡スル者有之其死骸引渡方ノ義ハ直ニ東海鎮守府へ照會スヘキ義ト心得ヘシ

但親戚故舊ヨリ死骸引取方出願スルハ下士金拾五圓卒金拾圓ヲ埋葬料トシテ下付スヘクニ付該金額ハ同府ヨリ受取ルヘシ

第二條 前條ニ於ケル埋葬料其他ノ費用ハ前段伺之通東海鎮守府ニ於テ處辨スヘクニ付該費目ヲ區分シ各調書ヲ以テ其都府照會セシムヘキ儀ト心得ヘシ

第三條 前段伺之通

第四條 旅行中盜難又ハ旅費金遺失等ニテ困難ノ者アルハ明治十一年乙第拾號當省達旅行證票規則第三條ニ比準シ事實相違ナキモノハ一時救護ヲ加ヘ其費用ハ前二條ノ通同府へ照會スヘシ

○下士兵卒旅行中一時救護ノ儀ニ付茨城縣伺

十六年十二月十九日

海軍下士兵卒ニシテ單身旅行中重症飢餓等ニ迫リ一時ノ救護又ハ仮埋葬セシ者引渡方及諸費ノ儀本年八月廿五日廣島縣伺ニ對スル御指令ニ據リ其時々東海鎮守府へ照會可致ハ勿論ナレモ右ハ官私(官命ヲ帶フル者或ハ私事ニ出ル者)ノ別ナク之ニ係ル費用ハ悉皆下附セラル、御主趣ニ候哉

○指令 十七年二月十九日

同指令

海軍省

六百二十一

海軍省

六百二十二

四海

書面埋葬費ハ伺ノ通其他ノ費用ハ事故ヲ明記シ更ニ可伺出事

十七年二月十四日

○海業者人口取調之儀ニ付茨城縣伺

第一條 海業者人口ハ本籍寄留ノ別ナク可取調哉

第二條 果シテ前條ノ如ク爲スモノトセハ登記ハ戶籍加除ノ日又ハ寄留出入ノ時キ以テ分界ナ立テ可然哉

第三條 人口届ハ每一人本人姓名ノ右傍ニ戶主名即チ祖父母父母兄弟叔甥ヲ掲ケテ而シテ任所誕生族職業ヲ左記シ事故アルモノハ備考トナシ摘要ヲ可記哉或ハ毎郡ノ人員ヲ小計シ全轄ノ合計表ヲ製シ陸軍兵籍ニ在ルモノハ欄外ニ一畫ヲ設ケ兵種ニ拘ラヌ每郡ノ小計ヲ爲シ而シテ合計人員ヲ掲ケ可然哉

第四條 滿拾七歳ヨリ四拾歳マテノ者ハ國民軍編入ノ者アリ或ハ後備豫備又ハ第一豫備第二豫備徵員ノ如キモノモ各其兵種ヲ別テ可然哉

○指令 十七年二月廿五日

伺之趣左ノ通可相心得事

第一條 第二條 伺之通

第三條 本人姓名其他記載ヲ要セス又現ニ兵役ニ在ル者ハ計上スルニ不及事

第四條 各兵種類區分ニ不及事

○文部省指令

十六年十二月三日

○學務委員薦舉規則ノ儀ニ付青森縣伺

明治十四年五月同濟當縣學務委員薦舉規則中學務委員ノ被薦舉人タルヘキ者ハ年齡二十一年以上ノ男子ニシテ其學區内ニ土地若シハ建物ヲ有シ且ツ本籍ヲ定メテ現ニ居住スルモノト限リ候處村落僻陬ノ地ニ至テハ適當ノ者ヲ得ル甚ダ難ク荷モ其人ヲ得サレハ如何ナル法規ヲ設ケルモ徒法ニ屬シ學事振興ノ途無之候ニ付之レカ制限ヲ擴充シ右規則第一章第一條中現ニ居住ノ下(ナル)戶主及其父兄子弟ニシテ)ノ十三字ヲ挿入致度然ルルハ他學區ニ求メテ其任ニ充ツルヨリハ土地人情素ヨリ懇知ニシテ幹理上得策ナル儀ト存候依テ此段相伺候也

○指令 十六年十二月十七日

書面伺之趣開屆候事

○學務委員事務要項之儀ニ付岐阜縣伺

十六年九月廿一日

明治十四年八月二十七日附ヲ以學務委員事務要項相伺候處今般猶調査ノ上別紙ノ通改定施行致度何分之御指揮有之度此段相伺候也

但本條相伺候付テハ最初之伺書ハ御返附相成度候

學務委員事務要項

學務委員ハ教育令ノ旨趣ヲ奉シ縣令及郡長ノ指揮ニ從ヒ其學區内學務幹理ノ責ニ任シ教育ノ普及上進ヲ圖ルヘシ其事務ノ要項左ノ如シ

第一項 町村立學校幼稚園書籍館等ヲ設置廢止若クハ分離合併スル事

第二項 私立學校幼稚園書籍館等ノ設置廢止若クハ分離合併ヲ調査スル事

伺指令

文部省

六百二十三

一文

同指令

文部省

- 第三項 町村立學校小學校幼稚園書籍館等ノ諸規則ヲ制定若クハ改正スル事
- 第四項 私立學校幼稚園書籍館諸規則ノ制定若クハ改正ヲ調査スル事
- 第五項 町村立私立小學校教則ヲ斟酌スル事
- 第六項 町村立學校及私立小學校教授ノ利害得失ヲ視察スル事
- 第七項 私立學校小學校教旨ノ利害ヲ視察スル事
- 第八項 町村立私立幼稚園書籍館等方法ノ利害ヲ視察スル事
- 第九項 管掌ノ諸帳簿及町村立學校々々舎圖書器械及諸帳簿ヲ整理スル事
- 第十項 私立學校ノ校舍圖書器械及帳簿ヲ檢査スル事
- 第十一項 町村立學校長訓導及進調導ノ任免黜陟ヲ申請スル事
- 第十二項 町村立小學校補助員ノ雇罷ヲ郡長ヘ具申スル事
- 第十三項 町村立私立學校教員志願者及縣立學校生徒志願者等ノ品行履歷ヲ調査スル事
- 第十四項 町村立學校幼稚園書籍館等ノ職員訓導ヲ除クテ進退シ及俸給ヲ定ムル事
- 第十五項 町村立學校幼稚園書籍館等ノ職員勤務能否ヲ視察スル事
- 第十六項 町村立私立學校教員ノ品行ヲ視察スル事
- 第十七項 町村立私立學校幼稚園書籍館等ノ職員生徒等褒賞懲罰ノ件ヲ調査スル事
- 第十八項 學事篤志者ノ賞譽ヲ具申スル事
- 第十九項 學齡兒童ヲ調査シ及其就學ヲ勸諭督責スル事
- 第二十項 貧困兒童就學ノ方法ヲ設ケル事
- 第二十一項 學齡兒童不就學ノ事故理由ヲ監査スル事
- 第二十二項 町村立小學校ニ代用スヘキ私立小學校ヲ調査スル事
- 第二十三項 巡回授業ノ方法ヲ施設スル事

同指令

文部省

- 第廿四項 家庭教育ノ適否ヲ視察スル事
 - 第廿五項 學事ニ關スル町村會ノ議案及議決ヲ調製監査スル事
 - 第廿六項 學區內教育費ノ決算ヲ町村會ヘ報告スル事
 - 第廿七項 學區內教育費ヲ出納スル事
 - 第廿八項 學事ニ關スル町村共有ノ土地建物金穀及物品ヲ管理スル事
 - 第廿九項 町村立學校等ニ關スル寄附金穀物品ヲ領收スル事
 - 第三十項 町村立學校等ニ關スル金錢土地建物等ヲ貸借スル事
 - 第三十一項 町村ノ學事ニ關スル資産ヲ増殖スル方法ヲ施設スル事
 - 第三十二項 町村立學校等ノ移轉又ハ新築修繕及構内ノ地形ヲ變換スル事
 - 第三十三項 私立小學校ノ移轉又ハ新築修繕等ヲ調査スル事
 - 第三十四項 町村立學校敷地下附及免稅ヲ申請スル事
 - 第三十五項 町村立學校幼稚園書籍館等ノ授業料保育料及借覽料ノ收否并ニ金額ヲ定ムル事
 - 第三十六項 學事ニ就キ諮詢若クハ講究ノ爲メ教育會ヲ開設スル事
 - 第三十七項 學事ニ關シ學區內ノ人民ヲ集會スル事
 - 第三十八項 町村立私立學校生徒及學校ニ入ラス普通教育ヲ受ケル學齡兒童ノ試験ヲ監視スル事
 - 第三十九項 學事年報ヲ調製シ及學事ノ狀況ヲ申報シ且ツ學事ニ關スル諸公文ヲ調査スル事
 - 第四十項 學事ニ關シ例規アル諸務ヲ處分スル事
- 指令 十六年十二月廿八日
- 書面伺之通

伺指令

文部省

○督業訓導處務規程ノ儀ニ付佐賀縣伺

十六年十二月十四日

本年八月第拾六號御達ノ分ニ基キ來ル明治十七年一月ヨリ督業訓導貳名ヲ置キ該處務規程別紙之通相定度此段相伺候也

但本文經費ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘシ

佐賀縣督業訓導處務規程

第一條 縣令ノ命ヲ受ケ町村立私立小學校ヲ巡回シテ教授ノ利害得失ヲ監視シ及其改頁ヲ圖ル事

第二條 町村立私立小學校教員等ニ授業法及學校管理法等ヲ講究セシムル事

但此等ノ場合ニ於テハ郡長若シハ學務委員等ト商議シテ數小學校教員等ヲ聚合セシムルコトアルヘシ

第三條 町村立小學校教員等ノ能否勤惰及其品行ヲ監査スル事

第四條 町村立私立小學校生徒ノ學業ヲ監視スル事

第五條 町村立私立小學校生徒ノ試驗ニ監臨シ及其試題ヲ變更スルヲ得ル事

第六條 學校ニ入ラス巡回授業ニ依ラス普通教育ヲ受ケル學齡兒童ノ學業ヲ監査スル事

第七條 郡長若シハ學務委員等ト商議シテ町村立私立數小學校生徒ヲ集メ定期試驗ヲサシメ若シハ臨時其學業試驗スルヲ得ル事

第八條 町村立私立小學校ノ校舍及ヒ圖書器械等ノ整不整ヲ監査シテ益整備改頁セシムル事

第九條 巡回終ルルハ其功程ヲ製シ巡回中視察ノ次第及ヒ着手ノ事項等詳細縣令ニ報告スル事

但至急報告ヲ要スルモノト認ムルコトアルハ其巡回先ヨリ直ニ報告スヘシ

第十條 縣令ノ命ニ依リ小學校教員志願者ノ學力檢定試驗ヲ執行スル事

○指令 十六年十二月廿七日 伺之通

○小學校教員免許狀授與之儀ニ付鹿兒島縣伺 十六年九月廿二日

當縣小學校準教員ノ内年齡十八年以上ニシテ縣内小學校ノ教授ニ從事スルコト小學各等科ノ學期年限ヲ踰ヘ(即高等科八年、中等科六年、初等科三年)且各等科ノ生徒ヲ卒業セシメタル實績アリテ品行端正授業練熟學力優等ト認ムル者ハ試驗ヲ須ヒス左ノ書式ニ準シ特ニ該當ノ教員免許狀ヲ授與致度此旨相伺候也

伺指令

文部省

縣印	氏名
八箇年	年月
右ハ六箇年以上本縣小學校ノ教授ニ從事シ品行端正授業練熟學力優等ニシテ小學校教員ノ任ニ適當スルト認ムルニヨリ試驗ヲ須ヒス鹿兒島縣小學中等科教員タルヲ免許スル者也	籍族
年 號 月 日	鹿兒島縣廳印
番 號	

伺指令

文部省

六百二十八

○指令 十六年十二月廿八日

伺之趣聞届候事

但有効年限ヲ五箇年以内ニ相定メ該證書式ニ掲載ノ上更ニ開申可致事

○校長任免手續之儀ニ付福島縣伺

十六年十二月廿六日

教育令第四十八條町村立學校ノ教員ハ學務委員ノ申請ニ因リ府知事縣令之ヲ任免スヘシト有之町村立學校長之儀ハ別ニ御成規モ不相見候處右ノ教員ト同シク學務委員ノ申請ニ依リ任免スルハ勿論ノ儀トハ存候得共爲念相伺候條電報ヲ以テ御指令相仰候也

○指令(電報) 十七年一月九日

客年十二月廿六日附伺町村立學校長任免手續ノ件ハ伺之通

○教員等兼務之儀ニ付枋木縣伺

十六年十月十三日

公立學校長及教員等ヲシテ私立學校ヲ兼務セシメ私立學校長及教員等ヲシテ公立學校ヲ兼務セシムルニ付テハ別段成規モ無之候得共右ノ學校取締上ニ於テ重要ノ關係モ有之殊ニ公立小學校ノ如キハ府知事縣令ノ指定ニヨリ其學區内ノ學齡子弟ヲ教養スヘキ責任ヲ有スルモノニシテ其管理上最モ鄭重ヲ要スル儀ニ付私立學校ト交渉候ハ不都合之儀ト被存候條於本縣ヲハ彼此兼務セシメサル見込ニ有之右ニテ差支有之間敷哉此段相伺候也

○指令 十六年十二月廿八日

書面伺之通

○學校職員同等之者席次之儀ニ付靜岡縣伺

十六年十一月廿二日

本年太政官第四拾九號ヲ以テ戶長及學校職員ノ席次御定相成候處該職員中準官同等ナル時ハ小學校中學校師範學校農學校ヲ不問總テ拜命之順ニ從ヒ可然哉目下伺出候向有之候ニ付至急御指揮相仰候也

伺指令

文部省

六百二十九

○指令(電報) 十六年十二月廿八日
十一月二十二日附伺准官等同シキ者ノ席次ハ月俸ノ多寡ニ依リ其月俸同シキ者ハ任官ノ前後ニ依ル儀ト心得ヘシ但職異ニシテ准官等同シキ者ハ校長教諭助教諭訓導書記ト順次ニ着席セシムヘシ又縣立學校職員ト町村立學校職員ト職同シク准官等同シキ時ハ縣立學校職員ヲ以テ上席トスヘシ

○指令 十六年十二月廿八日

書面伺之通

(別紙) 法學部別課法學科規則

第一條 別課法學科ハ稍簡易ノ教則ニ據テ教導スルヲ本旨トスルヲ以テ其課程ヲ三週年トス尤該課程ヲ卒リ猶深ク法律ヲ專修セント欲スル者ニハ更ニ一ケ年間特等科ヲ授クルモノトス

第二條 別課法學科ノ課目ハ即チ左ノ如シ

第一年

法學通論 民法 契約法 私犯法

第二年

民法 刑法 治罪法 訴訟法 商法

第三年

民法 刑法 治罪法 訴訟法 商法

同指令

文部省

民法 商法 海上法 證據法 訴訟演習
 第四年 (特等科)
 國法學 行政法 國際法(公法、私法) 古代法律 法理學
 第三條 當科ニ入ルヘキ者ハ年齡十八年以上トス
 第四條 當科ニ入ルヘキ者ハ天然痘又ハ種痘ヲ了ヘ身体壯健ニシテ且ツ左ノ課目ノ試業ニ合格スル者ニ限ル
 但シ洋語ヲ欠カサル高等中學校卒業ノ者ハ試業ヲ要セス其洋語ヲ欠キタル者及初等中學校卒業ノ者ハ洋文ノミノ試業ヲナス
 一 漢文 史記白文訓點 一 洋文 英佛獨語内一語譯讀 一 算術 分數比例
 第五條 入學ヲ願フ者ハ第壹號書式ノ入學願書ニ學業履歷書ヲ添ヘ本學教務課ニ出スヘシ
 第六條 當科ニ入ル者ハ法學部入學在學退學規則第八條ニ準シ第貳號書式ノ在學證書ヲ出スヘシ
 第七條 教科書ハ一切自辨トス
 第八條 受業料ハ法學部學生ト同シ尤貧困ニシテ所定ノ受業料ヲ納付スル能ハサル者ハ願ニ依リ詮議ノ上半額或ハ四半額ノ減額納付ヲ許可シ若クハ全額ノ免除ヲ許可スルコトアルヘシ
 第九條 生徒學級ノ昇降若クハ退學ハ都テ法學部ノ規則ニ準シテ處分スルモノトス
 第十條 卒業ノ節ハ其證書ヲ附與シ又特等科卒業ノ者ニハ更ニ其證書ヲ付與スルモノトス
 第十一條 其他大學ノ諸規則ハ都テ法學部學生ト同シテ遵守スヘシ
 第壹號書式 入學願書

同指令

文部省

拙者備大學法學部別課法學科へ入學志願ニ付學業履歷書相添此段相願候也
 宿所 何府縣族籍(戶主ナラサレハ) 某何男某弟等
 年月日 何 之 誰印 何年何月生
 第貳號書式 在學證書
 拙者儀在學中ハ諸規則堅ク相守リ卒業ニ至ル迄猥リニ退學轉學等仕間敷候仍テ證書如此候也
 宿所 何府縣族籍(戶主ナラサレハ) 某何男或ハ弟等
 年月日 何 之 誰印 何年何月生
 東京大學總理何某殿
 前文何之誰入學以後在學中ニ係ル一切ノ事件ハ拙者共引受可申仍テ保證如斯候也
 但向後宿所移轉或ハ印章ヲ改メ候節ハ速ニ御届可致候也
 宿所 何府縣族籍
 保證人 何 之 誰印 何年何月生

伺指令

文部省

六百三十二

宿所

何府縣族籍

副保證人

何之

誰印

前書保證人ハ丁年以上ニシテ本區内ニ於テ一家計ヲ立ル者ニ相違無之候也

前書副保證人ハ丁年以上ニシテ本區内ニ於テ一家計ヲ立ル者ニ相違無之候也

何區役所印

何區役所印

○學務委員職印ノ儀ニ付茨城縣伺

十七年一月十五日

學務委員ニシテ職務上押捺スル印章ノ儀ニ付伺出ノ者有之候處官報ヲ閱スルニ明治十六年七月十九日付ヲ以テ新潟縣ヨリ御省ヘ伺戸長ニシテ學務委員ノ職務ヲ行フキニ當リ該印章ヲ用ユヘキヤ云々ノ件ニ對シ同年八月十日付ヲ以テ書面伺之趣學務委員ノ印章若シハ實印ヲ用ユヘキ儀ト心得ヘシトノ御指令相見候處右學務委員ノ印章ハ戸長官印ニ準擬シ彫刻爲相用不苦候哉

○指令 十七年一月廿四日

書面伺之通但寸法ハ方曲尺六分未滿ニ定メ可然儀ト心得ヘシ

○學區ノ變更ニ依リ學務委員任罷ニ關スル儀ニ付群馬縣伺

十七年一月十一日

甲學區ノ一部分ナル町村乙學區内ニ組入レタル甲乙兩學區共公薦ニ依テ任用シタル學務委員其薦學區域ハ變動スト雖モ處務上差支無之ト認ムル以上ハ雙方共任限迄改薦セシメサル儀致度此段相伺候也

但甲學區ノ學務委員乙學區ニ組入レタル町村ニ住居スル場合ニ於テハ無論其職ヲ解キ甲學區内ニ於テ更ニ後任者ヲ薦學セシムヘキ積ニ有之候
○指令 十七年二月四日

○學務委員薦舉規則更正ノ件山口縣伺

十六年十二月廿六日

本縣學務委員薦舉規則別冊之通更正致度此段相伺候也
○指令(電報) 十七年一月廿五日
昨年十二月二十六日付伺學務委員薦舉規則更正之件ハ伺之通(別冊)

學務委員薦舉規則

- 第一條 學務委員タルヲ得ヘキ者ハ年齡滿二十年以上ノ男子ニシテ其學區内ニ土地若シハ建物ヲ有シ且本籍ヲ定メテ現ニ居住スル者ニ限ル
- 但左ノ一項若シハ數項ニ觸ル者ハ被薦舉人タルヲ得ス
 - 一 風癩若クハ白痴ノ者
 - 二 舊法ニ依リ懲役一年以上若クハ禁獄一年以上實決ノ刑ニ處セラレ滿期後未タ五年ヲ經サル者
 - 三 新法ニ依リ剝奪公權若クハ停止公權ノ者又ハ輕重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ主刑滿期後未タ五年ヲ經サル者
 - 四 身代限リノ處分ヲ受ケ未タ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者
 - 五 在職ノ教員
- 第二條 僻村島嶼等ニ於テ第一條ニ該當スル被薦舉人ナキカ若クハ商務等繁忙ノ地ニシテ其人ヲ得ルニ由ナキ場合ニ於テハ甲學區學務委員ヨリ乙學區ヲ兼テシメ若シハ他學區

伺指令

文部省

六百三十三

伺指令

文部省

六百三十四

二一文

ニ於テ第一條ニ該當シ同條但書ノ一項若シハ數項ニ觸レサル者ヲ薦舉スルヲ得ヘク若シハ其學區内人民ノ請求ニ依リテハ特ニ官撰ヲ以テ任用スルコトアルヘシ

第三條 學務委員薦舉人ハ其學區内ノ町村會議員若シハ學區會議員ヲ以テ之ニ充ツ

第四條 學務委員ノ人員給料旅費職務取扱費ハ縣令ニ於テ指示スル所ノ標準ニヨリ町村會若シハ學區會ニ於テ評決シ戶長學務委員連署郡區長ヲ經テ縣令ノ認可ヲ經ヘシ

但學區内關係ノ戶長ハ悉皆連署スヘシ

第五條 學務委員ヲ薦舉セントスルトキハ郡區長ハ豫メ薦舉ノ投票ヲナスヘキ日及時ヲ定メ其學區内ニ告知スヘシ

第六條 戶長ハ前條ノ告知ヲ受クシハ被薦舉人ノ名簿ヲ調査シ薦舉當日其姓名ヲ該場ニ揭示スヘシ

第七條 郡區長ハ投票當日其場ニ臨監シ且投票用紙ヲ薦舉人ニ付與スヘシ

但書記ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第八條 薦舉人ハ投票當日薦舉場ニ出頭シ郡區長ヨリ附與シタル用紙ニ學務委員適任ト見認ル者ノ姓名ト自己ノ姓名トヲ書シ且自己ノ名下ニハ其實印ヲ捺シ監臨ノ郡區長ヘ差出スヘシ

第九條 郡區長ハ投票終レハ薦舉人三名以上ノ面前ニ於テ開票スヘシ

但投票ノ數薦舉人ノ半數以上ニ至ラサルトキハ開票ヲ止メ更ニ薦舉會ヲ開クヘシ

第十條 投票當日薦舉場ニ出頭セサル者ハ薦舉ノ權ヲ自棄スルモノトス

第十一條 學務委員ヲ薦舉スルハ其定員ノ倍數タルヘシ

但戶長ハ職務上ヨリ直ニ學務委員ニ加ハルヲ以テ被薦舉人并ニ定員ノ數ニ入ラサルモノトス

第十二條 郡區長ハ投票多數ノ順序ニ依リ定員ノ倍數ヲ以テ當薦人ト定メ其當否ヲ勘査

三一文

伺指令

文部省

六百三十五

等級	學區内戶數	同學齡人員	人員	給	料	旅費滞在日當	職務取扱費
一	貳千五百戸以上	千五百五人以上		九拾六圓以上		郡旅費	四拾八圓以上
二	千七百五十戸以上	千二百廿五人以上		八拾四圓以上	郡	三拾五錢以上	四拾貳圓以上

シ且其姓名年齢票數履歷等ヲ詳記シタル書面ヲ作り且其當選タルベキ見込ヲ立テ縣令ニ具申スヘシ

但當薦ノ者其撰ヲ辭スルトキハ次票ヲ取り票數同シキモノハ年長ヲ取ルヘシ

第十三條 縣令ニ於テハ當薦者ノ内適任ト見認ムルモノヲ以テ學務委員ニ選任スヘシ若シ當薦者不適任ト見認ルトキハ改薦セシムルコトアルヘシ

第十四條 學務委員(加員專員トモ)ヲ選任シ若シハ解任スルハ辭令書ヲ交付スヘシ

但戶長ハ其都度之ヲ其學區内ヘ廣告スヘシ

第十五條 學務委員ノ任期ハ四ヶ年トス後任者ヲ薦舉スルニ當リ前任者ヲ再薦スルヲ得ヘシ

第十六條 學務委員在任中第一條ノ被薦舉人タルヲ得サル場合ニ遭遇スルカ若シハ事故アリテ欠員スルトキハ直ニ後任者ヲ薦舉スヘシ

第十七條 縣令ニ於テ學務委員其任ニ堪ヘサルト見認ルトキハ何時ニテモ改薦セシムルコトアルヘシ

第十八條 學務委員ノ給料旅費支給法ハ本縣定ムル所ノ地方稅ニ係ル給料旅費支給規則ニ準スヘシ

第十九條 學務委員ノ事務取扱所ハ戶長役場内ニ設置スヘシ

學務委員人員給料旅費職務取扱費標準

同指令

文部省

六百三十六

四一文

三千四百戸以上	九百八十人以上	七拾貳圓以上	內 貳拾五錢以上	三拾六圓以上
四千百戸以上	七百七十人以上	六拾圓以上	郡 旅費 五拾錢以上	三拾圓以上
五八百五十戸以上	五百九十五人以上	五拾四圓以上	外 滯在日當 三拾五錢以上	貳拾七圓以上
六六百五十戸以上	四百五十五人以上	四拾八圓以上		貳拾四圓以上
七五百戸以上	三百五十人以上	四拾貳圓以上		貳拾壹圓以上
八四百戸以上	貳百八十人以上	三拾六圓以上		拾八圓以上

一 本表等級ヲ定ムル法タトハハ戸數ニ等學齡五等アルトキハ二ト五トナシテ加ヘ之ヲ二除シ三五ヲ得即チ奇零數五ヲ捨テ三トナシ三等ニ該當スルモノト定メ其他算出法皆之ニ倣フ

一 給料及職務取扱費ハ一ヶ年ノ額ヲ掲ケ旅費及滯在日當ハ一日支給ノ額ヲ示スモノトス

一 戸數四百戸以下ノ學區タリトモ本表末項ニ準スルモノトス

○規則改正之儀ニ付大坂中學校同當校規則第一章第一條外五件別記案ノ如ク改正仕度此段相伺候也

十七年二月十七日

第一章(總則)第一條ヲ左ノ如ク改ム

當校ハ文部省ノ直轄ニシテ其教育ハ忠孝彝倫ノ道ヲ本トナシ中人以上ノ業務ニ就クカ爲メ又ハ高等ノ學校ニ入ルカ爲メニ必須ノ學科ヲ授クル所トス

一 同章第六條ニ左ノ但書ヲ加フ

但 不都合ノ行爲アリテ放校ノ處分ヲ受ケ官立學校へ入學ヲ禁セラレタル者ノ如キハ當校ノ生徒タルヲ得サルハ勿論トス

第二章(教授規則)第六條ヲ左ノ如ク改ム

一 授業時間ハ初等中學校ヲ每週三十一時トシ高等中學校ヲ每週二十九時トス乃每週日曜日ヲ除キ土曜日ノ授業ハ三時三十分間トシ高等中學校ニ於テハ水曜日ノ授業モ亦三時三十分間トシ他ハ毎日五時三十分間ノ授業トス

但 授業時間ノ始終ハ日ノ長短ニ因リテ之ヲ定メ其都度揭示ス

一 同章第八條學科課程表體操ノ部ヲ左ノ如ク改メ隨テ通計時數ヲ更書シ且欄外體操ハ毎日三十分之ヲ課スノ一項即十二文字ヲ刪除ス

初等中學校

五一文

通計 一三	體操 三	第八級	美術 徒手 啞
一三	三	第七級	美術 徒手 啞
一三	鈴球 竿	第六級	啞 鈴球 竿 棍 棒
一三	三	第五級	啞 鈴球 竿 棍 棒
一三	木環 三	第四級	啞 鈴球 棍 棒 球 竿
一三	兵操 木環 步	第三級	啞 鈴球 棍 棒 球 竿
一三	兵操 木環 步	第二級	啞 鈴球 棍 棒 球 竿
一三	兵操 木環 步	第一級	啞 鈴球 棍 棒 球 竿

同指令

文部省

六百三十七

同指令

高等中學科

文部省

	體操	第三	第四級
	兵斜繩木棒啞 操梯行環球鈴 練步桿鞞竿棍	三	第三級
	兵斜繩木棒啞 操梯行環球鈴 練步桿鞞竿棍	三	第二級
	兵斜繩木棒啞 操梯行環球鈴 練步桿鞞竿棍	三	第一級
通計	九二	九二	九二

一第四章(試業及卒業證書)第三條圖畫ノ下ニ體操ノ二字ヲ加フ

一第十一章(罰則)第六條ヲ左ノ如ク改ム

數回罰セラレテ尙悔悟ノ微ナキ者或ハ他人ヲ致唆スル者或ハ風儀ヲ紊亂スル者ノ如キ
學校ノ風教ヲ害スルヲ甚キモノハ放校ニ處シ其情狀ニ因リテハ官立公立私立ノ學校ニ
入學スルヲ禁止セラルトアリ
但一旦本文ノ處分ヲ受ケタル者ト雖モ謹慎悔悟ノ實蹟アルトハ特ニ入學ヲ許可セラ
ルヘシ

○指令 十七年一月廿九日

何之通

○中小學師範學科并ニ附屬小學科規則中改正追加之儀ニ付東京師範

學校同

十七年一月十九日

當校現行ノ中小學師範學科規則中四件ノ改正仕度モ有之候其第一ハ唱歌ノ儀ニシテ小
學師範學科ノミニ限リ改正仕度從來小學師範學科第三級及第四級ハ一週一時間ツヽヲ以
テ唱歌ヲ教授致シ候處右ノ時間ニテハ一週僅カニ一回ノ稽古ナルヲ以テ教授充分行届兼
候ニ付別記甲號第一條第二條ノ通過改正仕度」其第二ハ兩師範學科定時試業ノ儀ニシテ右
定時試業ハ學年末ニ執行スヘキモノト相成居リ候處右ハ每學期末ノ執行ニ改正仕度其理
由ヲソレハ學科課程表ノ其課程ヲ分配スルヤ各學期ヲ目標トスルモノニシテ各學級ニ由
目標トセサルモノニ相成リ居リ而シテ定時試業ヲ執行スルハ學期ニ由ラスシテ學級ニ由
ルモノト相成リ居リ候ニ付前學期ノミニテ卒業タル課業ノ試驗ハ半年ヲ待テ即チ後學期
ニ於テ試驗スルモノト相成リ候然ルニ如此ク前學期ニテ卒業タル課業ニ限リ候リニ其學期
末ニ定時試業ヲ執行スルモノトナスモ其生徒ノ及落ヲ定ムルハ學年末總定時試業完了ノ
後ニアルヲ以テ前學期末ニ執行シタル試業ノ成績ノ明カニ落第ニ歸ス可キモ半年ヲ經過
シタル後ニ非サレハ公然落第ト定ムル能ハサルヲ以テ後學期ノ半年間ハ落第ト知リツヽ
其生徒ニ前途ノ課業ヲ授ケサル可カラサルコト相成リ候且又如此ク一學期ノミニテ卒業ハ
ル課業ハ學科課程表中其十中ノ七八ヲ占メ定時試業ノ困難不抄候ニ付別記甲號第四條ヨ
リ第六條迄ノ通り改正仕度」其第三ハ去年十一月二日ノ御達ニ基キ兩師範學科共別記甲
號第三條及第七條ノ通り改正仕度」其第四ハ當校附屬小學科規則中授業ノ時限ノ項別記
乙號第一條ノ廉及同ノ學科課程表別記乙號第二條ノ廉改正仕度且又同ノ圖書表及ヒ教科
用圖書各學期配當表中ニモ亦別記乙號第三條ノ廉記入仕度儀ニ有之候此段奉伺候也

○指令 十七年二月十五日

同指令

文部省

同指令

文部省

同之通

別記 甲號

小學師範學科規則中改正ス可キ件々左記ノ如シ

但中學師範學科規則ニ於テモ第一條第二條ヲ除クノ外同様改正仕度

第一條 日數及時限ノ項左ノ如ク改ムル

日數及時限授業ノ日數ハ每年大約四十週ニシテ授業ノ時限ハ第四級第三級ヲ每週三十

二時第二級第一級ヲ每週三十一時トス

但書元文之通り

第二條 學科課程表中

唱歌ノ下第四級第三級ノ授業時數「一」ヲ「二」ニ改メ總計「一〇」トアルヲ「一四」ニ改ム

ル

通計ノ下第四級第三級ノ分「三一」ヲ「三二」ニ改ムル

第三條 願入分限ノ項中ニ左記ノ但書ヲ增加スル

但不都合ノ行爲アリテ放校ノ處分ヲ受ケ官立學校ニ入學ヲ禁セラレタルモノノ如キ

ハ願入タルヲ得サルハ勿論トス

第四條 臨時及定時試業ノ項中「定時試業ハ每學年ノ末ニ於テ之ヲ施行シ其學級ニ於テ

履修セシ云々」トアルヲ左記ノ如ク改ムル

定時試業ハ每學期ノ末ニ於テ之ヲ施行シ其學期ニ於テ履修セシ云々

第五條 評點調査ノ項中ニケ條目ニ「各級每學年試業ノ評點ヲ調査スルニハ各學科ノ學

年內云々」トアルヲ左記ノ如ク改ムル

各級每學期內ノ試業評點ヲ調査スルニハ各學科ノ學期內云々

同指令

文部省

第六條 及第條第ノ項中ニケ條目學級ノ及第條第云々トアルヲ左記ノ如ク改ムル

各學期ノ及第條第云々

第七條 放校ノ一項ヲ左ノ如ク改ムル

校命ニ悖ルモノ又ハ放校ニシテ風儀ヲ紊ルモノノ如キ到底教員ノ人ニ適セスト認ムル

モノハ放校ニ處ス且ツ其行爲ノ狀情ニ因リテハ文部省直轄官立學校及府縣公立私立ノ

學校ニ入學スルヲ禁セラルトコトアルヘシ

但一旦放校ヲ命シタルモノト雖モ謹慎悔悟ノ實蹟アルモノハ特ニ再入學ヲ許スコト

アルヘク又文部省直轄官立學校及府縣公立私立ノ學校ニ入學ヲ禁セラレタルモノト

雖モ謹慎悔悟ノ實蹟アルトキハ特ニコソナ許可セララルトコトアルヘシ

別記 乙號

第一條 授業ノ期限ノ項ヲ左記ノ如ク改メ度

授業ノ日數ハ每年大約四十二週ニシテ授業ノ時限ハ小學初等科第一年前學期ヲ每週二

十六時其他ヲ每週三十一時トス

但書ニケ條共元文ノ通り

第二條 東京師範學校附屬小學校學科課程表中唱歌體操ノ兩科共第一年ヨリ第八年マテ

通シテ每週時數「一、五」トアルヲ「三」ト改メ每週時數「三」トアルヲ「六」ト改メ度

通計ノ下每週時數第一年ニ「二三」トアルヲ「二六」ト改メ第二年ヨリ第八年マテ「二八

トアルヲ皆「三一」ト改メ又每週時數第一年ニ「二九」トアルヲ「三五」ト改メ第二年ヨリ

第八年マテ「三四」トアルヲ皆「四〇」ト改メ度

全學科教授時間通計百分ノ比例ヲ悉ク左ノ如ク改メ度

伺指令

文部省

六百四十二

○二文

修身	讀方	作文	習字	算術	地理	歷史	圖書	博物	物理	化學	生理	幾何	經濟	唱歌	體操
一〇、二〇、	一〇、	一〇、	一六、	三、	一、	三、	二、	一、	一、	一、	一、	一、	一、	九〇	五、五、
八三、	七七、	八三、	五二、	〇三、	六一、	八一、	一六、	九三、	八一、	八一、	三、	五、	八一、	四、	二、
九、	一九、	九、	九、	一四、	三、	一、	二、	二、	一、	一、	一、	一、	一、	八二	九、
七八、	五五、	九八、	九八、	四六、	〇五、	二二、	八五、	六三、	六三、	二二、	六三、	二二、	六三、	七八	七八

第三條 東京師範學校附屬小學校教科用圖書表未欄外同教科用圖書各學期配當表未欄外
作文ノ部云々ノ一項ノ前ニ(一)讀方ノ部小學中等科讀本ハ誤字不謬ニ付教授ノ際特ニ
注意ス可キモノトス(一)項ヲ增加スル

○附屬幼稚園規則改正ノ儀ニ付東京女子師範學校伺

十六年十月十一日

當校附屬幼稚園規則別冊之通改正致度此段相伺候也

○指令

十七年二月廿一日

伺之通

東京女子師範學校附屬幼稚園規則

第一章 通則

- 第一條 當校附屬幼稚園ハ女子師範生徒ヲテ幼稚園ノ保育ヲ實地ニ練習セシメ且彝倫道德ヲ本トシテ幼兒ヲ保育シ幼稚園ノ模範ヲ示ス所トス
- 第二條 幼兒ハ男女年齡大約三年以上六年以下トス
- 第三條 幼兒ハ大約年齡ニ由テ一ノ組ヨリ六ノ組マテ六組ニ分ツ

一二文

課	組六ノ	組五ノ	組四ノ	組三ノ	組二ノ	組一ノ
會集	六	六	六	六	六	六
修身ノ話	三	三	三	三	四	四
庶物ノ話	三	三	三	三	二	二
木ノ積立テ	五	五	四	四	四	二

- 第一條 保育ノ課ハ會集、修身ノ話、庶物ノ話、木ノ積立テ、板排、箸排、鏝排、豆細工、珠繫キ、紙織リ、紙摺ミ、紙刺シ、縫取リ、紙剪リ、畫キ方、數ヘ方、讀ミ方、書キ方、唱歌、遊嬉トス
- 第二條 保育ノ時間ハ修身ノ話、庶物ノ話、唱歌、遊嬉ヲ各二十分トシ他ノ課ヲ各三十分トス
- 第三條 毎日保育ノ時間ハ一ノ組二ノ組三ノ組ヲ各三十分トシ四ノ組五ノ組六ノ組ヲ各三十分トシ土曜日及夏休ノ前三週、後二週ハ各組二時トス
- 第四條 保育ノ場所ハ遊嬉室、開誘室、庭園トス
- 第五條 年中休日ハ日曜日、秋季皇靈祭、神嘗祭、天長節、新嘗祭、冬休
十一月廿五日ヨリ十二月十五日マテ
- 孝明天皇祭、紀元節、春季皇靈祭、神武天皇祭、夏休
七月二十一日ヨリ九月五日マテ
- 但本文ノ外二月十六日ヨリ同月二十二日マテハ女子師範生徒試業ノ都合ニヨリテ休日トス
- 第六條 保育ノ課程及保育用ノ圖書器具左表ノ如シ

保育課程表 表中ノ數字ハ每週保育ノ度數ヲ示ス

伺指令

文部省

六百四十三

同指令

文部省

六百四十六

四二文

第五恩物	第一箱		フレベル氏創製	佐藤正三 東京麹町區飯田町二丁目三十七番地
第六恩物	第一箱		フレベル氏創製	佐藤正三 東京麹町區飯田町二丁目三十七番地
幼稚園玩手本	第一二冊	明治十六年四月二十六日	加藤錦子撰	加藤清八 東京小石川區小日向水道町八十二番地
第五恩物圖	一帙		士太牙氏著	
第六恩物圖	一帙		士太牙氏著	
板排への部				
第七恩物	一箱		フレベル氏創製	佐藤正三 東京麹町區飯田町二丁目二十七番地
第七恩物圖	一帙		士太牙氏著	
箸排への部				
幼稚園	園中ノ卷一冊	明治十年七月	桑田親五譯文	部
第八恩物	一箱		フレベル氏創製	佐藤正三 東京麹町區飯田町二丁目二十七番地
幼稚園恩物圖形	第八一帙	明治十一年十一月	士太牙氏著	東京女子師範學校

五二文

同指令

文部省

六百四十七

環排への部				
第九恩物	一箱		フレベル氏創製	佐藤正三 東京麹町區飯田町二丁目二十七番地
幼稚園恩物圖形	第九一帙	明治十一年十一月	士太牙氏著	東京女子師範學校
豆細工への部				
幼稚園	園中ノ卷一冊	明治十年七月	桑田親五譯文	部
幼稚園恩物圖形	第十九一帙	明治十一年十一月	士太牙氏著	東京女子師範學校
紙織りの部				
幼稚園	園下ノ卷一冊	明治十一年六月	桑田親五譯文	部
幼稚園恩物圖形	第十四一帙	明治十一年十一月	士太牙氏著	東京女子師範學校
紙摺への部				
幼稚園	園下ノ卷一冊	明治十一年六月	桑田親五譯文	部
幼稚園恩物圖形	第十八一帙	明治十一年十一月	ゴリトアマ氏	東京女子師範學校
紙刺への部				

同指令

文部省

六百四十八

幼稚園恩物圖形	第十一 一帙	明治十一年十一月	士太牙氏著	東京女子師範學校
縫取リノ部				
幼稚園恩物圖形	第十二 一帙	明治十一年十一月	士太牙氏著	東京女子師範學校
紙剪リノ部				
幼稚園	園下ノ卷 一冊	明治十一年六月	桑田親五譯文	部 省
幼稚園恩物圖形	第十三 一帙	明治十一年十一月	士太牙氏著	東京女子師範學校
畫キ方ノ部				
幼稚園	園下ノ卷 一冊	明治十一年六月	桑田親五譯文	部 省
幼稚園恩物圖形	第十 一帙	明治十一年十一月	士太牙氏著	東京女子師範學校
數〜方ノ部				
幼稚園數ノ數	二 冊			東京女子師範學校
讀ミ方ノ部				
幼稚園カナノ數	二 冊			東京女子師範學校
綴字骨牌	一 組			東京女子師範學校

同指令

文部省

六百四十九

幼稚園カナノ數	二 冊			東京女子師範學校
唱歌ノ部				
幼稚園唱歌集	一 冊		文部省音樂取調掛編纂	文 部 省
遊嬉ノ部				
幼稚園遊嬉	一 冊			

表中完全ナラサルモノ多ケレトモ假リコ之ヲ用ヒ適當ノモノヲ得ルニ隨ヒテ改定スヘシ

一 日本庶物示教、幼稚園動物圖解ハ本邦幼兒ノ保育ニ適セサル所ヲ斟酌シテ用フ

一 幼稚園上ノ卷ハ卷ノ一巻ノ二チ省キ中ノ卷ハ三十枚ヨリ四十枚表チ省キ下ノ卷ハ十七枚以下チ省キテ用フ

一 幼稚園脩身ノ話、幼稚園動物圖、幼稚園數ノ數、幼稚園カナノ數、幼稚園唱歌集、幼稚園遊嬉ハイマヲ出版セサントモ稿本ノマ、假リニ用フ

第七條 保育ノ要旨左ノ如シ

幼稚園ハ學齡未滿ノ幼兒ヲ保育シテ家庭ノ教育ヲ裨ケ學校ノ教育ノ基ヲ成ヌモノナレハ務テ徳性ヲ涵養シ身體ヲ發育シ智能ヲ開導センコトヲ要ス殊ニ保育ノ寬嚴其宜ヲ得テ暴慢ニ流レシメス怯懦ニ陥ラシメサルヤウ注意スベシ又諸課ノ開誘ハ敏捷活潑ニシテ幼兒ヲシテ倦マサラシメテ務テ問ヲ設ケ其觀察注意ヲ起シ事物ノ觀念ヲ得シメ應答ニ由テ言語ヲ習ハシメ且幼兒自己ノ工夫ニ由テ成ルヘキ者ハ唯其端緒ヲ示シテ

伺指令

文部省

幼児ノ工夫ヲ促シ自ラ成スノ良習ヲ養フベシ
 幼外ニ出テ隨意ニ遊嬉スルトキハ己ノ意ヲ逞フシ稟性ノ偏倚セル所ヲ現ス者ナレハ此際最注意ヲ加ヘテ各兒ノ性質ヲ觀察匡正スヘシ又保育課中數ヘ方、讀ミ方等心意ノ勞ヲ要スル者ハ之ヲ時間ノ始ニ置キ豆細工、紙織リ、紙摺ミ等ノ心目ヲ樂マシムル者ハ之ヲ時間ノ終ニ置キ且一課ノ開誘終ル後ハ庭園或ハ遊嬉室ニ於テ隨意ニ遊嬉又ハ唱歌ヲナサシメ以テ其鬱屈ヲ暢開センコトヲ要ス

幼兒ノ生育ノ爲ニハ室外ノ遊ヲ最緊要ナリトス故ニ天氣好キトキニハ放課ノ際等務テ庭園ニ遊ハシメ庭園ニハ其快樂ヲ増シ觀察ヲ導クヘキ草木ヲ植エ魚、鳥等ヲ養フヘシ又幼兒ノ保育ハ唯ニ開誘、遊嬉ノ際ニ於テスルノミナラス其幼稚園ニ來ルトキ放課ノトキ食事ノトキ便所ニ往クトキ家ニ歸ラントスルトキノ如キモ親ニ代テ不斷親切懇篤ニ看護シ危險不潔等ノ事ナカラシメ風雨寒暑ナトノトキハ殊ニ注意ヲ加ヘンコトヲ要ス

會集 會集ハ毎日先ツ諸組ノ幼兒ヲ遊嬉室ニ集メ唱歌ヲ復習セシメ且時々行儀等ニ就テ訓誨ヲ加フル者トス

修身ノ話 修身ノ話ハ和漢ノ聖賢ノ教ニ基テ近易ノ談話ヲナシ孝弟忠信ノコトヲ知ラシメ務テ善良ノ性質習慣ヲ養ハンコトヲ要ス

庶物ノ話 庶物ノ話ハ専ラ日用普通ノ家具、什器、鳥、獸、草、木等幼兒ノ知リ易キ物或ハ其標本、繪圖ヲ示シテ之ヲ問答シ以テ觀察注意ノ良習ヲ養ヒ兼テ言語ヲ習ハシメンコトヲ要ス

木ノ積立テ 木ノ積立テハ立方體、長方體、方柱體、三角柱體ノ木片ヲ與ヘテ門、家、橋等ノ形ヲ積立テシメ或ハ種々ノ形ヲ排ヘシメ以テ構造ノ力ヲ養フヲ主トシ兼テ邊、角、形體ノ觀念ヲ得シム

伺指令

文部省

板排ヘ 板排ヘハ彩色セル薄キ正方形、三角形ノ小板ヲ與ヘテ門、家等ノ正面或ハ側面其他種々ノ形ヲ排ヘシメ以テ美麗ヲ好ムノ心ヲ養フヲ主トシ兼テ角度ノ大小等ノ觀念ヲ得シム

箸排ヘ 箸排ヘハ大約一寸ヨリ五寸マテノ五種ノ細長キ箸ヲ與ヘテ門、梯、家、机等ノ輪廓ヲ排ヘシメ以テ工夫ノ力ヲ養フヲ主トシ兼テ長短ノ觀念ヲ得シム

鑲排ヘ 鑲排ヘハ鐵或ハ真鍮ノ全鑲、半鑲ヲ交ヘ與ヘテ種々ノ形ヲ排ヘシム間々亦箸ヲ交ヘ與フルコトアリ其目的鑲箸排ヘニ同シ

豆細工 豆細工ハ細ク削リタル竹ト水ニ浸シタル豆トヲ與ヘ豆ヲ以テ竹ヲ接合ハセ机、堂等ノ形ヲ造ラシメ以テ構造ノ力ヲ養フ

珠繫キ 珠繫キハ初ニハ彩色セル麥藁ノ切レト孔ヲ穿チタル色紙ノ切レトヲ交ヘ糸ニテ繫カシメ終ニハ南京珠ヲ繫カシメ以テ縫取リニ入ル階梯トス

紙織リ 紙織リハ細ク截チタル色紙ヲ經筋緯筋トシ種々ノ模様ヲ編マシメ以テ色ノ配リ方ヲ知ラシム

紙摺ミ 紙摺ミハ色紙ヲ與ヘテ舟、鶴等ノ形ヲ摺マシメ以テ想像ノ力ヲ養フ

紙刺シ 紙刺シハ柄アル鍼ニテ紙面ニ紋形、花草等ノ形ヲ刺シ穿タシメ以テ縫取リノ下畫トナサシム

縫取リ 縫取リハ紙刺シノ課ニテ刺シ穿チタル紋形、花草等ノ形ヲ色絲ニテ縫取ラシメ以テ針ノ運び方ヲ知ラシム

紙剪リ 紙剪リハ色紙ヲ與ヘテ方形、三角形等ニ剪リ之ヲ白色ノ臺紙ニ貼付ケテ種々ノ形ヲ造ラシメ或ハ種々ノ紋形等ヲ剪抜カシメ以テ工夫ノ力ヲ養ヒ兼テ剪ノ用井方ヲ知ラシム

畫キ方 畫キ方ハ始ニハ野アル石盤ノ上ニ縦線、横線、斜ナル線ヲ以テ物ノ略形ヲ畫カ

伺指令

文部省

六百五十二

○三文

シメ終ニハ鉛筆ヲ以テ之ヲ野アル紙ニ畫カシム
 敷ヘ方 敷ヘ方ハ專ラ藥物、小石、介殼其他ノ實物ニ由テ物ノ數ヲ知ラシムルヲ旨トシ
 數ノ觀念ヲ略得タル者ニハ又實物ニ由テ三十箇以下ノ寄セ方引キ方ヲサシメ兼テ
 十以下ノ數字ヲ教フ
 讀ミ方 讀ミ方ハ始ニハ片仮名、平仮名ヲ以テ幼兒ノ知リタル物ノ名等ノ綴方易キ者
 ヲ黑板ニ書キ示シテ假名ノ稱ヘ方用ヘ方ヲ教フルヲ旨トシ後ニハ仮名ヲ記セル骨牌
 ナリテ物ノ名等ヲ綴ラシム
 書キ方 書キ方ハ片仮名、平仮名ヲ以テ既ニ授ケタル物ノ名等ヲ黑板ニ書キ示シテ石
 盤ノ上ニ習ハシメ又數字ヲ習ハシム
 唱歌 唱歌ハ保姆ノ唱フル所ニ倣ヒ容易クシテ面白キ唱歌ヲナサシメ時ニ樂器ヲ以テ
 之ヲ和シオノツカラ其胸廓ヲ開キテ健康ヲ補ヒ其心情ヲ和ケテ徳性ヲ養ハノコトヲ
 要ス
 遊嬉 遊嬉ハ幼兒ニ適スル者ヲ撰テコレヲナサシメ以テ身體ヲ健カニシ精神ヲ爽カナ
 シメノコトヲ要ス
 第三章 入園退園規則
 第一條 入園ハ大約五週毎ニ之ヲ許ス
 第二條 入園ヲ願フ者ハ左式ノ入園願書ヲ出スヘシ
 入園願書 用紙美濃紙

籍族 何誰長男女等
 何次男女等
 年號月日生 誰

右者今般御校附屬幼稚園へ入園致サセタタ此段願上候也

宿所

年月日

東京女子師範學校

御中

籍族 父母或ハ親戚

何誰

印

第三條 入園ノ許可ヲ得タル者ハ左式ノ證書ヲ出スヘシ

入園證書 用紙證券界紙

籍族

何誰長男女等

何

誰

右御校附屬幼稚園へ入園差許サレ候ニ付テハ御規則並ニ御告諭堅ク相守ラセ申スヘシ
 候也

宿所

年月日

東京女子師範學校

御中

籍族 父母或ハ親戚

何誰

印

第四條 保育料ハ一箇月金五拾錢トス
 第五條 幼兒ノ年齢ニ達シ或ハ疾病事故アリテ退園セシメント欲スルトキハ保證人ヨリ

伺指令

文部省

六百五十三

一三文

同指令

文部省

六百五十四

其旨當校に願出之ハシメテ、
 第六條 疾病事故アリテ欠席スルコト一週ニ超ユルトキハ保證人ヨリ其旨幼稚園へ届出ツヘシ
 但届ナクテ欠席スルコトキハ退園ノ取計ヲナスコトアルヘシ
 第七條 六箇月以上實際ニ保育ヲ受ケタル者ニハ左式ノ保育證書ヲ與フヘシ

校印	籍族	何誰	長男女等
年	齡	何	誰
年	月	日	何
年	月	日	何

右ハ當校附屬幼稚園ニ於テ何年何月ヨリ何年何月マテ何年月間保育ヲ受候事
 入園ノ日 東京女子師範學校
 番 號

○學區校數指定後町村會ノ評決ニ依リ其變更ヲ伺ヒ出テシムル儀ニ付石川縣伺(電報)
 十七年一月廿四日
 ○指令(電報) 十七年一月廿八日
 學區校數指定後町村會ノ評決ニ依リ其變更ヲ伺ヒ出テシムルモ若シカラス哉
 本月廿四日發電報伺學區校數指定後云々ノ件ハ町村會ノ評決ニ依テ其變更ヲ伺出テシム

同指令

文部省

六百五十五

ルモノニ非ス但願出ツルハ此限ニ非ス
 ○授業料増加ノ儀東京女子師範學校伺
 十七年一月廿三日
 當校附屬高等女學校授業料之儀ハ一人一箇月金五拾錢ニ有之候處同校之儀ハ中人以上ノ女子ニ高等ノ普通學科ヲ授ケル處ニ候得ハ右授業料ヲ壹圓ニ相増候テ相當ト存候條同校規則第四章第六條ノ「金五拾錢」ヲ「金壹圓」ト相改度又附屬女兒小學校授業料ハ一人一箇月金三拾錢ニ有之候處東京師範學校附屬小學校授業料并ニ當校附屬幼稚園同規則ノ保育料金五拾錢ニ比スレハ右授業料ハ其額頗尠少ニ過キテ自他ノ權衡ヲ失ヒ不都合ト存候條是亦同校規則第四章第四條ノ「金三拾錢」ヲ「金五拾錢」ト相改度此段稟請候也
 ○指令 十七年一月廿九日
 書面伺之通

○小學校長ニテ戸長ヲ兼テ又ハ戸長ニテ小學校長ヲ兼テシムル儀ニ付三重縣伺(電報)
 十六年十二月十三日
 小學校長ニテ戸長ヲ兼テ又ハ戸長ニテ小學校長ヲ兼テシムルモ職務上ニ支エ無ケレハ兼務セシメ苦シカラス哉
 ○指令(電報) 十七年一月廿六日
 客年十二月十三日發電報伺小學校長ニテ戸長ヲ兼テ又ハ戸長ニテ小學校長ヲ兼テシムル儀ハ同之通

○卒業證書交付之儀ニ付福井縣伺
 十六年十二月廿五日
 一官立府縣立師範學校卒業生ニシテ二三年間小學校教員之職ニ從事シ爾後巡回教師又ハ師範學校中學校等ノ教員ニ轉勤シタルモ前後通シテ七箇年以上教員ノ職ニアリ且學力優等授業練熟ハ勿論品行端正ノ證據アルモノニハ終身有効ノ考績卒業證書ヲ與ヘ可然

同指令

文部省

六百五十六

四三文

一前條果シテ差支無之ハ本年御省御達第貳拾號中ノ師範學校教則大綱第拾四條ニ依リ授
與スル考績卒業證書書式中何箇年間小學校教員ノ職ニ從事シ云々ヲ何箇年間(小學校
巡回教師師範學校中學校)教員ノ職ニ從事シ云々ニ改メ差支無之哉
○指令 十七年一月卅一日

同之趣 前段ハ小學校教員ニ從事シタルト同様フ證據アル者ハ同之通
後段書式ハ小學校等教員ノ職ニ從事シタルトスヘシ

○師範學校生徒卒業證書ノ儀ニ付和歌山縣伺 十七年一月十六日

教育令第三十五條ニヨリ縣立師範學校ヨリ附與シタル卒業證書ノ効力ハ元ヨリ同令第三
十四條ニヨリ附與シタルモノト取テ輕重異同無之儀ト信認候ヘ共今回御發布相成候徵兵
令第十一條及第十八條第二項ニ記サレタル旨モ有之候ニ付爲念一應相伺候
○指令 十七年一月卅一日

書面伺之通

○小學校督業訓導設置規則之儀ニ付長野縣伺 十七年一月廿二日

小學校ノ改良ヲ圖ルカタメ各郡ニ督業訓導ヲ置ク方法別紙之通施行致度候條御認可相成
度此段相伺候也

○指令 十七年二月四日

但督業訓導ヲ設置シタル郡等ノ名ハ其都度開申可致事
(別紙)

小學校督業訓導設置規則

第一條 各郡ニ於テハ小學校ノ改良ヲ圖ルカタメ全郡若クハ幾部分ニ督業訓導ヲ置キ該
郡長ノ指揮ヲ據リ大率左ノ各項ヲ監督セラルルヲ得ルニ依リ
一 督業訓導ノ職ニ充テシムル者ハ高等師範學校畢業證書若クハ本縣高等科教員
ニ任ズル者ニ限リ
二 學校管理ノ事
三 學校風儀ノ事
四 生徒試業ノ事
五 校舍及諸表簿ノ事
六 書籍器械ノ事
七 校舎及諸表簿ノ事
八 校舍及諸表簿ノ事
九 校舍及諸表簿ノ事
十 校舍及諸表簿ノ事

五三文

○督業訓導施設ノ儀ニ付廣島縣伺 十七年一月廿五日
督業訓導ハ目下主要ノ職員ニ付郡區ニ於テ設置爲致度見込ニ有之候就テハ其施設方法並
ニ該職員心得別紙之通豫以相定置度此段相伺候也

同指令

文部省

六百五十七

伺指令

文部省

○指令 十七年二月八日
伺之通

但營業訓導ヲ設置シタル學區若シハ郡區ノ名ハ其都度開申可致事
(別紙)

營業訓導施設方法

- 第一條 營業訓導ハ數小學區聯合若シハ一郡區若シハ數郡聯合ニ於テ之ヲ設クルヲ得其費用ハ部内ノ協議費ヲ以テ支辨スルモノトス
- 第二條 營業訓導ハ小學高等師範學科卒業者若シハ小學高等科教員免許狀ヲ有スル者トス
- 第三條 營業訓導ノ進退ハ其部内各小學區學務委員若シハ各小學區學務委員總代ヨリ郡區長ヲ經テ縣令ニ申請スルモノトス
- 第四條 營業訓導ノ官等并ニ月俸旅費額等ヲ定ムル左ノ如シ
營業訓導名稱俸官等并ニ月俸額

名 稱 俸 官 等 月 俸 額

一等訓導	準十一等	三拾圓	貳拾八圓	貳拾六圓	貳拾四圓	貳拾三圓
二等訓導	準十二等	貳拾貳圓	貳拾壹圓	貳拾圓	拾九圓	拾八圓
三等訓導	準十三等	拾七圓	拾六圓	拾五圓	拾四圓	拾三圓

同旅費額

旅費額ハ本縣小學校教員旅費支給額ニ依ル
但受部内派出若シハ巡回旅費ハ其部内ノ便宜ニ依リ適宜減少シ若シハ全ク支給セサル
ヲ得

伺指令

文部省

任職令書式
同辭令書式

營業訓導職務心得

- 第一條 營業訓導ハ小學校教授上并ニ生徒ノ管理ニ關スル諸件ヲ監督指示シ之ノカ改良ヲ計ルモノトス
- 第二條 營業訓導ハ常ニ部内各小學校ヲ巡視シ其授業法管理等ニ注意シ各校其方向ヲ一ニシ異同ナキヨウ指示スルヲ要ス
- 第三條 營業訓導ノ監督スヘキ事件ハ大率左ノ如シ
學校風儀ノ善惡 教員授業ノ功拙
學校管理ノ可否 生徒學業ノ進否
書籍器械ノ完否 諸表簿ノ整否
校舍ノ廣狹 學校衛生上ニ關スル件
- 第四條 營業訓導ハ小學校生徒進級試驗大試驗優等試驗ニ立會シ聯合教育會等ニ出席ス
- 第五條 營業訓導ハ一巡回ヲ了ル毎ニ其功程書ヲ作リ郡區長ニ申報スヘシ
- 第六條 營業訓導ハ前條ニ掲クル事件若シハ其他教育上諸般ノ實況ニ注目シ其利害得失ニ就キ意見アルハ郡區長ニ申請シ若シハ縣令ニ具申シ若シハ學務課師範學校ニ協議スヘシ

○學事ニ關スル寄附金處分ノ儀ニ付和歌山縣伺

十六年十二月十九日

教育令第二十七條ニヨリ凡學事ニ供スル寄附人ヨリ指定セシ目途ノ外ニ支消スルコトヲ得サルハ勿論ニ有之候處茲ニ其利金ヲ以テ小學校若シハ中學校ニ供スヘキ目途ヲ指定

伺指令

文部省

同指令

文部省

六百六十一

シ數年前一時若干金ヲ寄附シ今日に至リ當初ノ用途ニ變更シ更ニ其利金ヲ以テ他ノ學校ニ假令ニ農業學校商業學校ノ類ニ以テ費用ニ供セシムルヲ願出シモノ旨並石ハ其自途學事ノ範圍外ニ出テサル以上ハ一切本人ノ願出ニヨリ許可致シ可然哉將々右等ノ場合ニ於テハ其目途ヲ變更スルヨリ生スル所ノ利害ヲ審檢シ果シテ之ヲ爲シ學事上ニ不都合ナ生スルコトハシト認ムル場合ニ限リ之ヲ許サザルモノハ之ヲ許サザル等適宜處分致シ可然哉

○指令 十七年二月三十日

書面後段何之通

○小學女兒裁縫科之儀ニ付福井縣伺

第一條 學齡就學女兒ニシテ年滿十一年以上ニ及ビ小學科三ヶ年ノ課程ヲ卒ヘタルモノノ職業等ノ都合ニヨリ小學裁縫科ニ科トシ修業爲致度旨父兄ヨリ申出ルハ許可致シ可然哉

第二條 就學女兒年滿十一年以上ニ至ル未シ小學科三ヶ年ノ課程ヲ卒ヘサルモノ及學齡ニ至ルモ事故アリテ入學セズ滿十一年以上ニ至リ就學スルモノニシテ小學裁縫科ヲ兼修爲致度旨申出ルハ許可致シ可然哉

第三條 既ニ小學ニ入學事故アリテ退學シ在學計十四年以上ニ至リタルモノ及未タ曾テ小學ニ入ラサル十四年以上ノ女子ニシテ小学校ニ入り裁縫一科ノミヲ修業致度旨申出ルハ許可致シ可然哉

第四條 前條ノ如ク小学校ニ於テ裁縫一科ノ修業ヲ許可シタルトキハ卒業試驗ノ節小學裁縫科名ヲ以テ相當裁縫科ノ卒業證書ヲ授與シ可然哉

第五條 前條ノ如ク果シテ無差支義ニ候ハ、統計表ニ記入方第一條ハ學齡就學ノ部ニ

○指令 十七年二月十五日

伺之通

但第五條統計表ニ記入方第一條ハ不就學ノ部既卒初等科中ノ修他學科生徒ニ算入スルモ儀ト可心得事

○縣立神戸師範學校職員中ニ訓導ヲ置クノ儀ニ付兵庫縣伺

今般本縣立神戸師範學校職員中ニ訓導ヲ置キ等級月俸並ニ職務章程別紙之通制定致度候條至急何分ノ御指令相成度此段相伺候也

○指令 十七年三月三日

書面何之通

(別紙) 兵庫縣立神戸師範學校附屬小學校訓導等級月俸表

等	級	月	俸
一	等	金	三拾圓
二	等	金	貳拾圓
三	等	金	拾圓
四	等	金	拾圓
五	等	金	拾圓
六	等	金	拾圓
七	等	金	拾圓
八	等	金	拾圓
九	等	金	拾圓
十	等	金	拾圓

本縣々立神戸師範學校附屬小學校訓導職務章程

第一條 校長ノ指揮ニ從ヒ附屬小學校ノ生徒ヲ教授スル事

第二條 師範生徒實地授業練習ノ受持ヲ定メ及ヒ監督スル事

第三條 小學教則及ヒ授業法等ノ改良ニ付其意見ヲ校長ニ具申スル事

第四條 附屬小學校生徒ノ勤怠ヲ監査シ其賞罰ヲ校長ニ具申スル事

第五條 附屬小學校ノ諸帳簿等ヲ整備スル事

○學務委員幹事俸額標準之儀ニ付青森縣伺

十七年二月廿八日

同指令

文部省

六百六十二

何指令

文部省

六百六十二

○四文

本縣各小學區之聯子以學聯區トシテ聯區中學務委員幹事設置之儀ハ已ニ昨午十二月十日
日伺禮之處該幹事月俸額凡ハ八圓以上ノ標準ヲ以テ支給セシメ度此段相伺候也
○指令 十七年三月十三日

○師範學科卒業證書授與手續ノ件ニ付山口縣伺

十七年三月廿四日

從前大阪廣島等ノ官立師範學校卒業生ニシテ現今縣下小學校訓導ノ職ニ從事シ往々學力
優等授業熟練ト見認ルルモノ此際既ニ證書有効滿期ニ至ルモノアリ右ハ本縣師範學校卒
業生ノ例ニ進テ該校ヨリ更ニ有効ノ證書授與致シ可然哉又ハ貴省ヲ開申シテ御處置ヲ仰
クヘキヤ

○指令(電報) 十七年四月四日

三月廿四日付師範學科卒業證書授與手續ニ係ルル書面前候伺之通

○小學教員學力檢定試驗并免許狀授與方ニ付山形縣伺

十七年三月十八日

小學教員學力檢定試驗時以テ其學功相當ノ教員免許狀授與セシモノニシテ將來各等科有
効年限 高等科五年中等科三年 滿期ニ至リ其資格ヲ繼續セシメテ試驗願出候節其程度試
驗スヘキハ當然ニハ候得共各等科年限ニ長短アリ漸ク多人數ニ至候ハ自然毎月試驗執
行スヘキ場合ニ可際會モ難計然ルレバ到底試驗ノ煩マ堪サズ之ヲ以テ費用モ亦支出
ノ難キ儀モ可有之仍テ小學教員免許狀授與規則 十四年十一月十日制定 第十條ハ客年七月十日
年一度ト更定候ヘル自今一ケ年二度トシ假令十一月ヨリ翌年四月マテノ間ニ年限滿期

六四文

何指令

文部省

六百六十四

初等科教員資格ノ者ニシテ中等科若シハ高等科ノ試驗ニ及第シ從前中等科教員資格ノ者
ニシテ高等科ノ試驗ニ及第候節ハ試驗當月直ニ該免狀ヲ授與シ若シ從前初等科教員資格
ノ者ニシテ再シ初等科ノ試驗ニ及第候節ハ從前初等科教員資格
ノ者ニシテ再シ初等科ノ試驗ニ及第候節ハ從前初等科教員資格
ノ者ニシテ再シ初等科ノ試驗ニ及第候節ハ從前初等科教員資格
○指令(電報) 十七年四月五日

○小學校生徒卒業證書式改正之儀ニ付群馬縣伺

十七年三月卅一日

明治廿四年十月經伺本縣小學學校教則及生徒試驗法第十四條卒業證書式改正儀
別紙之通改正致度此段相伺候也
○指令(電報) 十七年四月五日

割	何府 縣華子族平兵衛
割	何府 縣華子族平兵衛
印	何府 縣華子族平兵衛
印	何府 縣華子族平兵衛

同指令

文部省

六百六十四

高 小 學 中 等 科 第 何 年 前 後 期 卒 業 候 事
初 明 治 何 年 何 月 何 日 大 臣 文 部 省 長
群 馬 縣 上 野 國 何 郡

在 監 群 馬 縣 何 郡 書 記 氏 名 印
司 驗 群 馬 縣 小 學 何 等 訓 導 氏 名 印
主 管 群 馬 縣 公 立 何 小 學 校 長 氏 名 印
授 業 群 馬 縣 小 學 何 等 訓 導 氏 名 印

高 小 學 中 等 科 卒 業 候 事
初 明 治 何 年 何 月 何 日 大 臣 文 部 省 長
群 馬 縣 上 野 國 何 郡

在 監 群 馬 縣 何 郡 書 記 氏 名 印
司 驗 群 馬 縣 小 學 何 等 訓 導 氏 名 印
主 管 群 馬 縣 公 立 何 小 學 校 長 氏 名 印
授 業 群 馬 縣 小 學 何 等 訓 導 氏 名 印

一書式中在監司驗者等ノ印章ハ方六分ノ官印ヲ用ルモノトス
一書式中授業者ハ速急ニ檢査セラルル者ニ限ルヘシ
一授業者ハ教授ヲ擔當シ得ル資格アル者ニ限ルヘシ
○督業訓導施設方法中改正ノ儀ニ付廣島縣伺 十七年三月廿二日
本縣督業訓導施設方法第四條中名稱進官等月俸額並ニ辭令書式左ノ通改正致度此段相伺
候也
○督業訓導施設方法並ニ同職務必得中督業訓導ノ文字ハ總テ小學督業ト相改候此段
添テ開申候也
名 小 學 督 業 名 稱 進 官 等 月 俸 額

一 等 教 諭	準 八 等	四拾圓以下三拾圓以上
二 等 教 諭	準 九 等	三拾圓以下貳拾圓以上
三 等 教 諭	準 十 等	貳拾圓以下拾五圓以上

同辭令書式
任廣島縣何等教諭
○指令
十七年四月四日
同之通

○督業訓導改稱並官等月俸ノ儀ニ付兵庫縣伺 十七年三月十三日
神戸即範學校ニ督業訓導設置之儀客年十一月同同年十二月御允可相成候處本年御省第四
號御達ノ次第モ有之候ニ付自今小學督業ト改稱シ官等月俸左ノ通相定メ度此段相伺候也

名 稱	進 官	等	月 俸
小 學 督 業	一 十 一 等 以 上 九 等 迄	一	貳拾圓以上三拾五圓迄

○指令
十七年四月七日
同之通
但小學督業ハ本文准官等ニ相當スル教諭若クハ訓導ニ任スル儀ト心得ヘシ
○小學督業准官等月俸及職務心得ノ儀青森縣伺

十七年三月廿五日
小學校ノ教員ヲ益々改良スルハ目下緊要ノ事ニ付或ハ教員講習所ヲ設ケ又ハ小學督業ヲ
置ク等ノ儀御省昨年拾六號及本年第四號御達ノ趣モ有之候ニ付先以テ當縣ニ於テハ師
範學校内ニ小學督業ヲ置キ其官等俸給及職務心得等左ノ通相定施行致度此段相伺候也
小 學 督 業 准 官 等 並 月 俸

同指令
文部省
六百六十五

伺指令

文部省

一 准官等 十三等乃至九等
 一月俸 拾五圓乃至三拾五圓
 小學督業職務心得
 小學督業ノ小學校教員ノ授業等ヲ監督シ教育ノ改良上進ヲ圖ルモノトス其職務心得ヲ定ムルノ大概左ノ如シ

第一條 小學校教員教授ノ利害得失ヲ觀察シ其改良ヲ圖ル事
 第二條 小學校教員ノ能否勤惰及其品行ヲ觀察スル事
 第三條 小學校生徒ノ學業及其品行ヲ觀察スル事
 第四條 小學校校舍ノ適否及圖書器品表簿等ノ整齊ヲ觀察シ其整備ヲ圖ル事
 第五條 郡長及學務委員ニ協議シ小學校教員ヲ適宜ノ場所ニ集メ教育學學校管理法等必須ノ學科ヲ授ケル事
 但本文教授ノ爲メ要スル所ノ日數等ハ豫メ之ヲ定メ縣令ノ指揮ヲ請ヘシ

第六條 小學校ノ教則及試驗則ノ適否ヲ觀察スル事
 第七條 前條々ノ外教育上諸般ノ實況ニ注目スル事
 第八條 巡回テ其功程書ヲ作シ師範學校長ニ經由シテ縣令ニ具申スル事

○指令 十七年四月十日
 伺之通

但小學督業ハ本文准官等ニ相當スル教諭若クハ訓導ニ任スル儀ト心得ヘシ

○町村立學校職員俸額表解說追加之儀ニ付山形縣伺
 十七年四月七日
 碩學老儒之修身科教授ヲ善クスル者特ニ小學教員免許狀ヲ授與セシム向ハ德望有之者ニ候得ハ殊ニ待遇ヲ厚クセシムカ爲メ其等級三等訓導以上ニ任用シ其俸額ハ本縣町村立學校職

伺指令

文部省

員准官等俸額表本年二訓導俸額範圍三拾五圓以上ニ於テ適宜支給スルキ旨趣ヲ以テ右俸額表解説ノ末項別紙之通追加致度此段相伺候也

○指令 十七年四月十六日
 伺之通

計碩學老儒ノ德望アリテ小學教員特許ヲ得タル者ハ准十三等至等以上ニ任用スルキ其月俸額三拾五圓以下六圓以上トス

○中學校名稱之儀ニ付鹿兒島縣伺
 十七年三月廿九日
 明治十四年七月貴省第貳拾八號達中學校教則大綱ニ基キ諸規則ヲ改正シタル學校ニシテ其條設ノ本年一月貴省第貳號達中學校通則ニ及ハサルモノハ準中學ノ名稱ヲ付シ可然哉

○指令 十七年四月十六日
 書面之趣準中學ノ名稱ハ不相成儀ト可必得事

○聯合學區ニテ會議開設ノ儀ニ付神奈川縣伺
 十七年二月九日
 客年十月第千六百六拾壹號ヲ以テ二學區以上聯合シテ一ノ中等若クハ高等小學校設置方ノ儀相伺候處同十二月第貳千三拾七號ヲ以テ伺ノ通ト御指令相成候付テハ右等ノ場合ニ於テ協議ヲ要スルハ其聯合區域町村ノ境界ニ符合セサルモ亦區町村會法ニ依準シ會議ヲ開クコトヲ得ヘキヤ

○指令 十七年三月廿四日
 伺之通

○學務委員ノ小學校訓導ノ儀ニ付滋賀縣伺
 十七年四月十日

伺指令

文部省

小學校々長及訓導ハ官等ヲ有シ學務委員ハ無官等ニ候得共學務委員ノ職務ヲ執行スル場
合ニ於テハ官等ノ有無ニ據ラズ學務委員ヲシテ上席ヲラシム候標致度然ラサレハ學務委
員ノ職務ヲ執行スルニ際シ往々不都合ノ義モ有之候間本縣ニ於テハ前陳之通り相定度此
段相伺候也

○指令 十七年四月十七日
伺之通

○學校教員懲戒之儀ニ付愛知縣伺

十七年二月廿一日

第一條 學校教員ニシテ職務上ノ過失アリ懲戒例ニ照シ免職スルモハ其情狀ヲ查シ單ニ
懲戒例ニ依リ教員品行檢定規則ニ照サハルモ差支無之哉

第二條 果シテ前條ノ如ク單ニ懲戒例ニノミ相據リ處分セシ者ハ明治九年四月十四日太
政官内達長官懲戒處分心得第六項ニ照シ免職后二箇年間に上テ經ルニ非サレハ再度教
員ヲラシム可カラサル哉

第三條 師範學校卒業證書若クハ教員免許狀所有ノ者該卒業證書若クハ免許狀存効年限
ノ末期ニ瀕シ免職ノ處分ヲ爲シタル者更ニ卒業證書又ハ免許狀授與之爲試驗願出候
ハ免職后二箇年以上テ經過シタル者ニ非サレハ其試驗ヲ許ス可カラサル儀ニ有之候哉

○指令 十七年三月廿八日
伺之通

但第二條第三條ノ場合ニ於テハ二箇年ヲ經過スル後ト雖モ尙教員品行檢定規則ニ照查
スヘキコト勿論ノ儀ト可心得事

○學校教員等歸郷旅費之儀ニ付愛媛縣伺 十七年三月卅一日
本年一月太政官第六號ヲ以官吏免職歸郷旅費被廢止候處學校職員ノ官吏ニ準スル者ノ如
キハ畢竟身分ヲ優遇スルカ爲メニ準等ヲ與ヘラレ候者ニシテ費用上等ニ至ル迄一切官吏

○指令 十七年四月十四日
伺之通

○學校幼稚園書籍館設置廢止規則改正ノ儀ニ付神奈川縣伺 十七年三月廿九日
本縣學校幼稚園書籍館設置廢止規則第三章中左ノ通相改度此段相伺候也

第三章第一條左ノ通改正
町村立私立學校教員ハ其學科相當ノ人ヲ要スヘシ又生徒ノ等級及人員等ニヨリ相當ノ
人員ヲ置カサルヲ得ス其小學校ニ於テハ左ノ項目ニ依準スヘシ

但町村立私立幼稚園保母モ其幼稚ノ員數ニヨリ相當ノ人員ヲ要スヘキモノトス

第一 初等科ヲ授クルモノハ少クモ初等科教員一名ヲ要ス

第二 初等及中等科ヲ授クルモノハ少クモ初等及中等科教員各一名ヲ要ス

第三 初等中等及高等科ヲ授クルモノハ少クモ初等中等及高等科教員各一名ヲ要ス

第四 學校ノ便宜ニ依リ教員ニ屬シ補助員ヲ置クモハ教員一名ニ付三名ヲ超過スヘカ
ラス且其年齡十五年以上ニシテ相當ノ學力ヲ有シ品行端正ノ者タルヘシ

第五 生徒一級コトニ教員又ハ補助員ノ内一名ヲ要スヘキモノトス其情況ニ依リ之ヲ
斟酌スルヲ得ルモ一名ニシテ三級ヲ超過スヘカラス

第六 教員又ハ補助員一名ニシテ教授ヲ得ヘキ生徒數ハ大凡三十人ヲ程度トス其情況
ニ依リ之ヲ斟酌スルヲ得ルモ五十八ヲ超過スヘカラス

同章第八條但書左ノ通改正
但シ學校長準教員幼稚園長保母及補助員モ亦本文ニ準スヘシ

○指令 十七年四月九日

伺指令

文部省

六百六十九

五文

第九條 月俸ハ毎月十七日支給スルヲ定メトス
 第十條 免職又ハ奉職中病歿ノ者ニハ其節ノ月俸半額ヲ以テ勤績一ケ年ニ充テ拜命以來ノ年數ニ乗算タル金額ヲ給スヘシ
 第十一條 旅費ハ一日十里詰ヲ以テ表面ノ通り日當ヲ給スヘシ
 旅費日當表

並 旅 行 赴任旅行 晝夜急行 滯留 管内並旅行 全上滯留
壹圓五拾錢 壹圓九拾錢 壹圓九拾錢 五拾錢 壹圓 壹圓四拾五錢

第十二條 月俸及旅費支給法ハ一般ノ月俸及旅費規則ニ據ル
 ○小學督業施設方法及其職務心得等別紙之通制定來十七年度ヨリ施行致度此段相伺候也
 ○指令 十七年四月廿四日

伺之通

(別紙)

小學督業施設方法
 第一條 小學督業ハ郡區小學校ノ改良ヲ圖ル爲メ之ヲ置クモノトス
 但本文人員ハ當分二名トス
 第二條 小學督業ニ任スヘキ教諭若クハ訓導ハ官公立師範學校ノ高等師範學校卒業證書若クハ高等小學科教員免許狀所持ノ者ニ限ル
 第三條 小學督業ニ任スヘキ教諭若クハ訓導ノ月俸旅費ハ左ノ如ク定ム但旅費支給法ハ本縣定ムル所ノ地方稅ニ係ル旅費支給規則ニ依ル

五文

月俸 三拾圓以下 拾五圓以上
 旅費
 縣外 並旅行 一里ニ付 拾五錢
 宿泊 並旅行 一里ニ付 五拾錢
 巡回 並旅行 一里ニ付 六拾錢
 宿泊 巡回 一里ニ付 卅五錢
 晝夜急行 一里ニ付 廿五錢

任山口縣何等教諭(訓導)
 氏名
 書記官奉
 年月日

小學督業申付候事
 官氏名
 年月日
 縣名

第六條 小學督業ニ係ル諸費ハ地方稅教育費ノ内ヨリ支辨ス
 第一條 小學督業ハ不圖公立小學校及巡回授業所等ヲ巡回シ左ノ各項ヲ監督スルノ責任ヲ負フモノトス
 一 授業法ニ關スル事

同指令

文部省

六百七十四

一 學校管理法ニ關スル事
 一 生徒學業ノ進否ニ關スル事
 一 試驗ニ關スル事
 一 校舍及圖書器械ニ關スル事
 一 學校表簿ニ關スル事
 一 學校衛生ニ關スル事
 第二條 小學督業ハ小學校諸般ノ事ニツキ改良ノ意見アルハ小縣廳學務課ニ稟議スヘシ
 第三條 小學督業ハ一巡回ナラズルニ其功程書ヲ作り縣令ニ申報スヘシ
 第四條 小學督業ハ各種ノ試驗若シハ教員授業法講習所ノ教員トナルコトアルヘシ
 第五條 小學督業ハ巡回出張等ノ餘暇アルハハ事務稟議ヲ爲シ縣廳學務課若シハ山口師範學校等ニ出勤スヘシ
 ○試驗ヲ用ヒス免許狀授與方ノ儀ニ付岡山縣伺
 十七年三月廿一日
 師範學校卒業生徒ニ非スシテ小學校訓導ヲラシムル者ハ從來學力檢定之上免許狀
 附與シ來ル候處縣令ニ於テ確價ト見認ル者ハ檢定ヲ用ヒスシテ相當免許狀ヲ授與スルモ
 不苦候哉
 ○指令 十七年四月廿六日
 同之趣聽屆候事但學力等認定ノ方法更ニ取調申出ツヘシ
 ○小學校教員免許狀授與規則追加之儀ニ付岐阜縣伺
 十七年四月十七日

同指令

文部省

六百七十五

明治廿四年十二月廿七日附テ以テ經伺候本縣小學校教員免許狀授與規則今般別紙之通追
 加施行致度此段相伺候也
 ○指令 十七年五月二日
 同之趣聞屆候事
 (別紙) 岐阜縣小學校教員免許狀授與規則第十條ノ左ノ一項ヲ加フ
 ○本縣管内ニ於テ滿三ツ年以上小學校初等科若シハ中等科若シハ高等科ノ教授ニ從事シ
 毎等科ノ生徒ヲ卒業セシメタル實跡アル者ニシテ學力優等授業熟練品行端正ナル者ニ
 對シ試驗ヲ須キス特別ニ以テ相當ノ免許狀ヲ授與スルコトアルヘシ
 ○小學校教員講習會規程設定之儀ニ付群馬縣伺
 十七年四月十一日
 小學校教員講習會規程別紙之通設定施行致度候此段相伺候也
 ○指令 十七年四月廿六日
 同之通本會ノ會日ハ三月廿九日ニ定ムルヘシ
 (別紙) 群馬縣小學校教員講習會規程
 第一條 小學校教員講習會ハ改良進步ヲ圖ルカ爲メニ開設スルモノニシテ教育學
 學校管理法並テ小學校教授ニ關スル學科ヲ講究シ兼テ實地授業ヲ練習セシム
 第二條 講習會ヲ分テ定期講習會臨時講習會トス
 第三條 定期講習會規程左ノ如シ
 一 郡長ハ部內數小學校若シハ數學區ヲ團結シテ定期講習會ヲ開設スヘシ
 一 團結ツ區域ハ可成廣大ナルヲ要ス

同指令

文部省

一 本會ハ毎月一二次之ヲ開キ毎次日間以内トス
 一 郡長ハ講習會場及開會期日ヲ豫定シ縣令ニ開申ス
 一 郡長ハ定期講習會頭撰定ノ方法並本會規約等ニ關スル諸件ヲ調査シ縣令ニ伺出ツ
 一 郡長ハ學務擔任郡書記ヲシテ本會ヲ視察セシムル事
 第四條 臨時講習會ニ係ル規程左ノ如シ
 一 郡役所所轄部内小學校ヲ團結シ中央便宜ノ所ニ會場ヲ設ケ臨時ニ開設スルヲ臨時講習會トス
 一 本會ノ會日ハ三日以上三十日以内トス
 一 本會々頭ハ小學校督業ヲ以テ之ニ充ツルモノトス
 一 但時宜ニ據リ師範學校教諭ヲ派出セシムルコトアルヘシ
 一 本會開設中ハ學務課員學務擔任郡書記之ニ莅監スヘシ
 一 本會取締ニ關スル諸規則ハ郡長ヨリ縣令ニ伺出ヘシ
 第五條 小學校訓導準則導授業生助手ハ講習會員タルヘシ
 第六條 講習會諸經費ハ滴宜支辨ノ法ヲ設ケ郡長ヨリ縣令ニ伺出ヘシ
 ○小學校教員品行ノ儀ニ付枋木縣伺
 十七年三月卅一日
 明治十一年九月中陸海軍律回籍ニ被處候者今般私立學校英學教員ニ採用致度趣該校主ヨリ伺出候處右ハ學校教員品行檢定規則第一條第一款ニ恰當スル者ト認メ教員ニ採用不相成儀ニ候哉
 ○指令
 十七年五月三日
 書面伺之趣當省明治十四年第五拾六號達學校教員品行檢定規則第一條第四款ニ觸ル者ニ付採用セシムヘカヲサレ候下可心得事

同指令

文部省

○學務委員事務要項改正之儀ニ付長崎縣伺
 十七年四月廿九日
 本縣學務委員事務要項ノ儀ハ去ル明治十四年七月十四日附テ以テ上申之通施行致居候處實際不適當之麻有之候條相般シ更ニ長崎縣學務委員職務章程別冊之通制定致度此段相伺候也
 ○指令
 十七年五月八日
 同之通
 (別冊)
 長崎縣學務委員職務章程
 學務委員ハ教育令ニ基キ學區内ノ教育事務ヲ幹理シ學事ニ關スル條例規則ヲ學區内ニ施行スルコトヲ掌ル其章程ヲ分テ三款トス即チ左ノ如シ
 上款
 左ノ件々ハ縣令ニ申請スヘキモノトス
 第一 町村立學校長教員及幼稚園書籍館教育博物館等職員ノ任免進退及俸給ノ増減ニ關スル事
 第二 町村立學校長教員及幼稚園書籍館教育博物館等職員ノ賞罰ニ關スル事
 第三 學事ニ關スル篤志者ヲ賞スル事
 第四 弊害アル私立學校等ノ處分ニ關スル事
 第五 町村立學校生徒等特別ノ褒賞ニ關スル事
 第六 町村立學校ノ敷地免稅ニ關スル事
 中款
 左ノ件々ハ縣令ニ稟請シテ後處分スヘキモノトス
 但第四項以下ハ稟請スルノ前區町村會ノ評決ヲ經ヘシ

同指令

文部省

六百七十八

- 第一 町村立學校 小學校 幼稚園 圖書館 教育博物館等ノ諸規則ヲ制定若クハ改定スル事
 - 第二 小學校 幼稚園 圖書館 教育博物館等ノ設置廢止及分合移轉ニ關スル事
 - 第三 諮詢 諮究等ノ爲メ教育會ヲ開設スル事
 - 第四 町村立學校 幼稚園 圖書館 教育博物館等ノ設置廢止及分合移轉ニ關スル事
 - 第五 巡回授業ノ方法ヲ施設スル事
 - 第六 貧困兒童就學ノ方法ヲ施設スル事
 - 第七 私立小學校ヲ町村立小學校ニ代用スル事
 - 第八 町村ノ學事ニ關スル土地建物ヲ賣買スル事
 - 第九 町村立學校 幼稚園 圖書館 教育博物館等ノ授業保育經費料ノ收否及金額ヲ定ムル事
 - 第十 町村立學校 幼稚園 圖書館 教育博物館等ノ屋舎ヲ建築シ若クハ模様替等ヲナシ又ハ地形ヲ變換スル事
 - 第十一 學區教育費ノ豫算ヲ定ムル事
 - 第十二 學事ニ關スル資産増殖ノ方法ヲ施設スル事
- 左ノ件々ハ學務委員ノ執行スルヲ得ヘキモノトス
但第一第二ノ二項ハ區町村會評決ノ上施行スルモノトス
- 第一 町村立學校等ニ關スル金錢土地建物等ヲ貸借スル事
 - 第二 町村立學校等設置ノ爲メ官有地使用及下附ヲ請願スル事
 - 第三 町村立私立學校 幼稚園 圖書館 教育博物館等職員ノ品行及勤惰能否ヲ視察スル事
 - 第四 町村立學校 幼稚園 圖書館 教育博物館等ヲ保護監督スル事
 - 第五 私立學校 幼稚園 圖書館 教育博物館及學術會等ヲ監督スル事

同指令

文部省

六百七十九

- 第六 學齡兒童ヲ調査シ及其就學ヲ勸誘スル事
 - 第七 町村立及私立學校生徒ノ試験ニ臨監スル事
 - 第八 學校ニ入ラズシテ普通教育ヲ受クル兒童ノ試験ニ臨監スル事
 - 第九 學區事務所ニ屬スル諸帳簿ヲ整理スル事
 - 第十 學事ニ關シ學區内ノ人民ヲ召集スル事
 - 第十一 學區教育費ヲ領收スル事
 - 第十二 町村立學校 幼稚園 圖書館 教育博物館等ノ授業保育經費料等ヲ領收スル事
 - 第十三 町村立學校等ニ關スル寄附金等ヲ領收スル事
 - 第十四 學區内ノ教育ニ關スル經費ヲ仕拂フ事
 - 第十五 學區教育費ノ決算報告書ヲ調製スル事
 - 第十六 町村立學校補助員學區及事務所ノ備員等ヲ備罷スル事
 - 第十七 學事ニ關スル諸表簿及學事年報ヲ調製シ學事ノ狀況ヲ申報スル事
- 一 右ノ外條例規則及別段ノ命令アルモノハ之ニ遵ヒ處辨スヘシ
一 凡ソ學務委員ヨリ縣令ニ進達スル書類ハ郡區長ヲ經由スヘク學事ニ關シ町村立學校等職員及人民ヨリ縣令若クハ郡區長ニ進達スル書類ハ事實ヲ公證スル爲メニ奧書若クハ加印スルモノトス其意見アルモノハ之ニ副申スヘシ
- 中學校寄附金處分ノ儀ニ付長崎縣同**
十七年四月廿八日
- 本縣々立中學校ニ該郡内人民ヨリノ寄附金ニシテ教育令第二十七條ニヨリ支消シタル殘金有之候處今般該校廢止候キ付テハ其殘金ハ從前中學校之遺產ニ外ナラサル儀ニ付長崎縣中學校ニ移シ其寄附人ノ指定セシ用途ニ充テ支用シ可然哉
- 指令
十七年五月十三日

伺指令

文部省

六百八十

八五文

○縣立學校職員等級月俸表改正之儀ニ付愛媛縣伺

十七年五月五日

本縣々立學校職員等級月俸表ノ儀自今別紙ノ通改正仕度此段相伺候也
○指令 十七年五月廿七日

縣立師範學校中學校職員等級月俸表

職名	官等	月俸
長	自八等至十等	自五拾圓至百五拾圓
一等 教諭	八等	自五拾圓至百圓
二等 教諭	九等	自四拾圓至五拾圓
三等 教諭	十等	自三拾圓至四拾圓
一等 助教諭	十一等	自貳拾圓至三拾圓
二等 助教諭	十二等	自拾五圓至貳拾圓
三等 助教諭	十三等	自拾圓至拾五圓
一等 訓導	十四等	自貳拾圓至三拾圓
二等 訓導	十五等	自拾五圓至貳拾圓
三等 訓導	十六等	自拾圓至拾五圓
四等 訓導	十七等	自拾圓至拾貳圓

但訓導ハ師範學校附屬小學校ノ教員ナリ

○學校職員席次ノ儀ニ付秋田縣伺

十七年五月卅一日

一學校職員ニシテ準官同等ノモノハ任官ノ前後ニ拘ハラヌ月俸ノ多寡ニ依リ席次ヲ定メ可然哉

一前職員ニテ其職異コシテ準官等同シキ者ノ席次ハ月俸ノ多寡任官ノ前後ニ拘ハラヌ教諭助教諭訓導書記ト順席セシムヘキヤ

一校中ニテ校長ノ官等假令教諭ノ下ニアルモ其校ニアリテハ教諭ノ上席ト定ムヘキヤ

縣立學校職員ト町村立學校職員ト職同ノ準官等同シキハ縣立學校職員ヲ上席トスヘキヤ

○指令 十七年六月十三日

伺之通

○小學校等科指定ノ儀ニ付石川縣伺

十七年五月卅一日

本縣町村立小學校ノ儀ハ指示之當初其等科ヲ定メヌ教授セシメ來候處中等科若クハ高等科ヲ經踏スルモノ僅少ニ有之就テハ每校其等科ヲ定メ該生徒ヲ集合シ教授セシメ候ハハ生徒ノ進歩ト經濟上ニ裨益不拂被存候間別紙要項ニ據リ夫々指定致度此旨相伺候也
○指令 十七年六月十日

伺指令

文部省

六百八十一

九五文

同指令

文部省

六百八十二

○六文

伺之通

(別紙)

各學區小學校ノ等位即資格ヲ左ノ三項ニ區分シ之ヲ指定スルモノトス
 但數學區ヲ聯合シテ中等高等ノ二科ヲ備フルモノ若クハ高等ノ一科ヲ備フルモノヲ指
 定スルヲアルヘシ
 一高等中等初等ノ三科ヲ備フルモノ
 一中等初等ノ二科ヲ備フルモノ
 一初等ノ一科ヲ備フルモノ
 (但分校ハ初等ノ一科ヲ備フルモノトス)

○附屬小學校教科書更正之儀ニ付東京師範學校伺

十六年十一月卅日

當校附屬小學校教科書中地理ノ部日本地誌略ヲ地理小學ニ相改度就テハ右小學校規則教
 科用圖書表同各級配當表ニ記載ノ儀別記之通相改度此段相伺候也

○指令 十七年六月九日
 伺之通

別記

一東京師範學校附屬小學校教科用圖書各級配當表中中等科第四年前學期ヨリ第五年前學
 期マテ地理ノ部(日本地誌略)ヲ(地理小學)ト改ム
 一東京師範學校附屬小學校教科用圖書表中中等科地理ノ部(日本地誌略)ヲ改メテ左記ノ
 通り記入スル

圖書名 卷冊記號 出版年月 著者氏名 出版者氏名 住居

地理小學 一二三冊

明治十六年十一月

若林虎三郎編

若林虎三郎

○町村立小學校儲設目的表告示之儀ニ付石川縣伺

十七年五月卅日

小學教育ノ實益ヲ奏スルハ主トシテ教員及圖書器械ヲ充全ニシ其他校舍ノ修理諸般ノ經
 費ニ至ルマテ其計畫宜ク得ルニアリ然ルニ從來憑據スヘキ目的ナキヲ以テ其要スル所ノ
 諸般ノ儲設全ク缺乏シ爲メニ兒童ノ養成ヲ誤ルモノ不渺ト認知候ニ付別紙町村立小學校
 儲設目的表ヲ告示シ漸次改良致度此旨相伺候也

○指令 十七年六月十二日
 伺之通

町村立小學校儲設目的表例言

第一條 儲設目的表ハ管內町村立小學校各等科ノ資格ニヨリ教員及書籍器械費營繕費諸
 雜費等ノ準備ヲ示スモノナリ
 第二條 教員及書籍器械等ノ準備ハ生徒ノ多寡組數ノ多少ニ依テ増減アルハ勿論ト雖該
 表ハ各等科共ニ一期一組宛ト積リタルモノナリ
 第三條 該表ハ初等中等高等ノ三科ヲ備具スル學校ト假定シ其目的ヲ示スモノニシテ初
 等若シクハ初中等若クハ中等若クハ高等ノ學校ハ右ニ比準スルモノナレハ別ニ之ヲ
 備ケス
 第四條 該表教員數ノ欄內ニ優劣ヲ示スモノハ各等科共ニ甲ヲ以テ適當ノ準備ヲ有スル
 學校トスルモ土地ノ貧富ニヨリ學費辨給ノ難易ナキ能ハス是優劣ヲ示ス所以ナリ而シ
 テ初等中等ノ最下即己高等ノ最下即丁ヨリ下ルヘカヲサルモノトス又書籍器械等ハ優
 劣ヲ示サトルモノハ學校ノ費用ハ多クハ教員俸給ニシテ教科用書籍器械ノ如キハ土地

伺指令

文部省

六百八十三

一六文

伺指令

文部省

ノ貧富ニヨリ著シキ等差ナキナリ以テナリ
 但分校モ本校ニ準スルモノトス
 第五條 一二科若クハ數科教授免許狀ヲ有スル準訓導ヲ集メテ授業セシムルハ固ヨリ妨
 ナシト雖各等科共ニ正格ノ訓導一名以上ハ必之ヲ置クモノトス
 第六條 各等科共ニ乙以下準訓導授業生ヲ訓導ト并用スルハ止ムヲ得サルニ出ルト雖モ
 其等科ノ生徒ヲ教授スルニ足ルヘキ學力ヲ有スルハ勿論タルヘシ
 第七條 校長ニシテ訓導ヲ兼務スルモノハ各等科共ニ訓導ノ數ニ算入スルモノトス
 ナ有セスシテ授業ニ從事スルモノハ準訓導又ハ授業生ノ數ニ算入スルモノトス
 第八條 該表教員數ハ一期即一組ノ生徒ニハ必一名ノ教員ヲ置クノ割合ナルモ同期生徒
 ニシテ組ヲ異ニスルカ又ハ學科ノ都合ニヨリ合級授業ヲ施シ得ルルハ準訓導授業生ハ
 一時定員ヨリ減スルモ妨ナシトス
 但一教員一組受持ハ生徒四十名ヲ最多數トシ合同教授ハ組數ハ四組人員ハ三十名ヲ
 最多數トス尤ニ組合同ナレハ四十名ニ及ブモ妨ナシ
 第九條 各等科共書籍ハ教則ニ在ル所ノ圖書及參考書類器械ハ教授ニ要スル所ノ標品及
 理化學器械其他椅子卓子黑板算盤並校内ニ必需ノ雜品營繕ハ校舍ノ修理又ハ校舍ノ借
 揚料雜費ハ小遣給料料紙筆墨炭油費ヲ指スモノナリ
 町村立小學校備置目的表

等位	優		劣		中等科訓導員數	生徒組數	書籍器械費營繕及諸雜費
	甲	乙	丙	丁			
初等科	乙	丙	丁	戊	己	六組	初等科ヲ教授スルニ足ルノ準備
中等科	中等科訓導員數				甲	六組	中等科ヲ教授スルニ足ルノ準備
	乙	丙	丁	戊	己		
高等科	高等科訓導員數				甲	六組	書籍器械費營繕及諸雜費
	乙	丙	丁	戊	己		

伺指令

文部省

等位	優		劣		中等科訓導員數	生徒組數	書籍器械費營繕及諸雜費
	甲	乙	丙	丁			
初等科	乙	丙	丁	戊	己	六組	初等科ヲ教授スルニ足ルノ準備
中等科	中等科訓導員數				甲	六組	中等科ヲ教授スルニ足ルノ準備
	乙	丙	丁	戊	己		
高等科	高等科訓導員數				甲	六組	書籍器械費營繕及諸雜費
	乙	丙	丁	戊	己		